

新 グランドソー

取扱説明書

UH-110MT

UH-140MT

UH-110R

UH-140R



グランドソーをご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。
必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 たいしよー

目 次

● 安全に作業するために	2～3
● 使用上の注意	4
● 取り扱い上の注意	4～5
● 全体完成（UH-110/140MT）	6
● MTタイプ 組立要領	7～14
● Rタイプ 組立要領	15～20
● ケーブルの接続（110タイプ）	21～22
● ケーブルの接続（140タイプ）	22～24
● 自動スイッチの接続	25
● 散布量表シールを貼る（140タイプ）	25
● ロールの外し方	26
● ロートの取り付け、取り外し	26
● 散布分けの仕方	26
● スタンドの使用方法	27～30
● 散布要領	31
● 使用後の管理	32
● 散布目盛の決め方（110MT/R）	33～34
● 散布目盛の決め方（140MT/R）	35～36
● 各部品表	37～56
● 故障の原因と対応について	57
● 散布ロール（オプション）	58

■ 安全に作業をするために

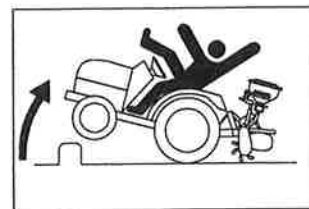


警告

グランドソー装着後のトラクタの運転は慎重にする

【守らないと】

特に、畦などの段差を乗り越える際には、トラクタ本体のバランスを損ない、転落事故をおこす恐れがあります。



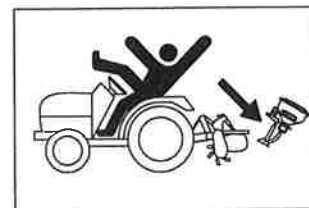
警告

グランドソーの各取付部のボルトは確実に締める

ご使用になる時は、毎回必ず各部ボルトのゆるみがないことを確認して下さい。

【守らないと】

各取付部のボルトがゆるんでいると、グランドソーが脱落し、事故をまねく恐れがあります。

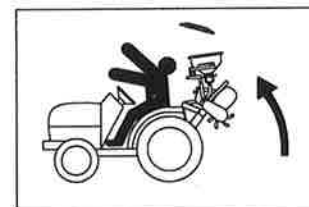


警告

ロータリーを急激に上昇させない

【守らないと】

ホッパー内に肥料が入った状態で、ロータリーを急に上げると、ホッパーが破損して肥料をかぶる恐れがあります。

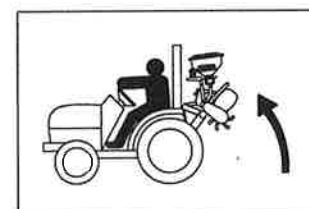


注意

ロータリーを上げた状態で、グランドソーがトラクタに、ぶつからない事を散布作業前に確認する

【守らないと】

ホッパーが破損して肥料をかぶる恐れがあります。

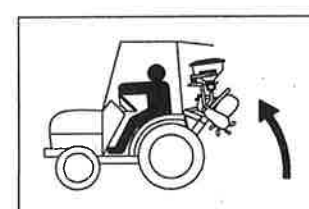


注意

リアウインドを開けた状態で、ロータリーを上下させない

【守らないと】

干渉してリアウインドを破損する恐れがあります。



注意

電源コードの取付けは、トラクタのエンジンやマフラーなどの高温になる部分には触れないようにする

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。



注意

電源コードの取付けは、トラクタの舵取り機構など動く箇所に巻き込まれないようにする

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

⚠ 注意 グランドソワーの取付け、取り外しは平らな所で行う

【守らないと】

事故をおこす恐れがあります。

⚠ 注意 グランドソワーを装着したトラクタで一般道路を走行しない

一般の公道を走行するときは、グランドソワーを取り外して下さい。

【守らないと】

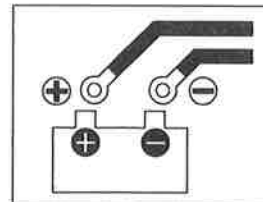
道路運送車両法に違反します。

⚠ 注意 バッテリーへの接続は正しい手順で行う

バッテリーへの接続は+側を先に接続する。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

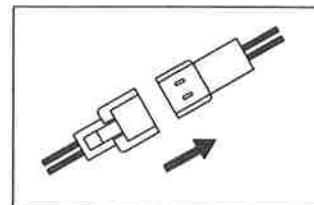


⚠ 注意 保守・点検・整備の時は必ずコネクタを外す

繰り出しロールの掃除などを行う時には、必ずコネクタを外してから行って下さい。

【守らないと】

機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。



⚠ 注意 グランドソワーを使用する時は、防塵マスクなどを身に付ける

特に、ホッパーへ肥料を投入する際には肥料の吸引を避けられるような服装で行って下さい。

【守らないと】

肥料を吸引すると健康を損なう恐れがあります。

⚠ 注意 モーターカバーを外して使用しない

【守らないと】

機械に巻き込まれたりしてケガをする恐れがあります。

⚠ 注意 スタンドのピン類はRピンで確実に固定する。

【守らないと】

本体が落下したりしてケガをする恐れがあります。

⚠ 注意 機械の改造禁止

グランドソワーを改造して使用しないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

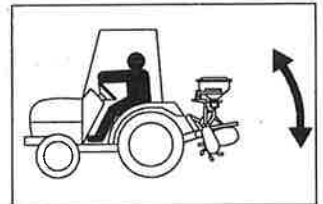
■ 使用上の注意

下記のような肥料は散布できません。ホッパー投入前にご確認下さい。

- ・ 形状の大きい肥料
粒径 6 ミリ以上の肥料や、長さ 10 ミリ以上のペレット肥料
- ・ 湿った肥料
- ・ 流れの悪い肥料
米ぬかのように滑り落ちづらく、ホースに詰まりやすい肥料
- ・ 粉状の肥料
石灰及び粉状の肥料

■ 取り扱い上の注意

1. グランドソー装着時、ロータリーの上げ下げは
静かに行ってください。



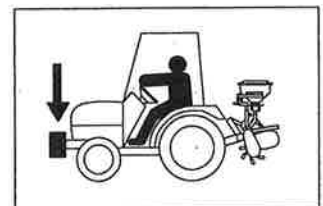
2. P 3 6 の UH-1 4 0 MT/R 用『散布目盛り』の表に記載されている 10 アール 当りの
散布量は、ホッパー片側分の散布量になります。

UH-1 4 0 MT/R . . . 左右のツマミを同目盛りにした場合、表の数値の
2 倍になります

UH-1 1 0 MT/R . . . 設定した目盛りの散布量が排出されます。

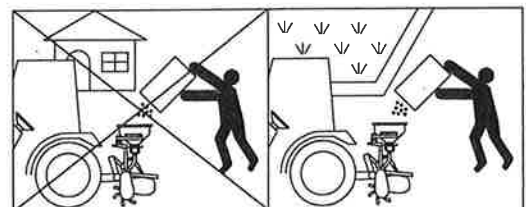
※ 表の数値は目安です。肥料の形状、比重等によって散布量は変わりますので、
必ず実際の散布（10 アール位）後に目盛りを決めて下さい。

3. トラクタの前後バランスの悪い時はフロントウェイト
を装着して下さい。



4. 肥料の投入は圃場で行ってください。

肥料を事前に投入して、路上走行などをすると
肥料が振動等により押し固められて散布機が
故障する原因となります。



ホッパーには肥料以外の物は投入しないで下さい。

また、ホッパーへ肥料を投入する際は、電源スイッチを切ってください。

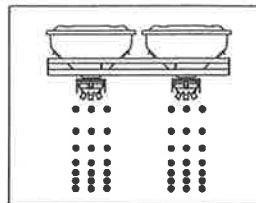
5. キャビンタイプは後方窓を開けたまま使用しないで下さい。

後方の窓を開けたまま、ロータリーを上げると窓ガラスを破損します。

6. 作業終了後はホッパー内の肥料を完全に排出して下さい。

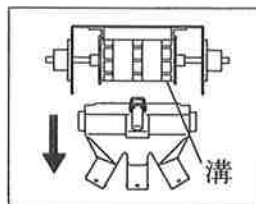
ホッパー内に肥料が残っていると、吸湿作用により固着して散布機が故障する原因となります。

(図は110MT)



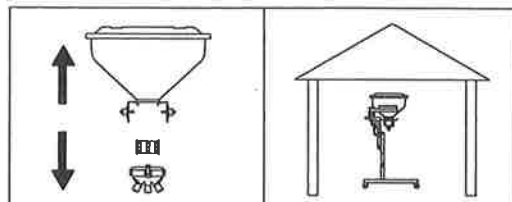
7. 連続して作業を行う場合には、ロート部分のロールを (図は110MT)
取り外してロールの溝をていねいに掃除して下さい。

ロールの溝が詰まった状態になると誤量散布の原因になります。



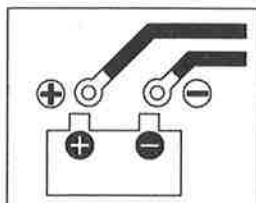
8. 長期保管の前には分解掃除をして下さい。 (図は110MT)

保管は屋内など電気系統に水がかからない場所にして下さい。



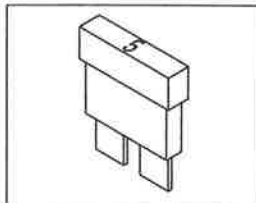
9. バッテリーへの接続は＋を間違えないで下さい。

逆接続では散布機は動作しません。



10. ヒューズは指定の容量を使用して下さい。

使用しているヒューズは平型 5 A になります。
ヒューズが切れた場合は、過負荷の原因を取り除いてからヒューズを交換して下さい。



11. 雨天時には散布機は使用できません。

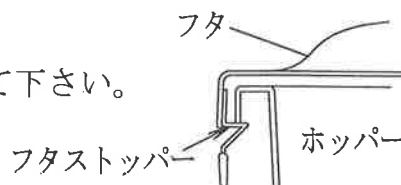
肥料詰り等により故障の原因となります。

12. ホッパーのフタは確実に締める。

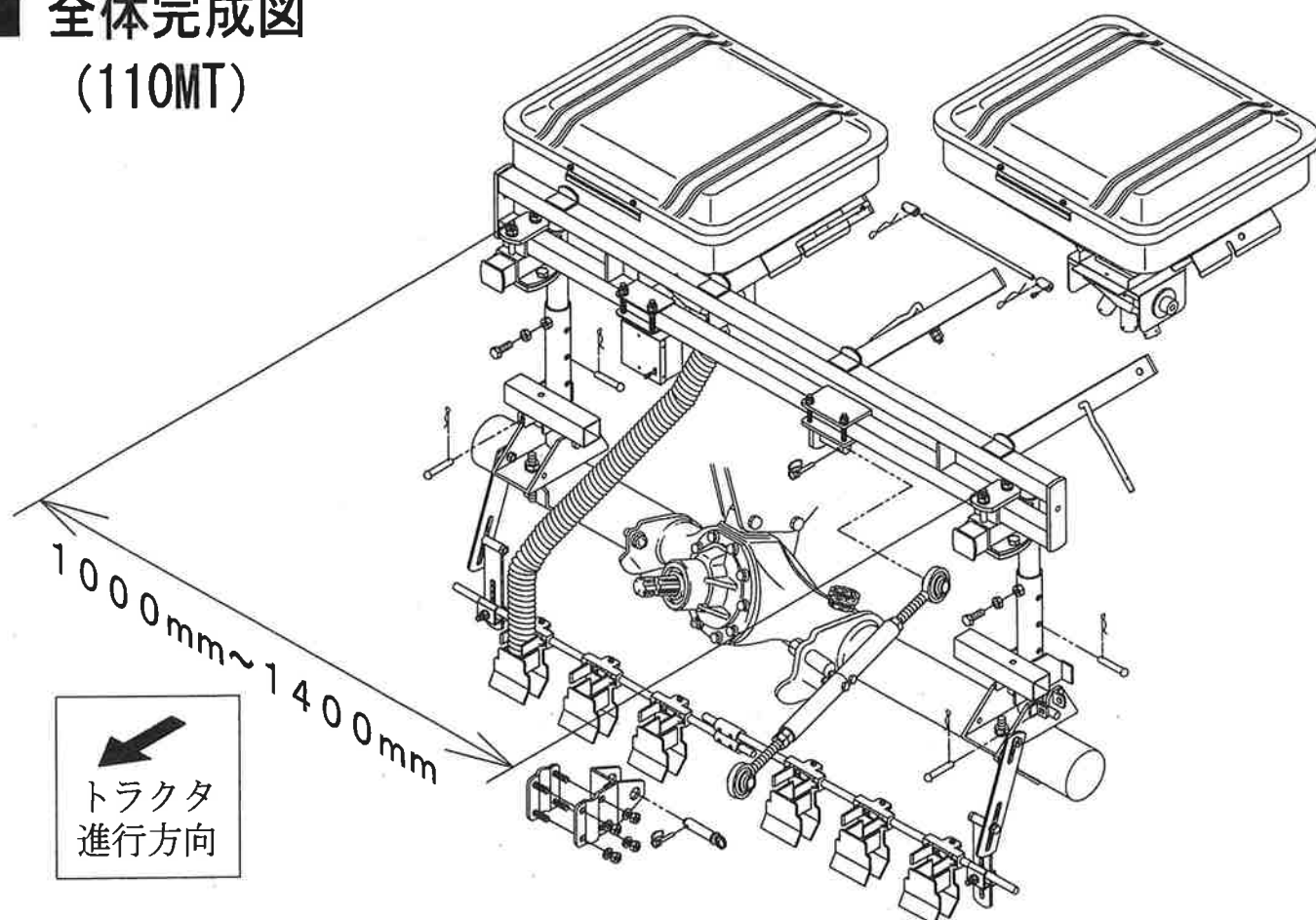
- ・フタストッパーがホッパーのふちに確実にかかっているか確認してください。(1ホッパーに2箇所)
- ・Rタイプの場合は、ホッパー側面のパチン錠も締めて下さい。(1ホッパーに2箇所)

【守らないと】

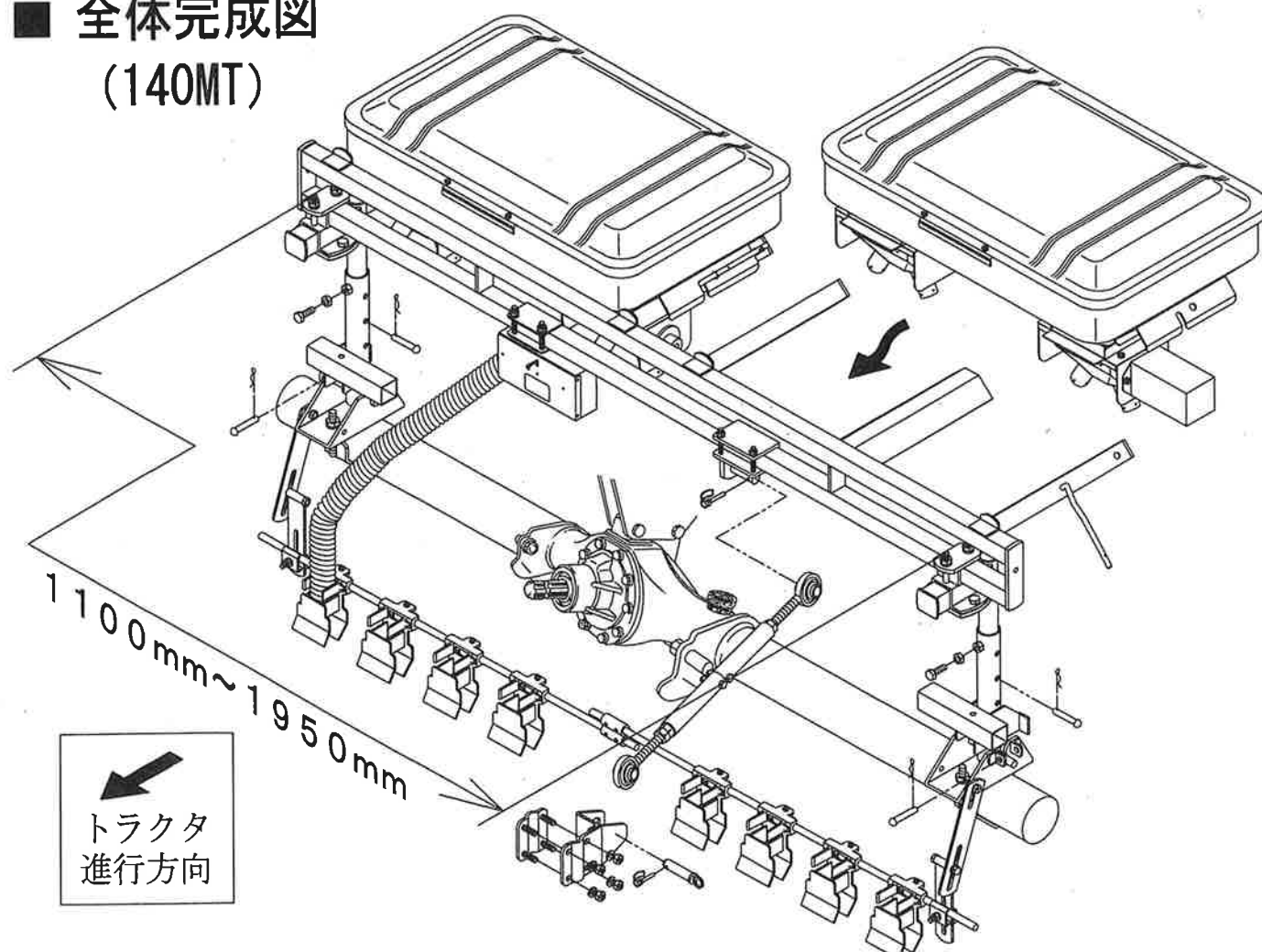
フタが飛ばされてしまいます。



■ 全体完成図 (110MT)



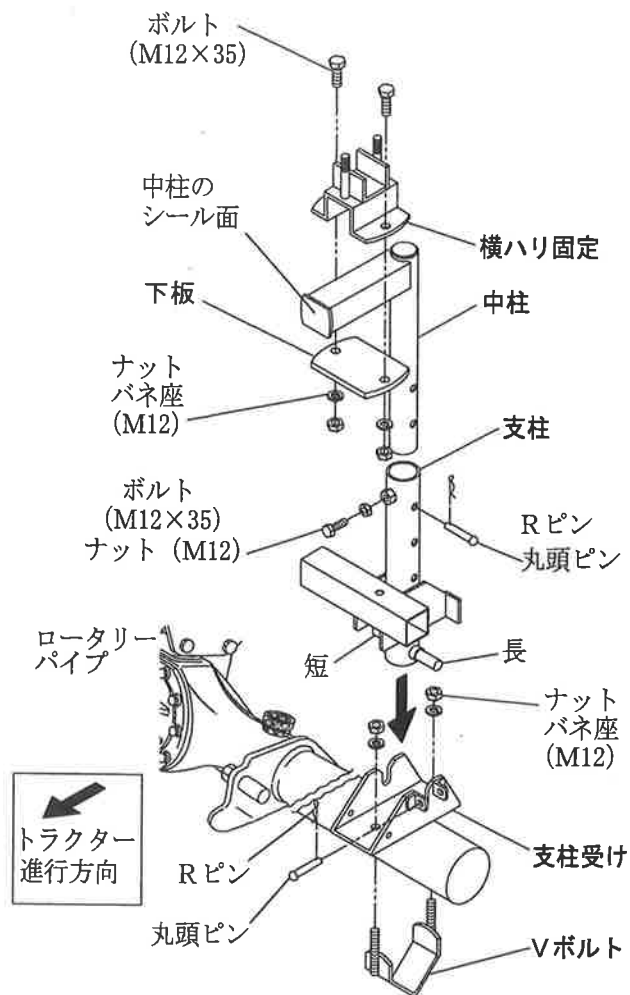
■ 全体完成図 (140MT)



■ MTタイプ組立要領 (140MTも同様)

A. 支柱受け・支柱・中柱・横ハリ固定の取り付け

(進行方向に対し、左側を代表して説明)



(1) Vボルトで支柱受けを固定します。

110MT (支柱受けの取り付け間隔は1000mmから1400mm以内とし、水平に固定します。)

140MT (支柱受けの取り付け間隔は1100mmから1950mm以内とし、水平に固定します。)

(2) 支柱を支柱受けに取り付けて下さい。

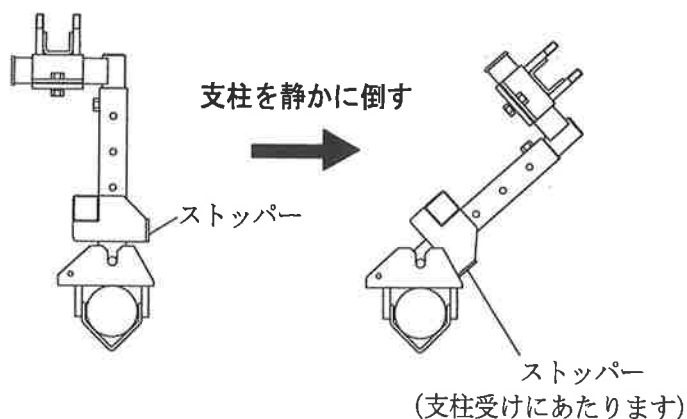
(3) 中柱を支柱に挿入固定します。

※ 必ず中柱のシール面をトラクター進行方向に向けて組み付けて下さい。

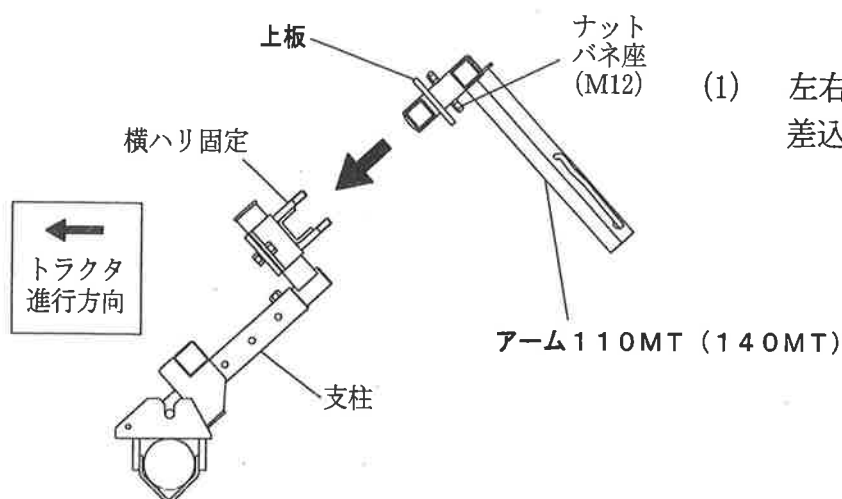
(4) 横ハリ固定を中柱の角パイプ部で下板で挟み込むように固定します。

(5) 支柱を後ろ側に静かに倒しておきます。

(6) 右側も同様に組み付けます。

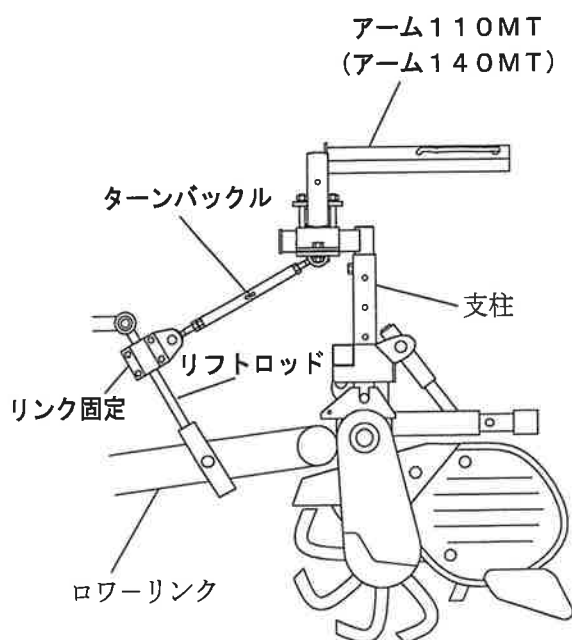
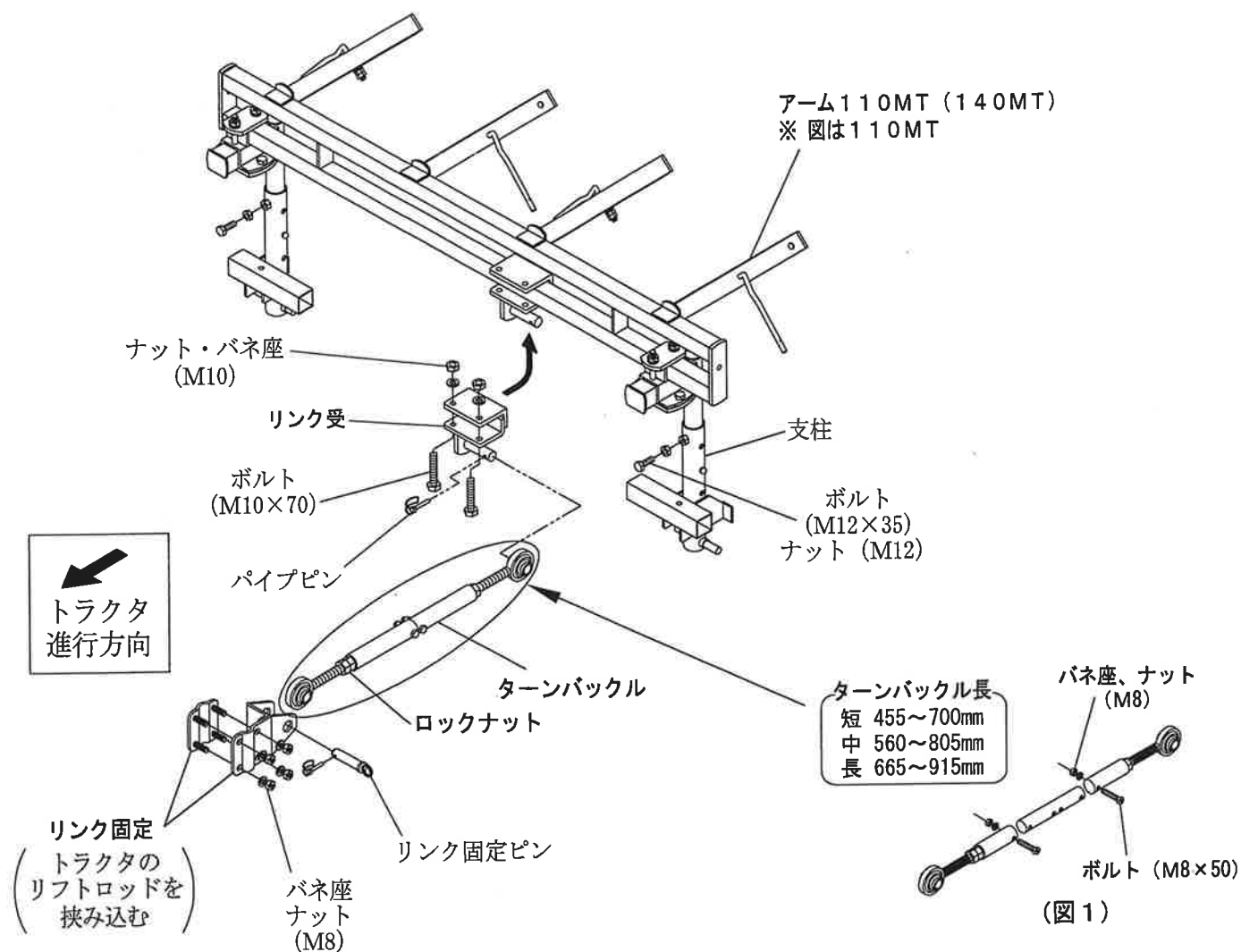


B. アーム110MTの取り付け (アーム140MTも同様)



(1) 左右の支柱にアーム110MT又は140MTを差込み、上板で固定します。

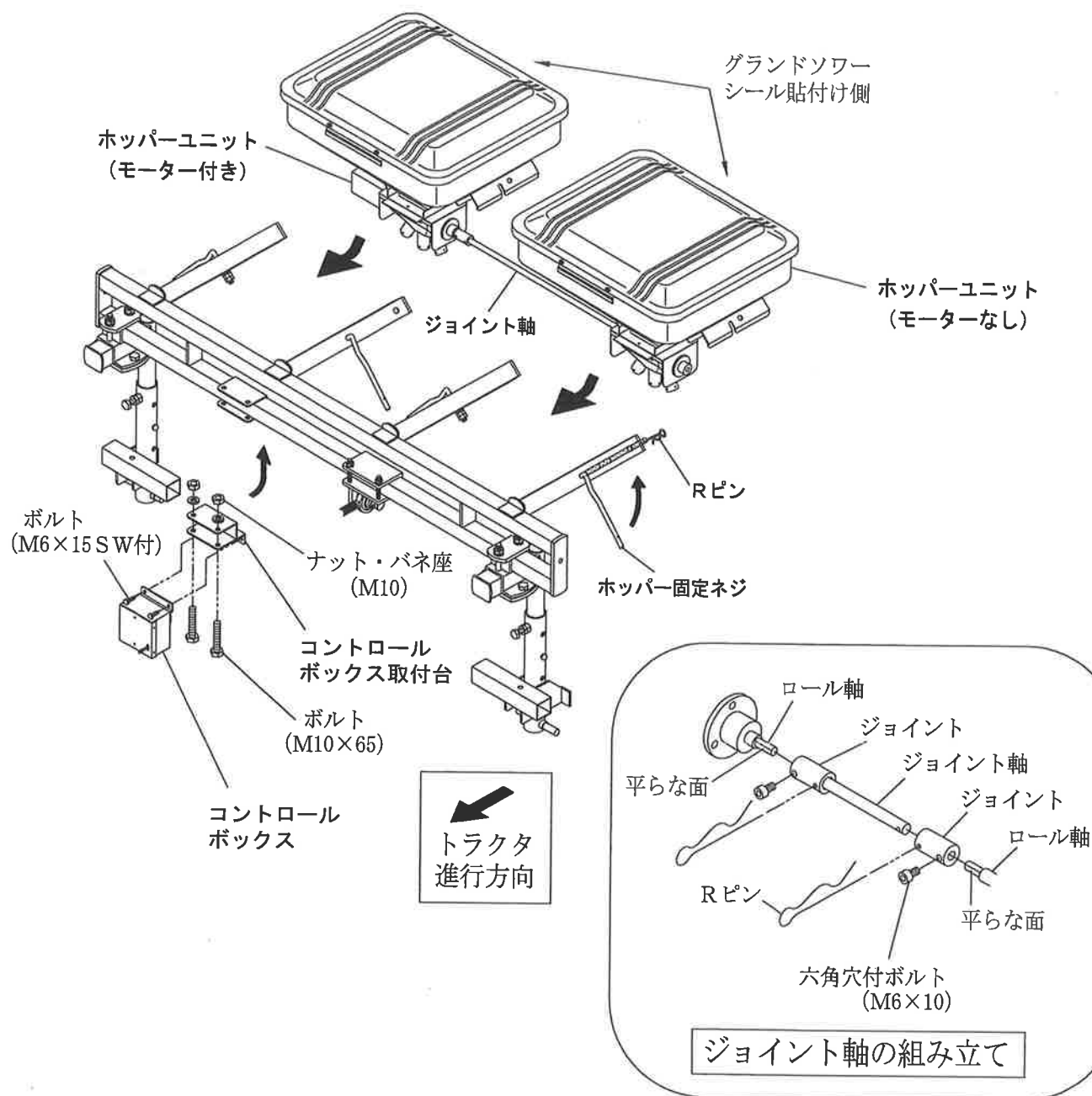
C. ターンバックルの取り付け（140MTも同様）



- (1) リンク固定をトラクタのリフトロッドに固定します。
(固定位置は左側リフトロッドの上部へ取り付けます。)
- (2) リンク受をアーム110MT又は140MTに固定します。
(ターンバックルが取付易い方向に固定してください。)
- (3) ターンバックルを取り付け、アーム110MT又は
140MTが水平になるように調整します。
ターンバックルの長さが足りない場合は、ボルトを外し、
長さを調整します。(3段階可能) (図1)
(調節後はロックナットで固定します。)

D. ホッパー、コントロールボックスの取り付け

(110MTの場合)



- (1) ホッパーユニットをアーム110MTに載せます。

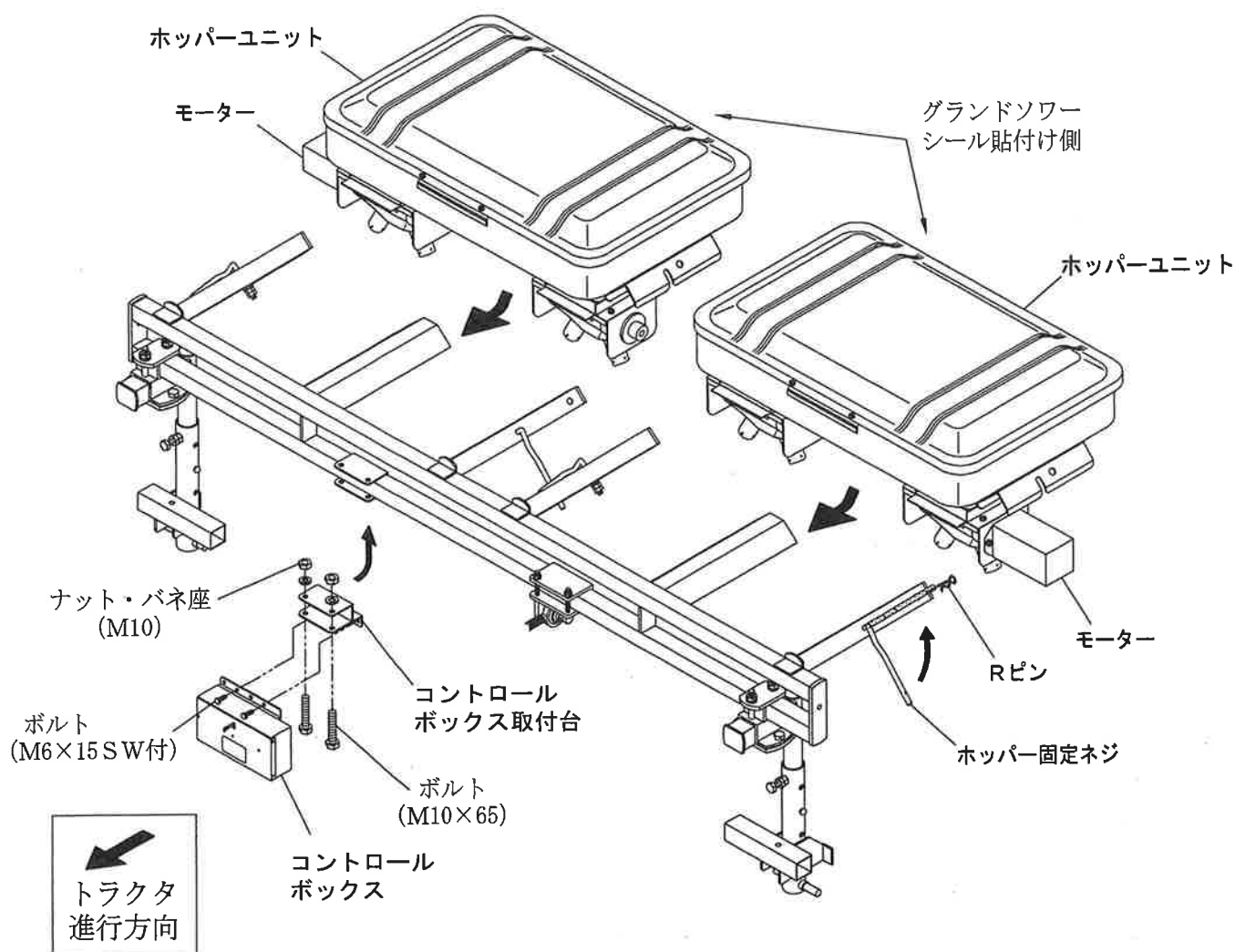
※ モーターが外側になり、グランドソーシールが後方にくるように取り付けて下さい。

- (2) ジョイントを両端のロール軸にはめ込み、ジョイント軸をRピンで固定します。
- (3) ホッパー固定ネジでホッパーを固定し、抜け止めにRピンを差し込みます。
- (4) 六角穴付ボルトをロール軸の平らな面に押し付けて締めて下さい。

※ 必ず(1)～(4)の手順で組み付けて下さい。ホッパー固定ネジを固定する前に、ジョイントの六角穴付ボルトを締め付けるとジョイント軸の回転が重くなりヒューズ切れを起こす場合があります。

- (5) コントロールボックス取付台をアーム110MTに取り付け、コントロールボックスを取り付けます。

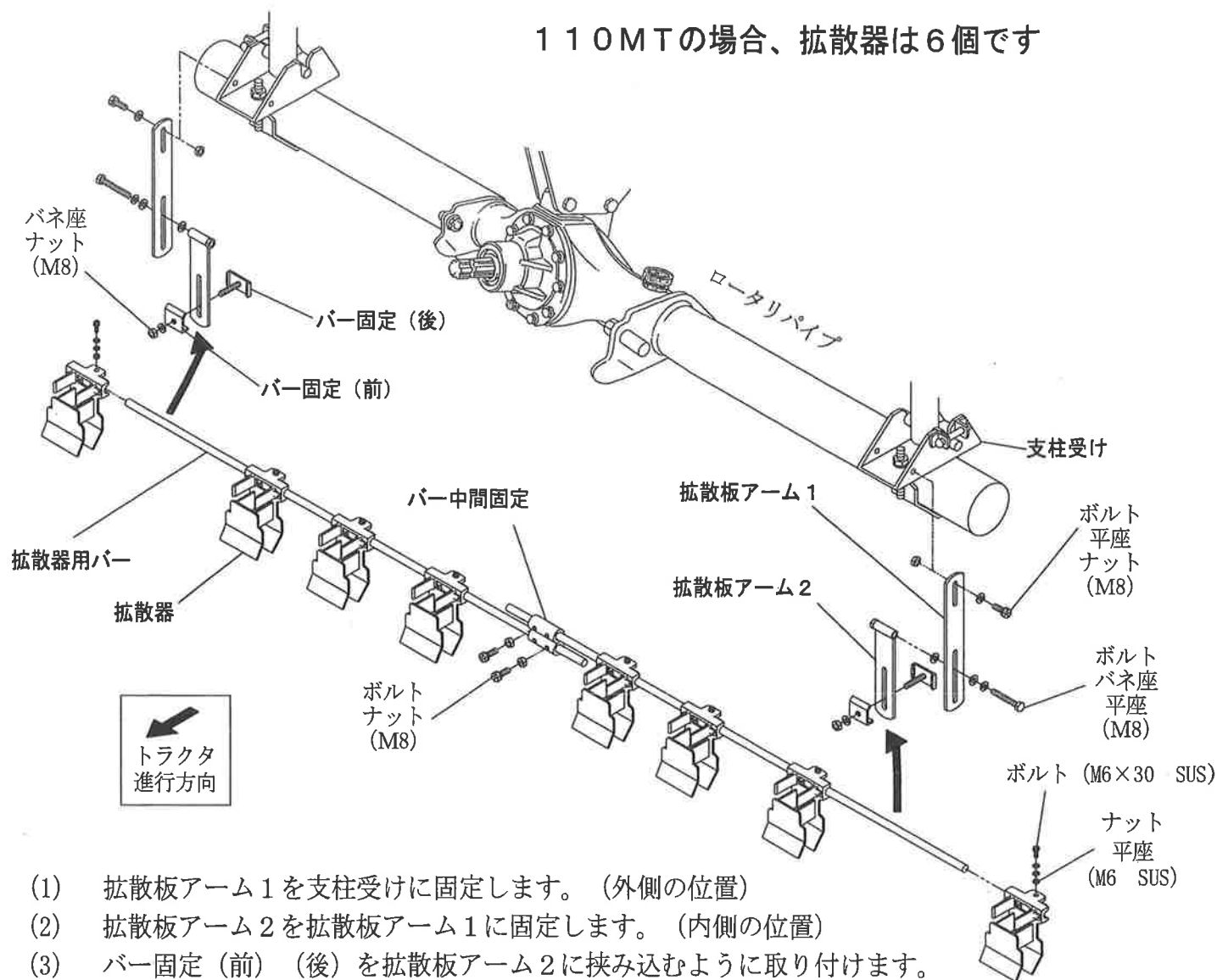
(140MTの場合)



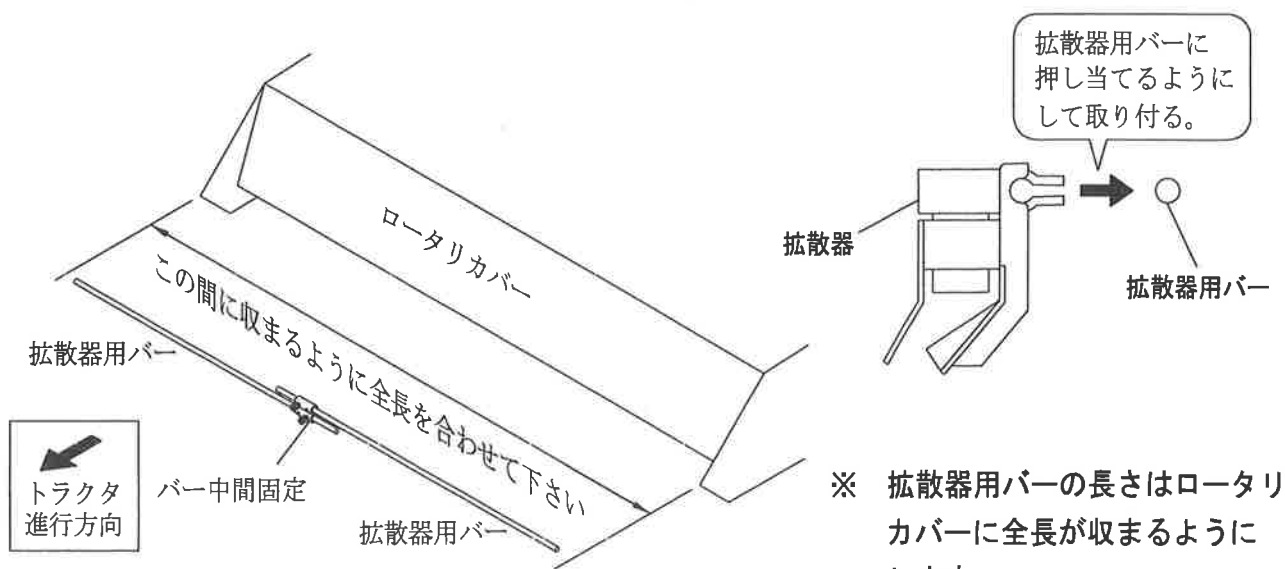
- (1) ホッパーユニットをアーム140MTに載せ、ホッパー固定ネジを引き上げ、Rピンで固定します。
- ※ モーターが外側になり、グランドソーシールが後方にくるように取り付けて下さい。
- (2) コントロールボックス取付台をアーム140MTに取り付け、コントロールボックスを取り付けます。

E. 拡散板アーム、拡散器の取り付け（110MTも同様）

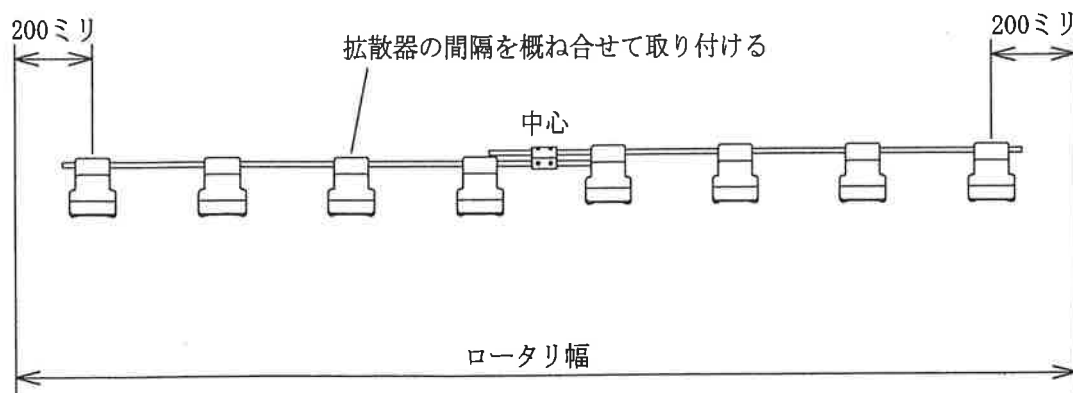
110MTの場合、拡散器は6個です



- (1) 拡散板アーム 1 を支柱受けに固定します。（外側の位置）
- (2) 拡散板アーム 2 を拡散板アーム 1 に固定します。（内側の位置）
- (3) バー固定（前）（後）を拡散板アーム 2 に挟み込むように取り付けます。
- (4) バー中間固定に拡散器用バーを差し込み、連結させます。
（バー中間固定にはM8タップが4ヶ所ありますが使用するのは2ヶ所です。
拡散器用バー 1 本に対して、ボルトとナット 1 ヶで固定します。）
- (5) 拡散器を拡散器用バーに取り付け、概ね拡散器同士の間隔をあわせ固定します。

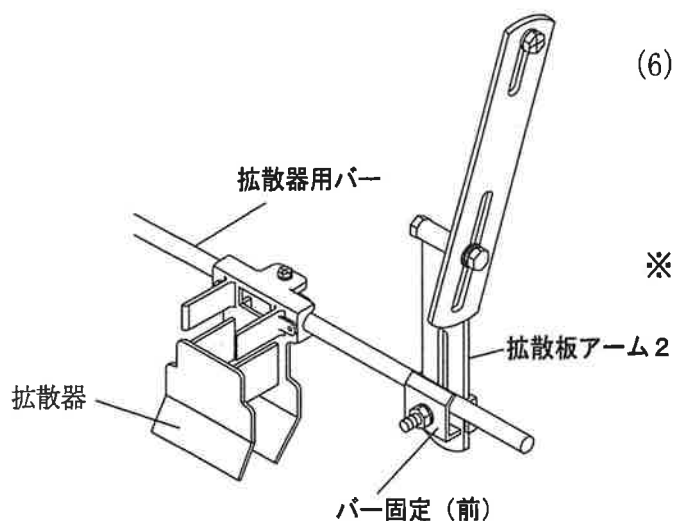


※ 拡散器用バーの長さはロータリカバーに全長が収まるようにします。



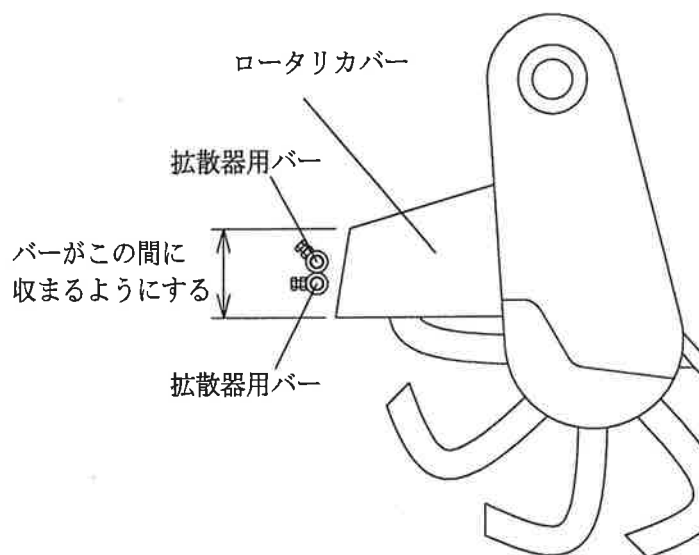
(110MTも同様)

※ 両端の拡散器はロータリ幅より200ミリ内側に取り付けます。

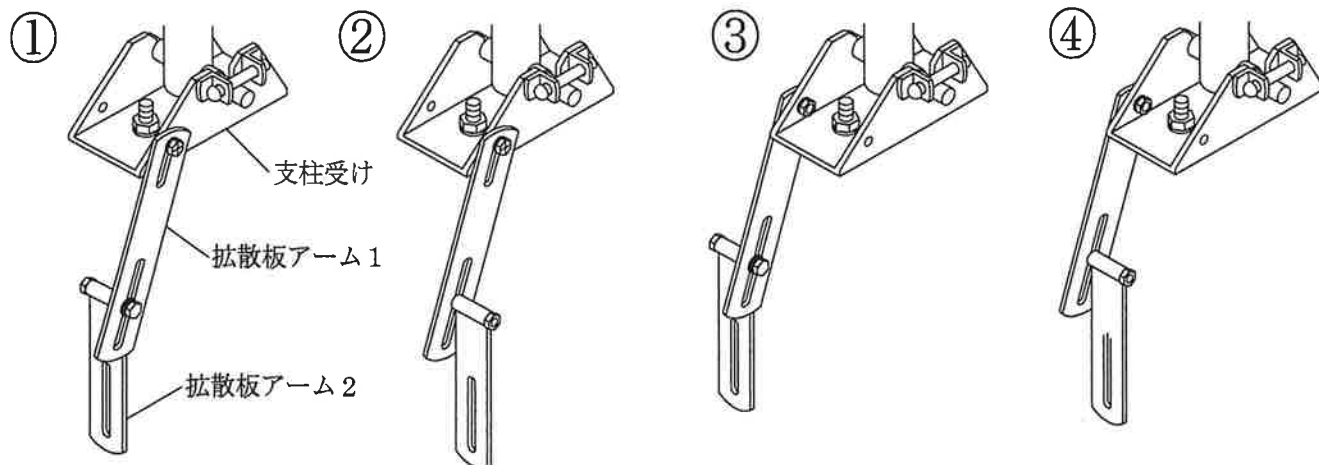


(6) (5) で組んだものを拡散板アーム2とバー固定 (前) で挟むように取り付けます。
拡散器用バーは下図の位置に収まるようにして下さい。

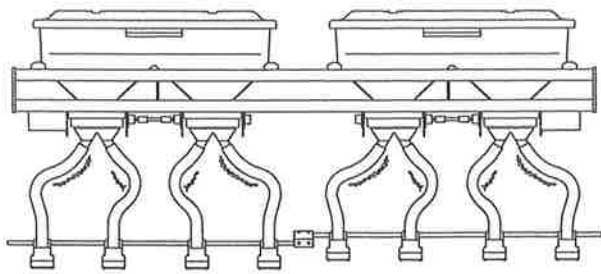
※ 拡散器はロータリカバーに近づくように各アームを調整して取り付けして下さい。



(7) 拡散器と拡散板アームが干渉する時は下図のようにアームの取り付け位置を変えて下さい。(4パターンあります)



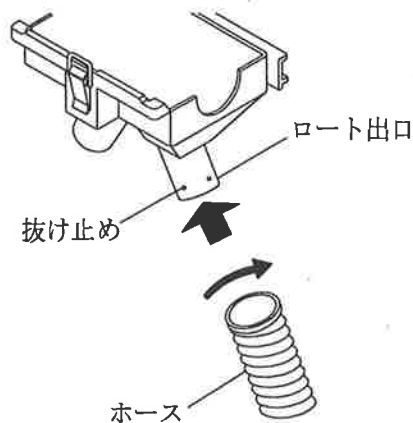
F. ホースの取り付け上の注意 (110MTも同様)



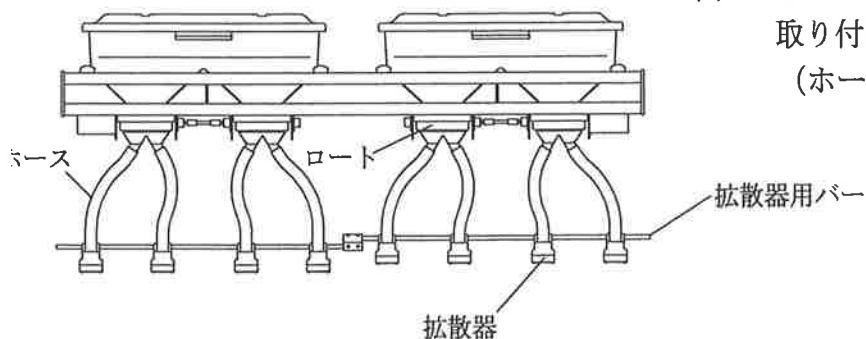
※ ホースを長いまま使用すると、ホースにたるみが出て肥料がホース内部に滞留し散布作業が出来ません。

※ ホース長さは支柱と中柱の穴位置により変わる為、長くなっています。(ホースはたるみが無いように、長い場合は切断して下さい。)

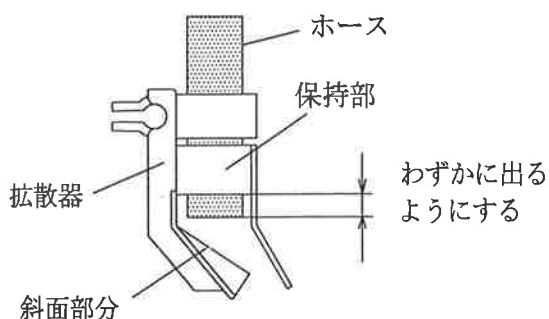
G. ホースの取り付け (110MTも同様)



(1) ロートにホースを回しながら差し込みます。
(外す時も同じ方向に回しながら引き抜きます)



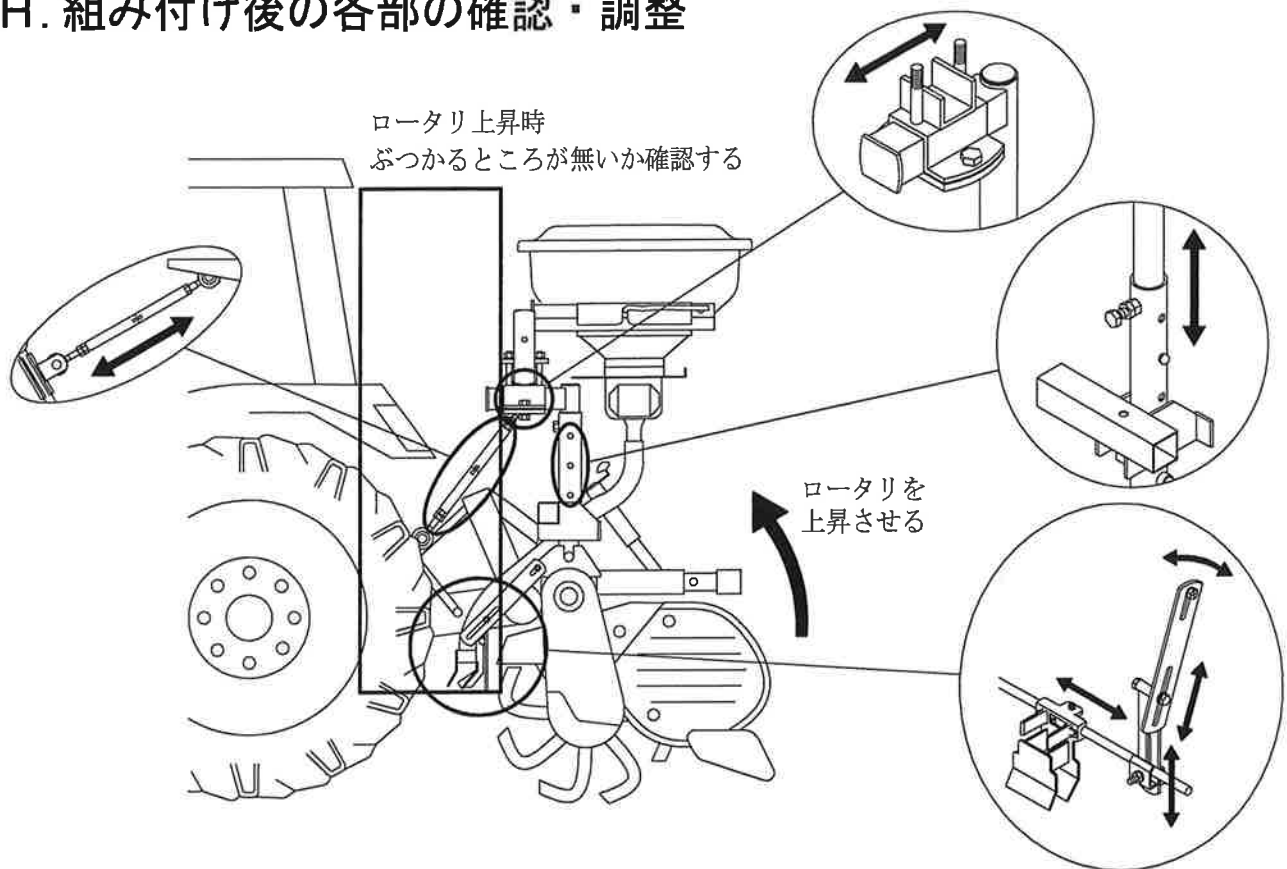
(2) ホースにたるみが出ないように拡散器へ取り付けして下さい。
(ホースが長い時は切断して下さい。)



(3) ホースは拡散器の保持部よりもわずかに出るように取り付けます。

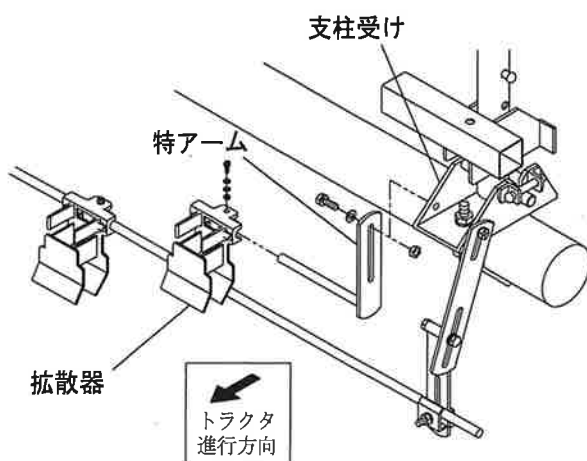
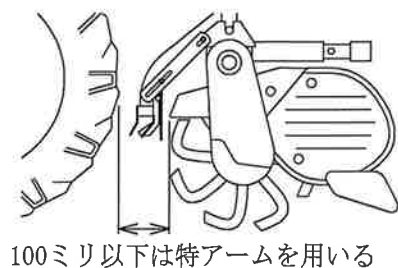
※ ホースの先端が拡散器の斜面部分に乗り上げると肥料が広がりません。

H. 組み付け後の各部の確認・調整



- ※ 作業前には必ずロータリをゆっくり上下して散布機がトラクタにぶつからないか確認して下さい。
肥料散布機本体や拡散器、ターンバックル等がぶつかる場合は位置調整をして下さい。
- ※ コードが無理に引張られないか、又はゆるみすぎがないか確認して下さい。
- ※ 作業前には必ず各取り付け部の締付けを確認して下さい。

I. 後輪とロータリの間隔がせまい場合

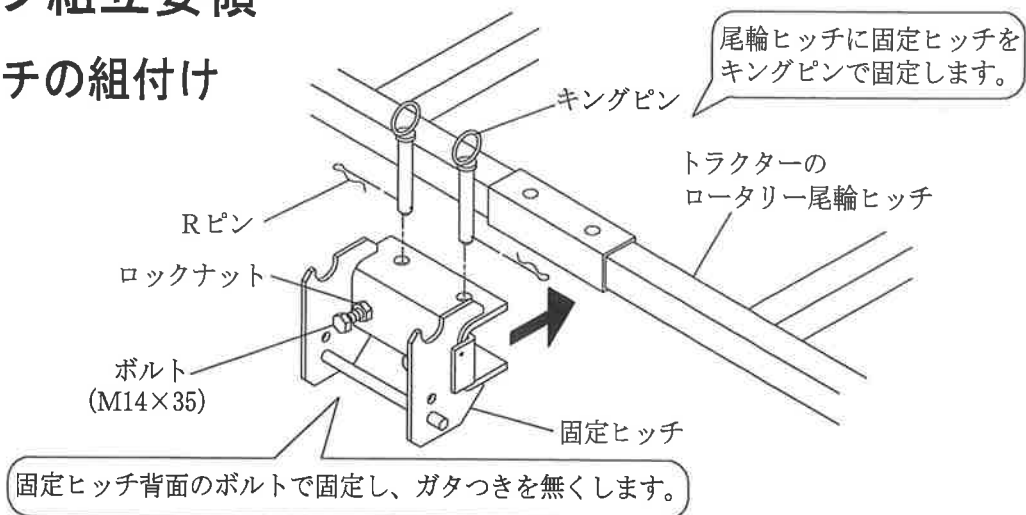


- (1) 後輪とロータリの間が100ミリ以下の場合は付属の特アームを使用します。
- (2) 支柱受けに特アームを固定します。
- (3) タイヤに近い拡散器を固定します。
- (4) 後輪に拡散器が当たらないように特アームの傾きや距離を調整します。

- ※ 作業前には必ずロータリをゆっくり上下してトラクタにぶつからないか確認して下さい。
拡散器がぶつかる場合は位置調整をして下さい。

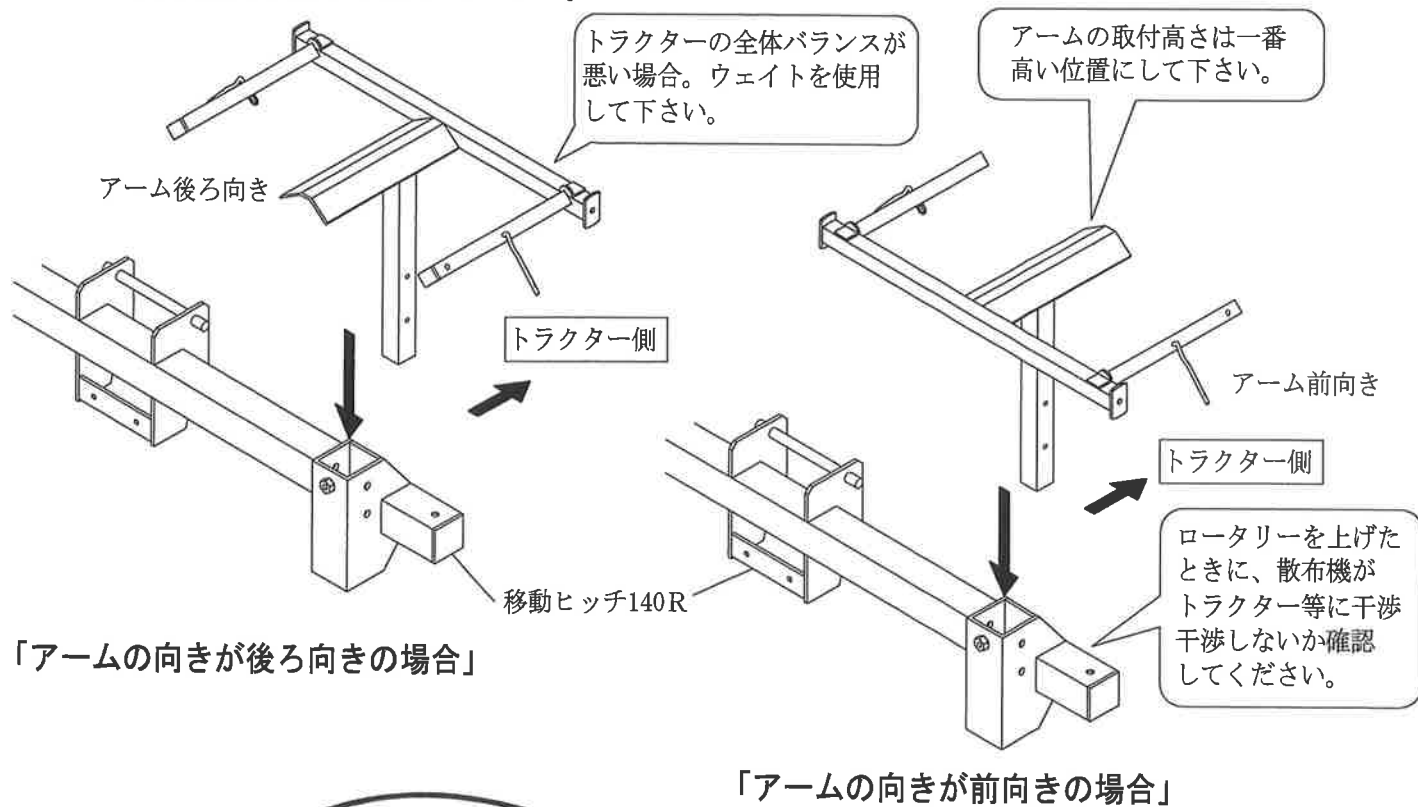
■ Rタイプ組立要領

A. 固定ヒッチの組付け



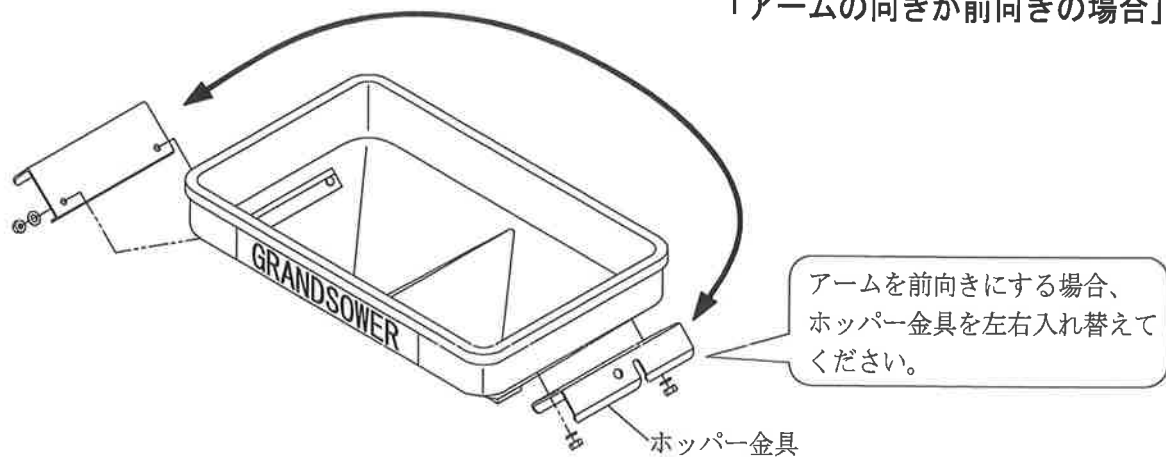
B. アームの取り付け方向 (図は140R)

Rタイプはアームの向きを前側（トラクター側）、後ろ側に出来ます。
それぞれ以下の点に注意して下さい。

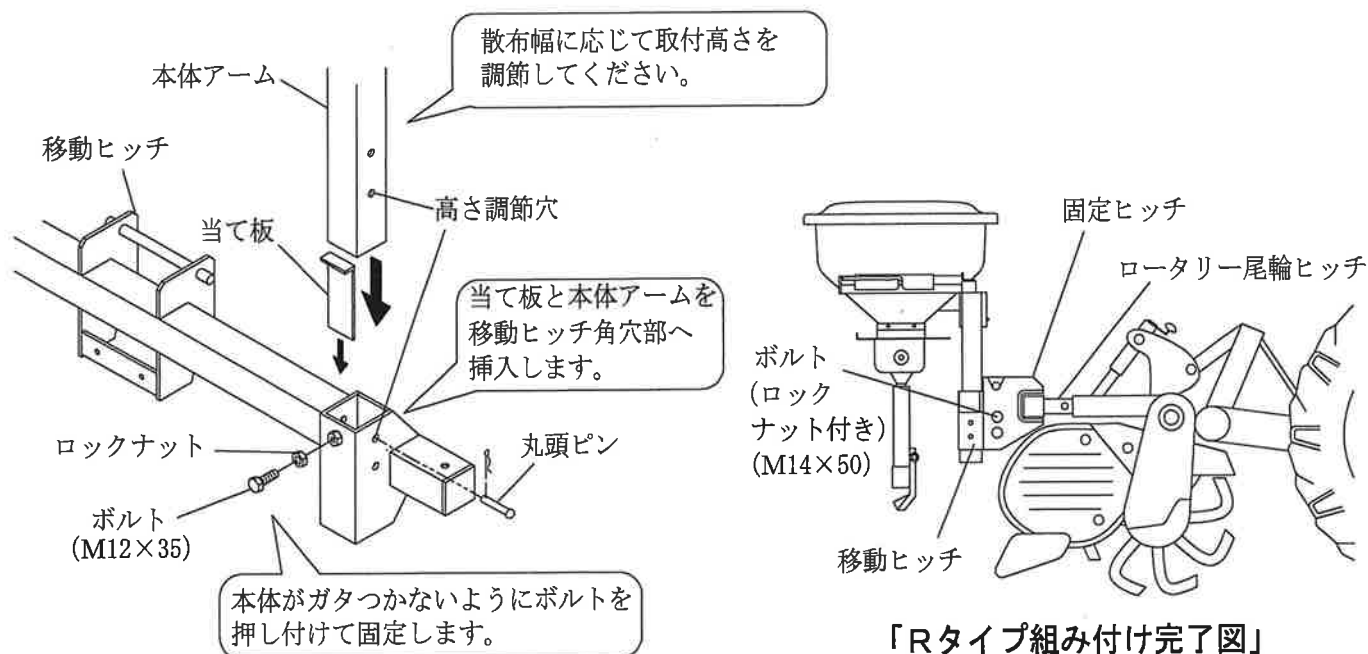


「アームの向きが後ろ向きの場合」

「アームの向きが前向きの場合」



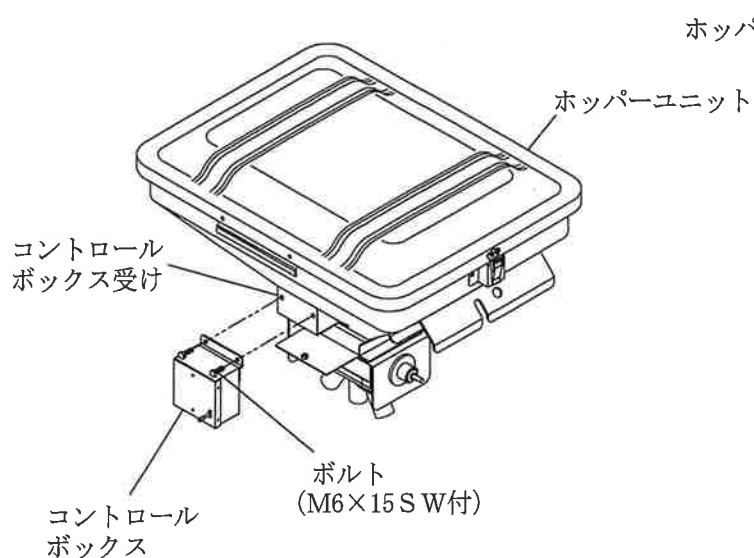
C. 本体取り付け高さ調整 (図は140R)



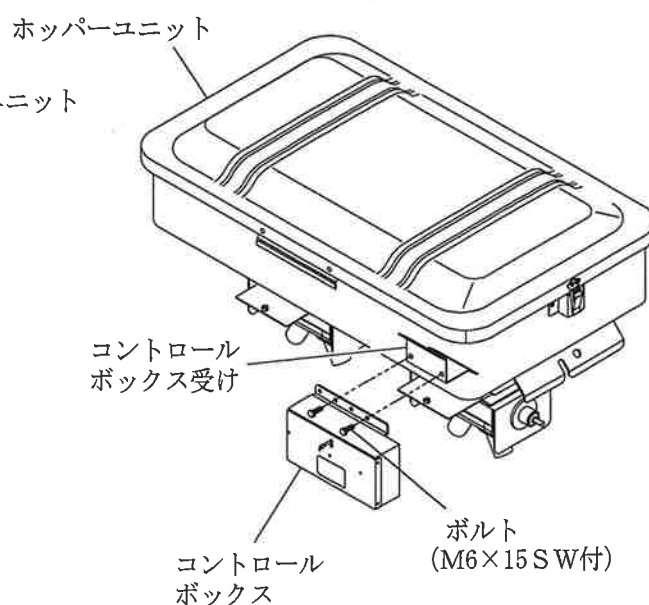
D. コントロールボックスの取り付け

コントロールボックス受けがある方のホッパーユニットに、ボルトでコントロールボックスを取り付けます。

(110R)

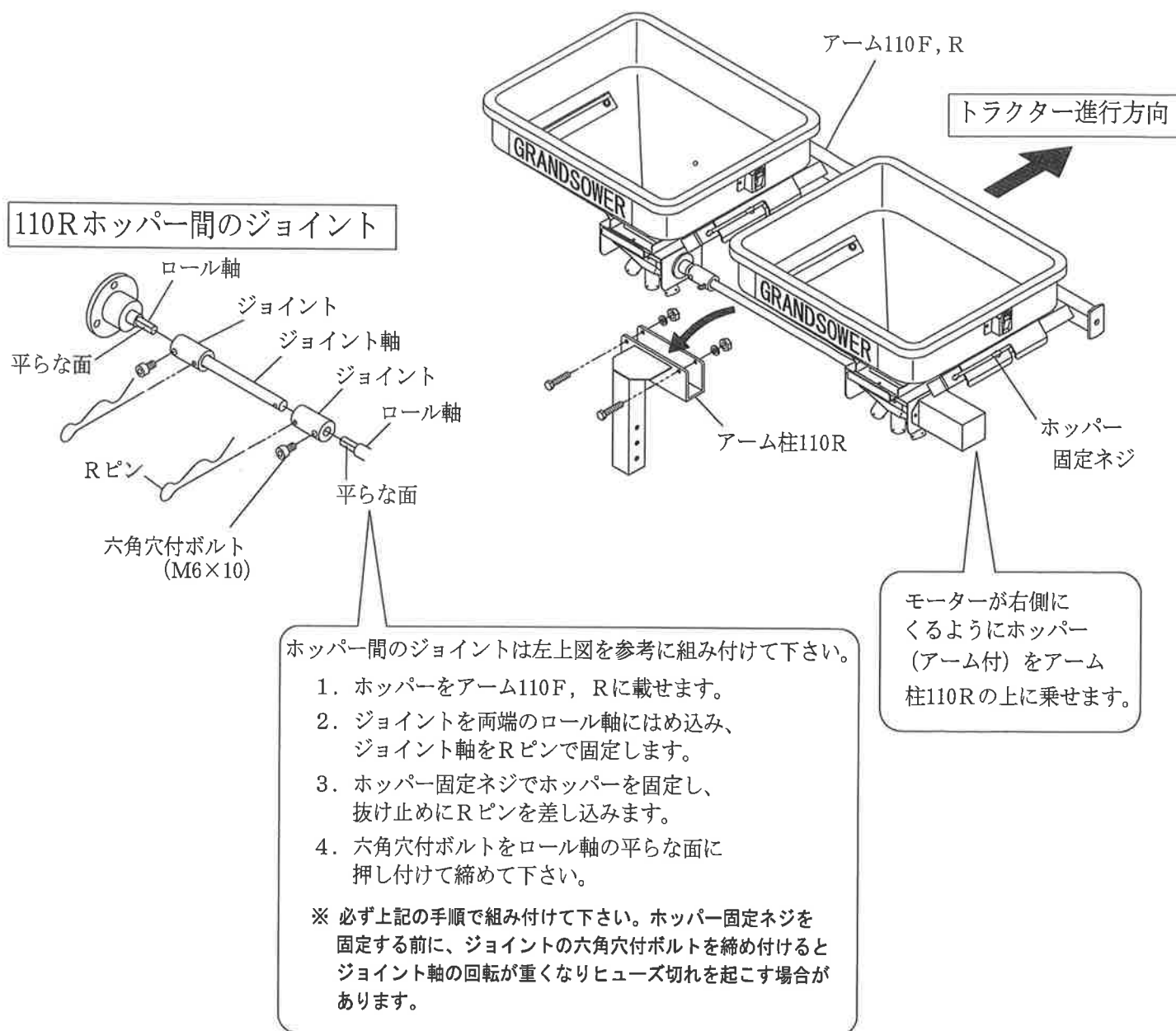


(140R)



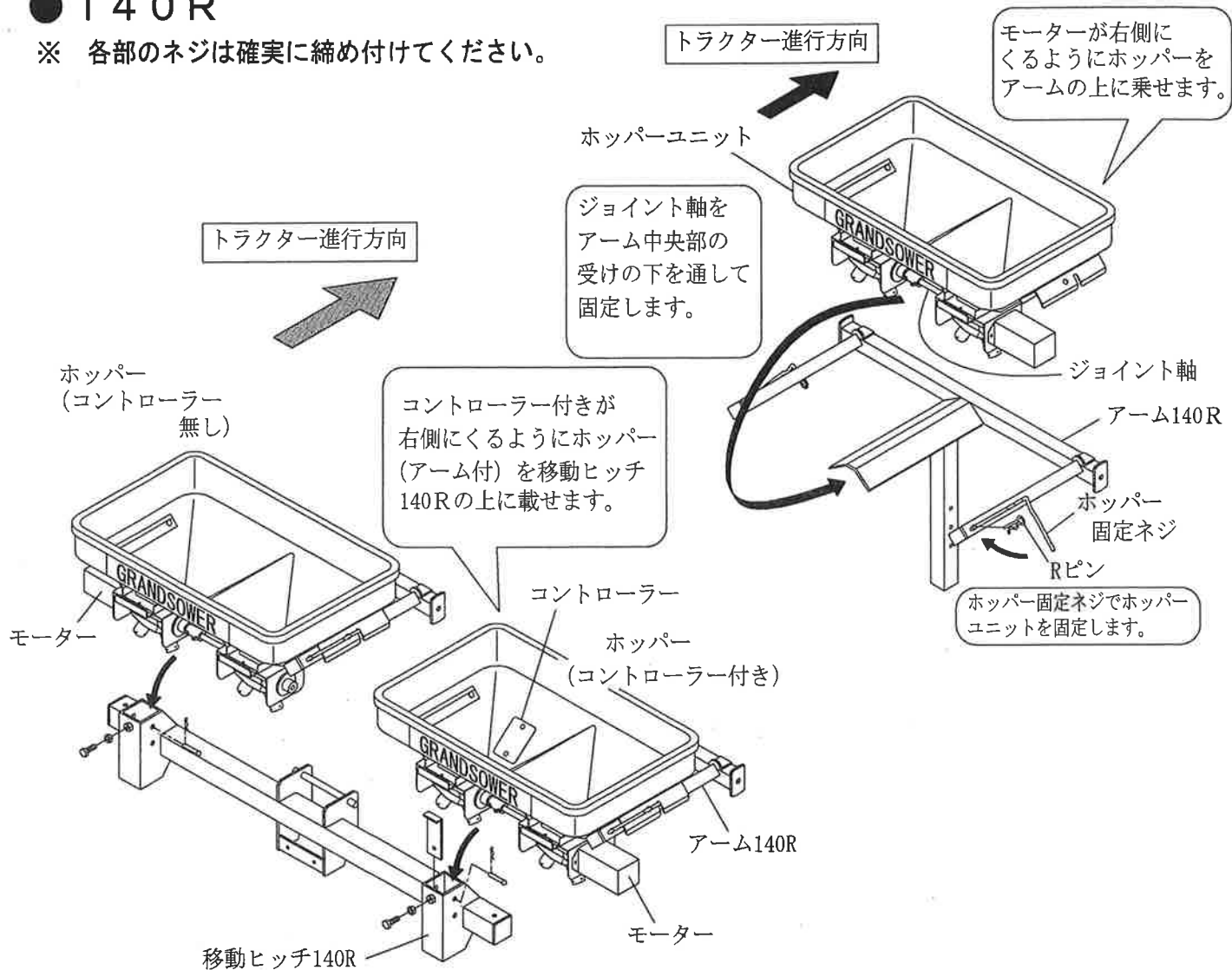
E. ホッパーの組立て方

● 110R



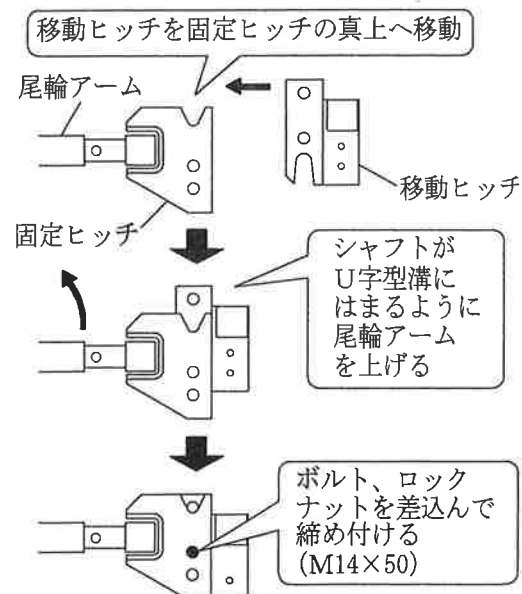
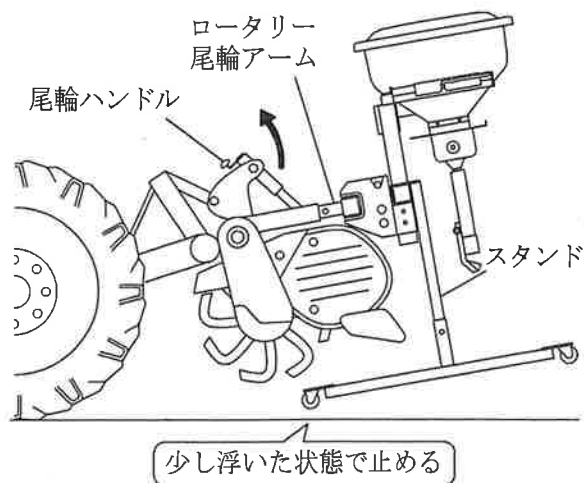
● 140R

※ 各部のネジは確実に締め付けてください。



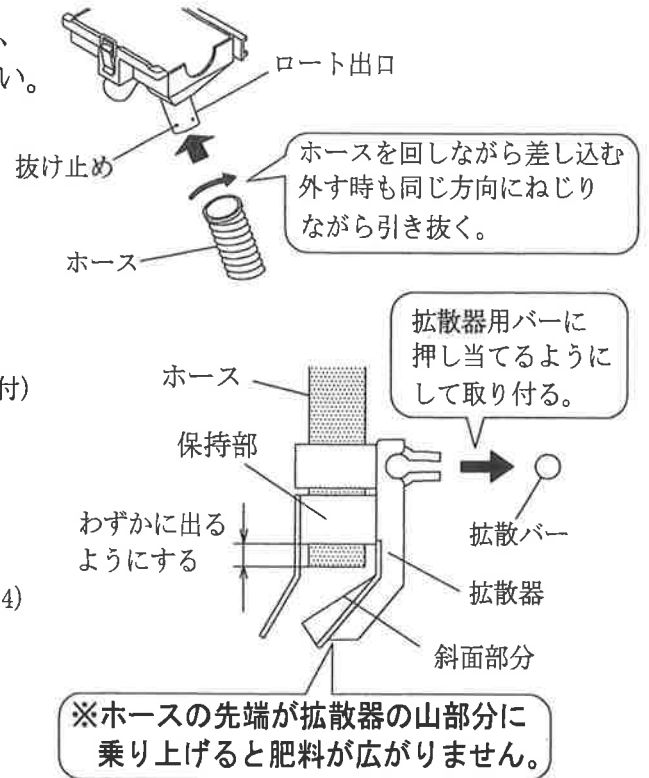
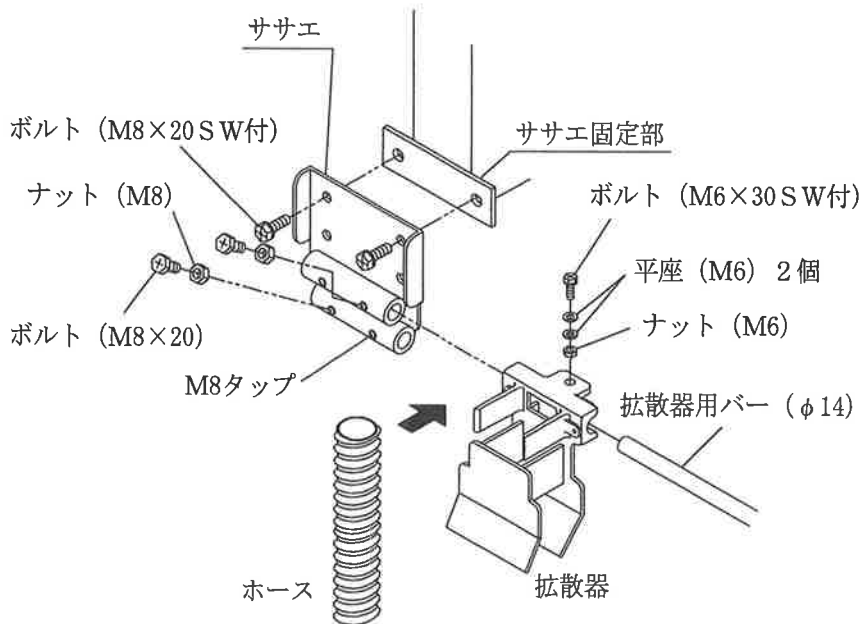
F. 散布機のトラクターへの装着

ロータリーですくい上げて可。ただしロータリーはゆっくり上げてください。



G. ホース、拡散器の取り付け

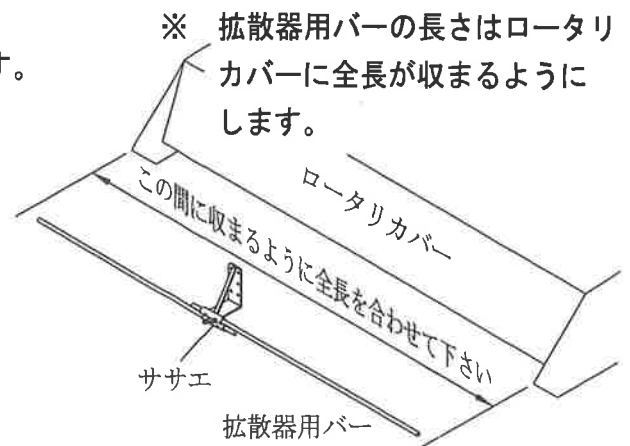
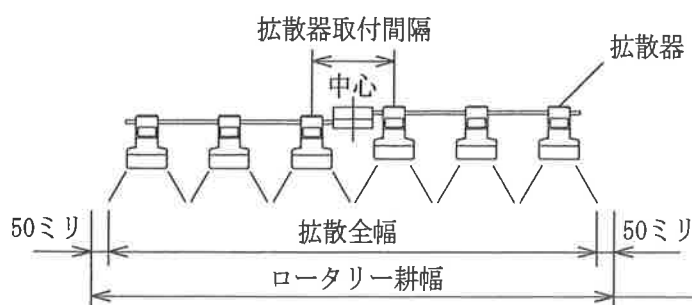
- (1) 移動ヒッチにササエをボルトで固定します。
(型式140RについてはP. 20参照)
- (2) 拡散器を拡散器用バーに取り付け、ササエの穴に差し込み、ボルトで押し付け、ロックナットを締め付け固定します。(ササエにはM8タップが4ヶ所ありますが使用するのは2ヶ所です。
拡散器用バー1本に対して、ボルトとナット1ヶで固定します。)
- (3) ホースの長さをそれぞれの拡散器の位置に合わせて切断します。この時、ホースの傾きが大きくて肥料が流れず滞留しそうな場合は、本体アームの高さを調節してからホースを切断して下さい。(ホース取り付け上の注意参照)
- (4) ホースは拡散器の保持部よりもわずかに出るように、矢印の方向から押し込むようにして取り付けて下さい。



H. 拡散器取り付け上の注意

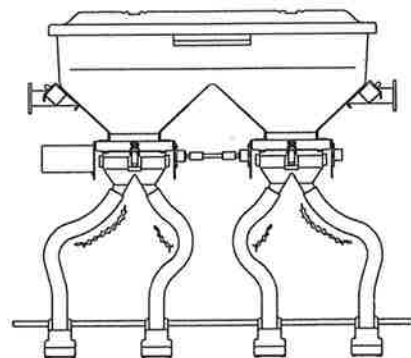
- ※ 拡散器取り付け間隔は概ね等間隔になるようにします。
- ※ 拡散全幅はロータリー耕幅より100mm引いた幅になります。
- ※ はじめに中心で間隔を決めて下さい。

(例) UH-110R



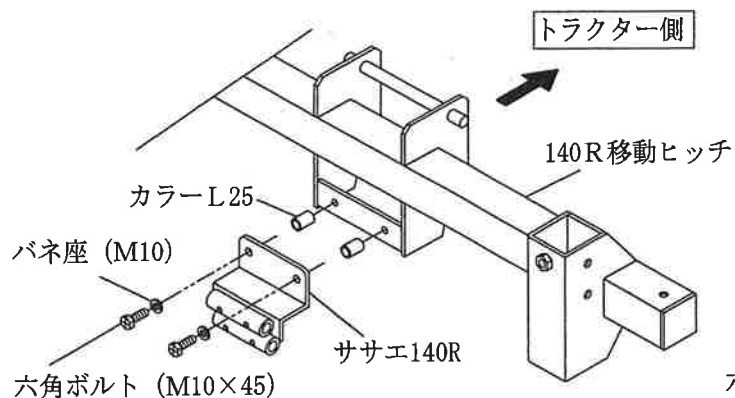
I. ホース取り付け上の注意

- ※ ホースを長いまま使用すると、肥料がホース内部に滞留して、散布作業が正しく行えません。
- ※ ホース長さはアームとヒッチの組み付け穴位置により変わる為、長くなっています。
(ホースはたるみが無いように、長い場合は切断して下さい。)

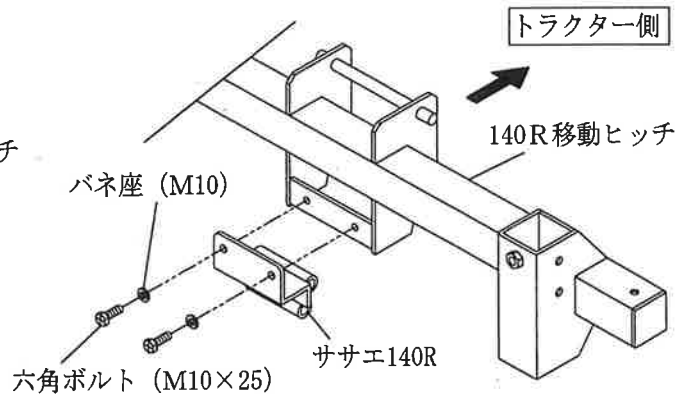


J. 140Rの拡散器ササエの取り付け方向

①アーム後ろ向き（ホッパー
取り付け方向後ろ側）の場合



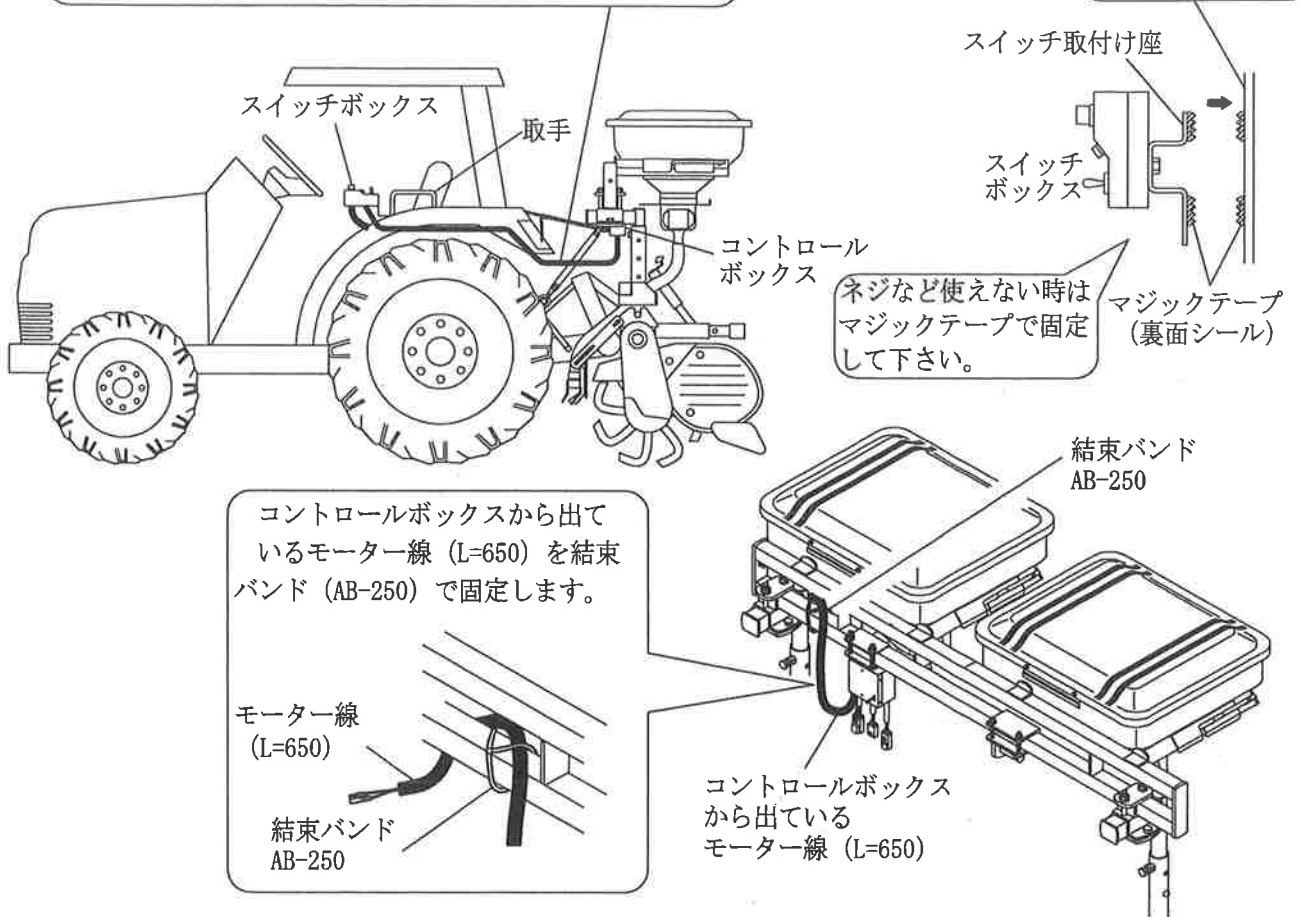
②アーム前向き（ホッパー
取り付け方向前側）の場合



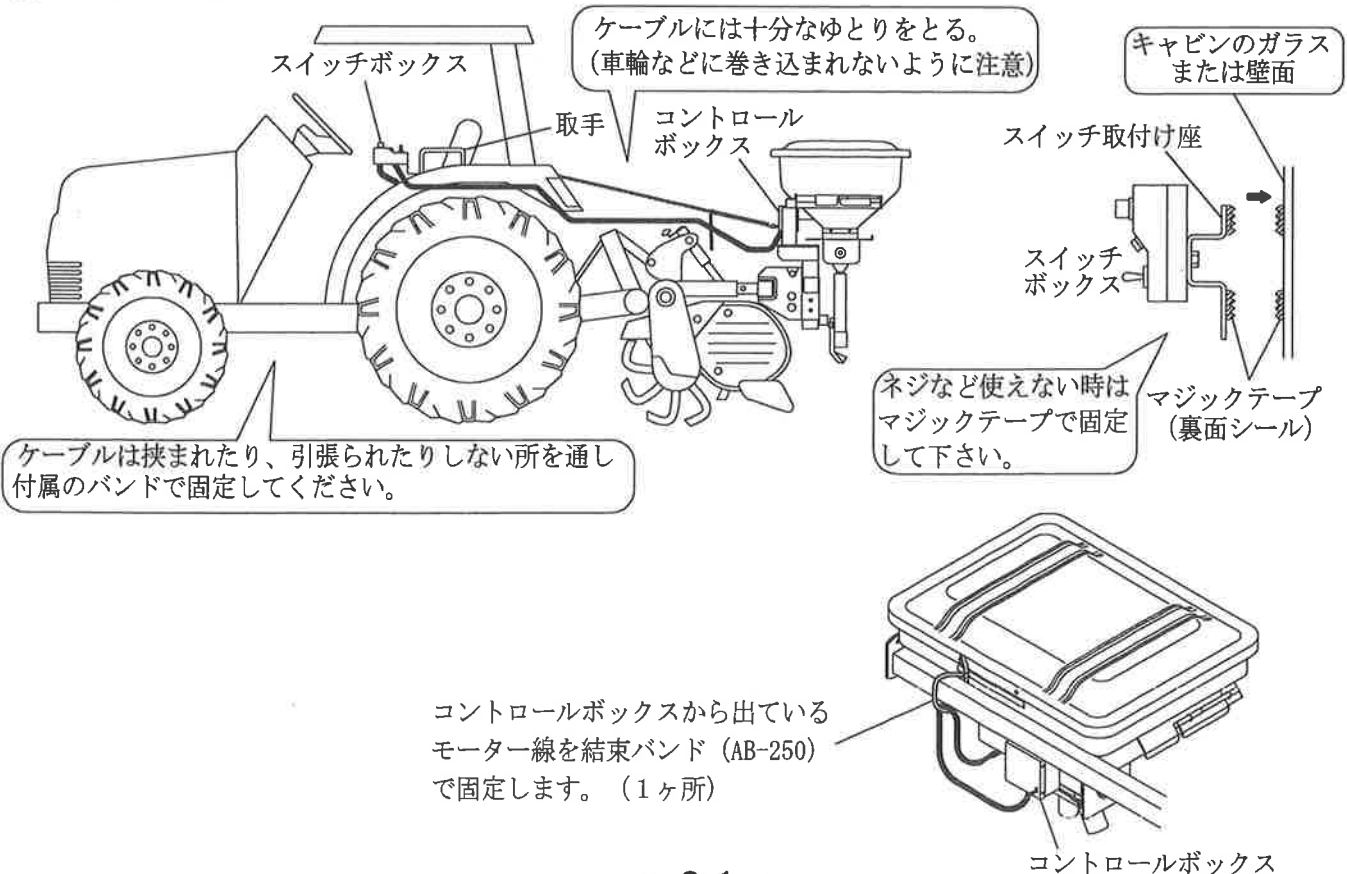
■ ケーブルの接続（110タイプ）

● 110MT

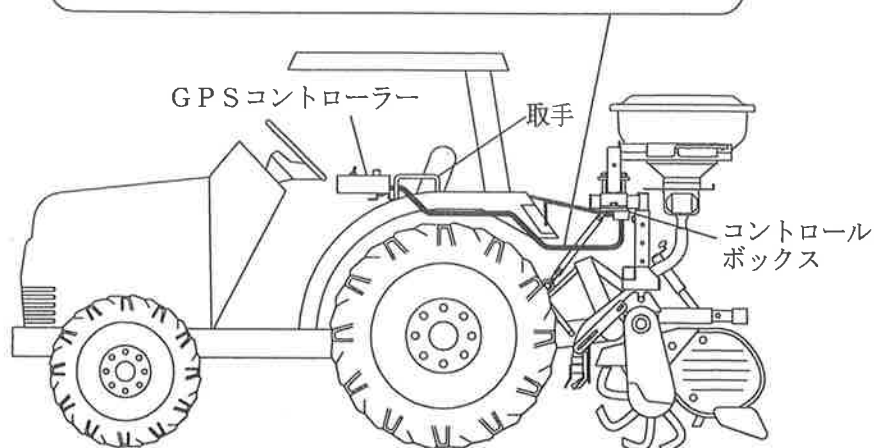
コードには十分なゆとりをとり付属のバンドで固定する。
（車輪などに巻き込まれないように注意）



● 110R



コードには十分なゆとりをとり付属のバンドで固定する。
(車輪などに巻き込まれないように注意)



キャビンのガラス
または壁面

取付け座

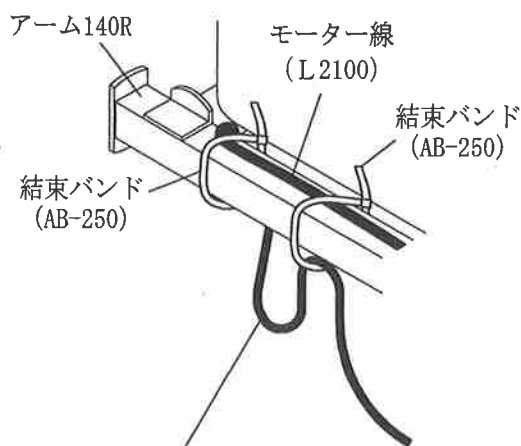
スイッチ
ボックス

マジックテープ
(裏面シール)

ネジなどが使えない時は
マジックテープで固定して
下さい。

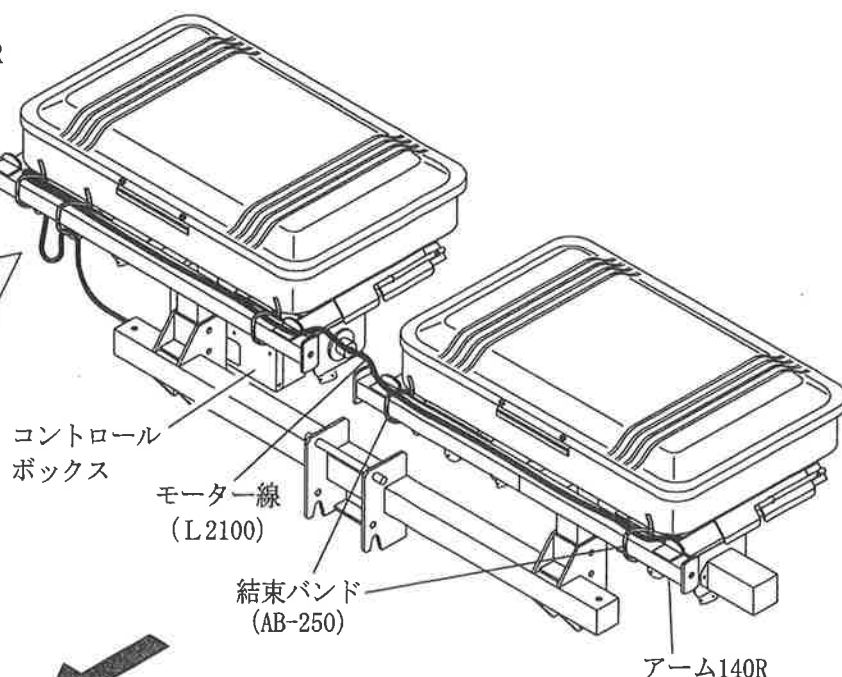
●140R

モーター線 (L2100) を
アーム140Rに沿わせて、
結束バンド (AB-250) で
固定します。(4ヶ所)



コントロールボックスから出ている
モーター線を結束バンド (AB-250)
で固定します。(1ヶ所)

アーム140R



トラクター
進行方向

ケーブルは挟まれたり、引張られたりしない所を通し
付属のバンドで固定してください。

ケーブルには十分なゆとりをとる。
(車輪などに巻き込まれないように注意)

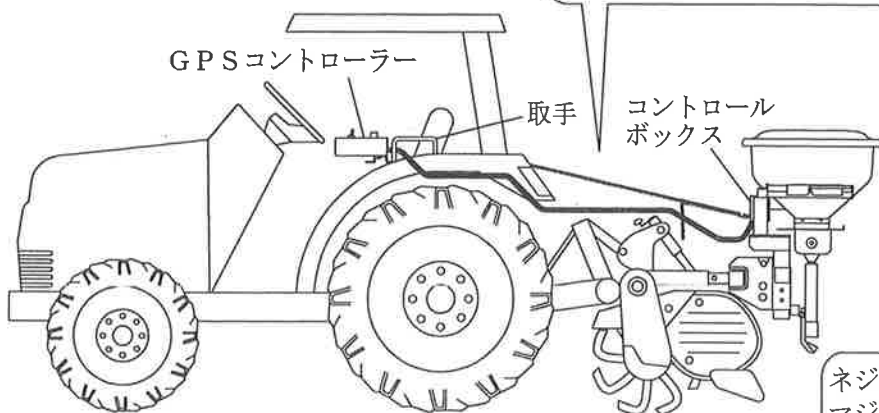
キャビンのガラス
または壁面

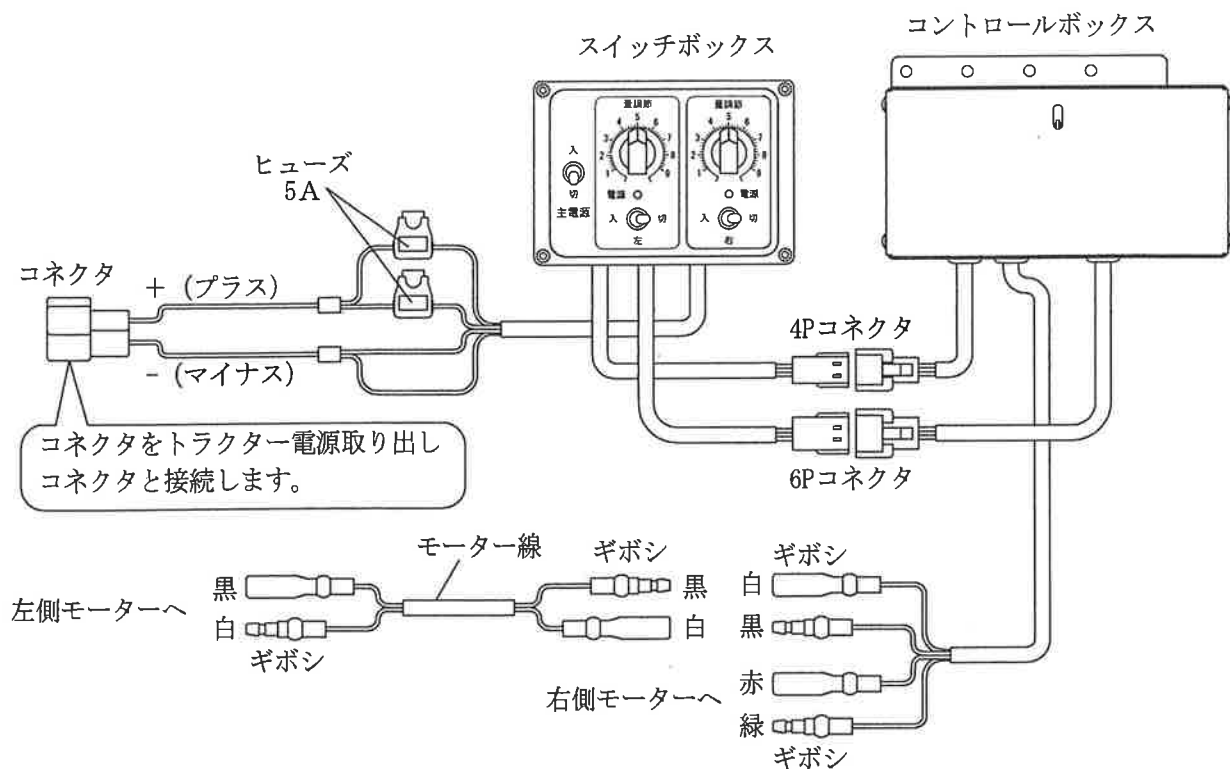
取付け座

スイッチ
ボックス

マジックテープ
(裏面シール)

ネジなどが使えない時は
マジックテープで固定して
下さい。

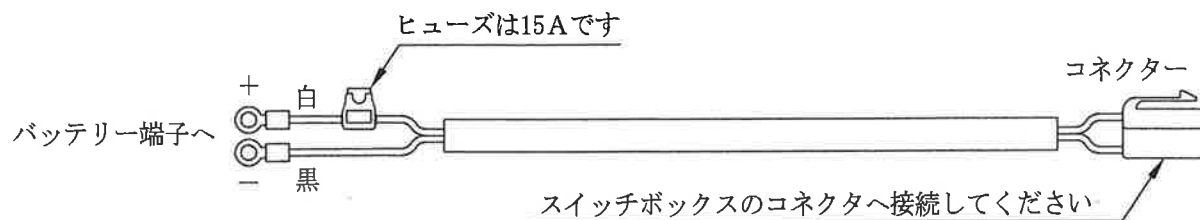




- (1) スイッチボックスをトラクターの取手や付属のマジックテープを使って、操作のしやすいところに取り付けます。
- (2) スイッチボックスのコネクタ線をコントロールボックス下のコネクタに差し込みます。
- (3) 左側モーターのギボシ端子とコントロールボックスのギボシ端子（白・黒）を、モーター線で中継して接続します。
- (4) 右側モーターのギボシ端子をコントロールボックスのギボシ端子（赤・緑）に接続します。

※ トラクタ電源取出しコネクタがない場合オプションの延長コードをお使いください。

バッテリーやコネクタの接続は確実に行って下さい。接触が悪いと動作不良の原因になります。



■ 自動スイッチの接続

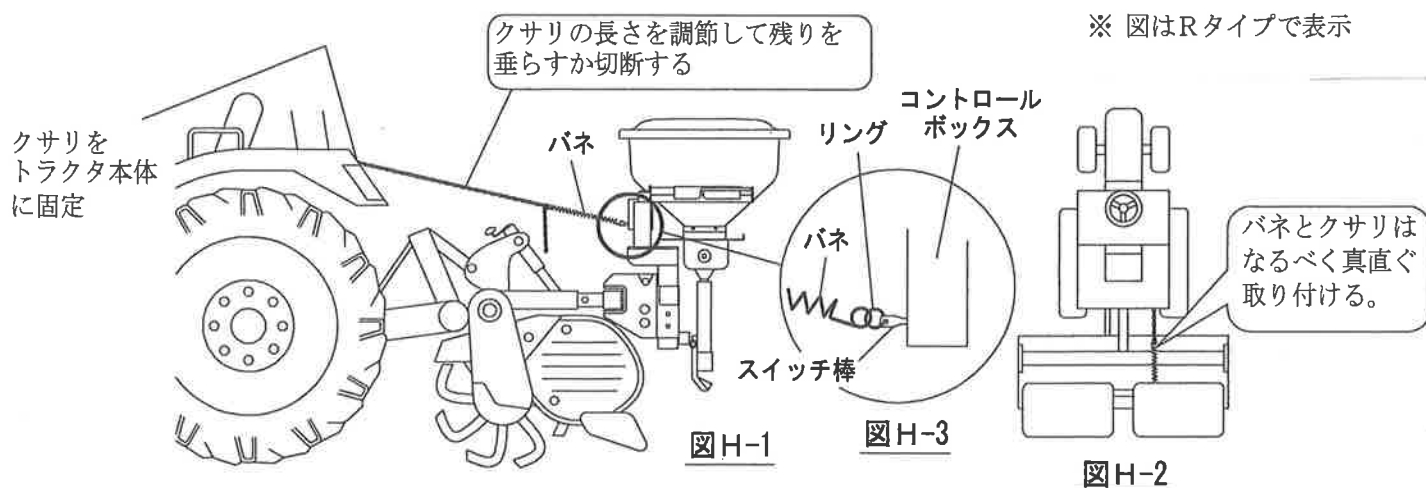
- (1) コントロールボックスのスイッチ棒とバネをリングで接続します。(図-3参照)
- (2) クサリの端部をトラクターの本体後部へ固定します。(図-1、図-2参照)

〈UH-110MT/Rの説明〉

ロータリーで耕うんする状態（ロータリーを下げた状態）でモーターが回転し、ロータリーを上昇させた状態でモーターが停止するように、バネを引っ張ってクサリの長さを調節します。バネの”のび”が強すぎるとモーターが回転したままになります。また、弱すぎるとモーターが回転しなかったり、作業中にモーターが停止することがあります。

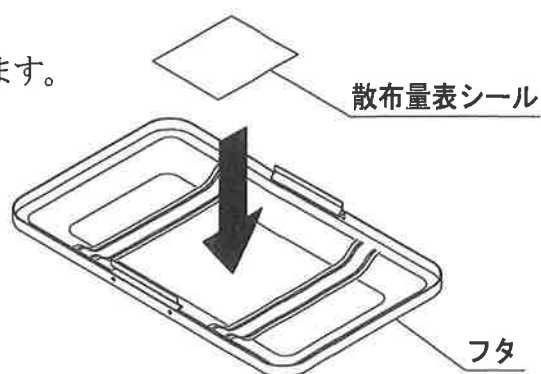
〈UH-140MT/Rの説明〉

ロータリーで耕うんする状態（ロータリーを下げた状態）で左右のモーターが回転し、ロータリーを上昇させた状態で左右のモーターが停止するように、バネを引っ張ってクサリの長さを調節します。バネの”のび”が強すぎるとモーターが回転したままになります。また、弱すぎるとモーターが回転しなかったり、作業中にモーターが停止することがあります。

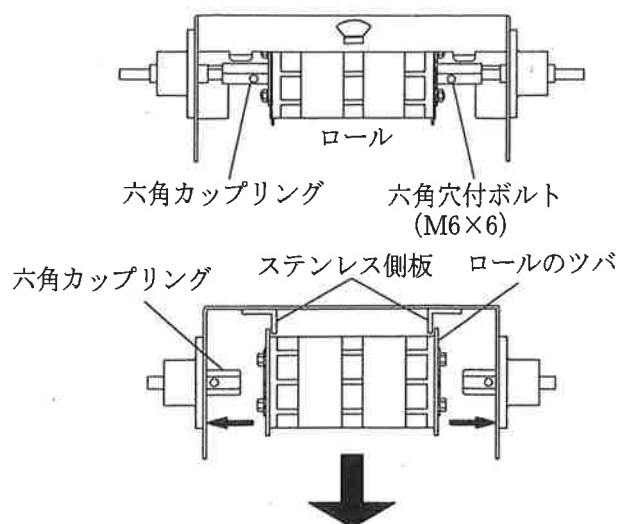


■ 散布量表シールを貼る（140タイプ）

付属の散布量表シールをフタの裏面に貼り付けます。



■ ロールの外し方



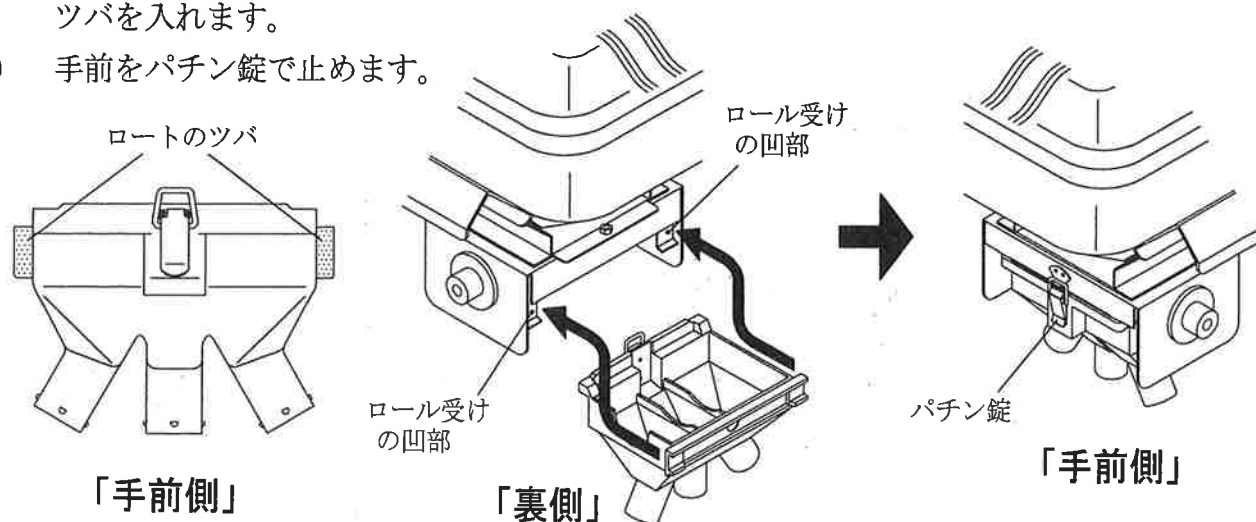
- (1) 六角穴付きボルトをゆるめ、六角カップリングを左右にずらし、ロールを外します。
(六角レンチ 5 mm 使用)

※ ロールをセットするとき、ロールのツバが両側ともステンレス側板の外側になるように注意して下さい。

※ ロールをセットするとき、六角穴付きボルトは軸の平らな面に押付けてください。

■ ロートの取り付け・取り外し

- (1) ロール受け裏側にある凹部にロートのツバを入れます。
(2) 手前をパチン錠で止めます。



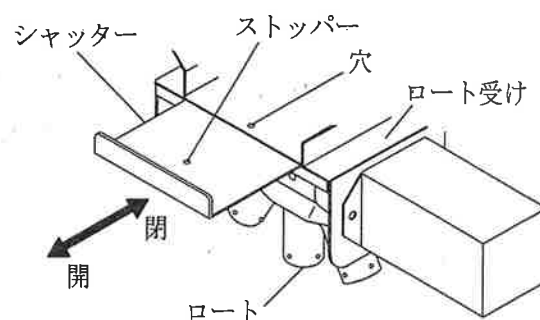
■ 散布分けの仕方

- (1) シャッターを閉めると、そのロートから出ているホースの肥料散布を停止することが出来ます。

※ シャッターを閉めても、ロールの中に入っている肥料は排出されます。

※ シャッターのストッパーがロート受けの穴に入るまで確実に押し込んで下さい。

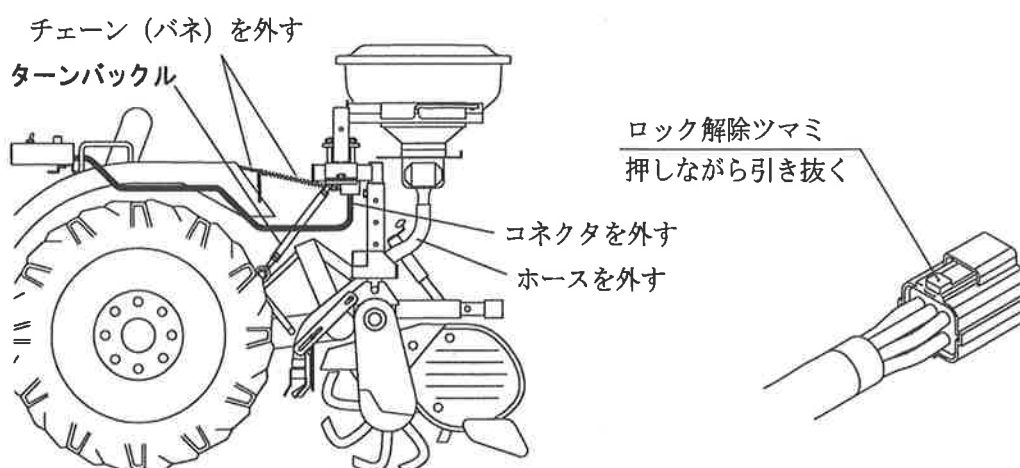
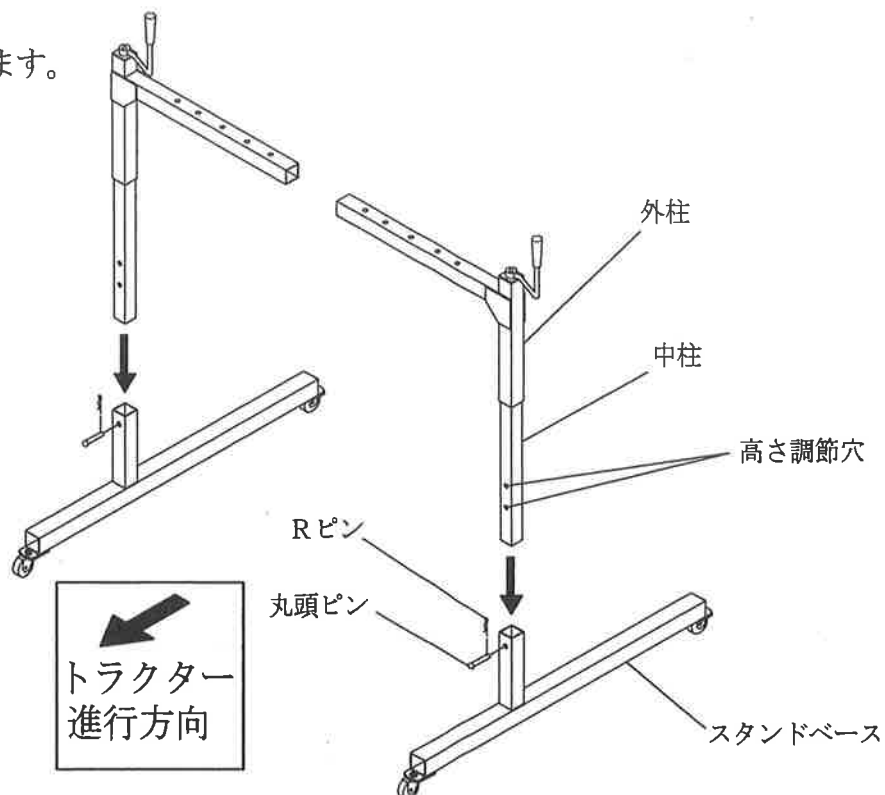
※ シャッターを開ける時もストッパーがロート受けの穴に入るまで確実に引き出して下さい。(シャッターにはストッパーが前後2個あります。)



■ スタンドの使用法

●MTタイプ

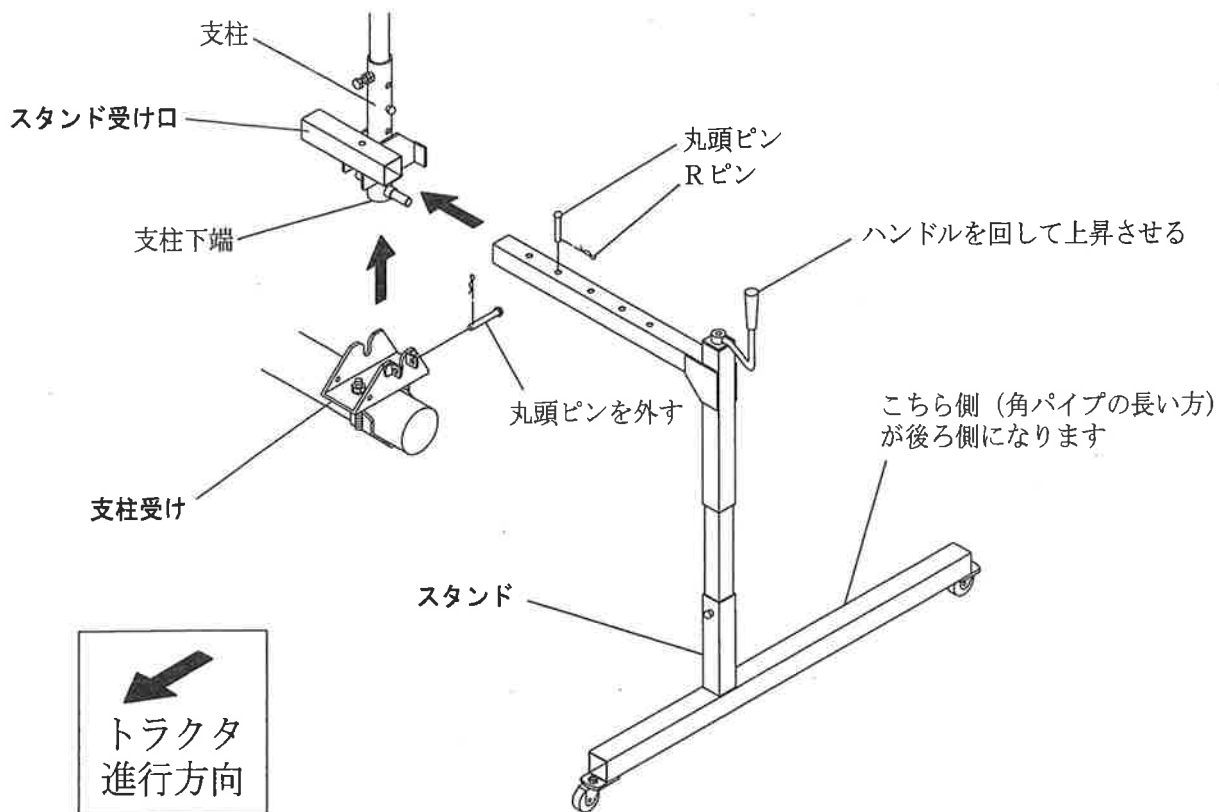
- (1) 中柱をスタンドベースに差込みます。
- (2) 高さを決め固定します。



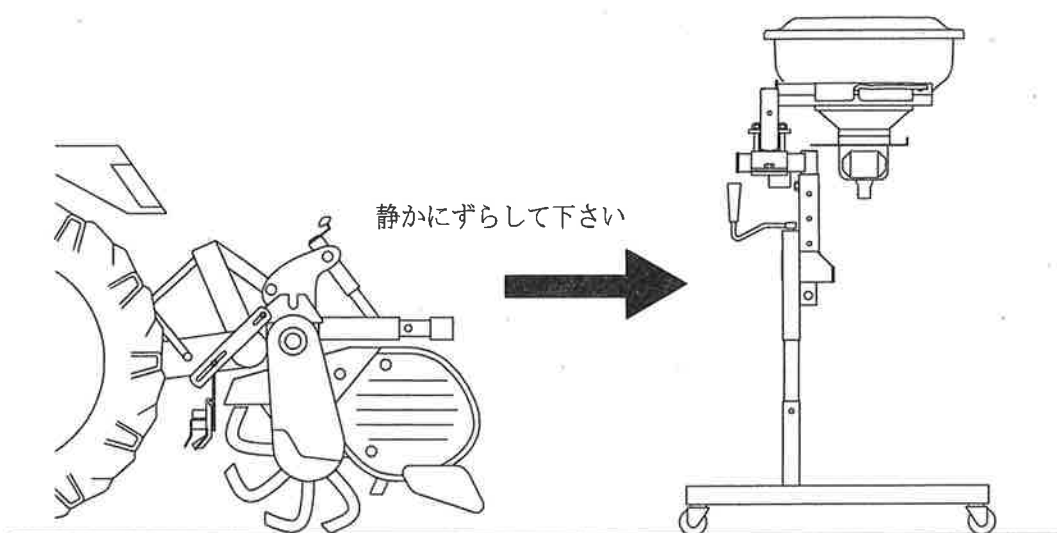
- (3) 肥料散布機につながっている配線のコネクタ、チェーン（バネ）、ホースを外します。

※ コネクタを外す時は、無理に引っ張らずロック解除のツマミを押しながら引き抜いて下さい。

※ トラクタ本体側の外した配線は、車輪などに巻き込まれないように固定しておいてください。



- (4) 支柱のスタンド受け口にスタンドを差し込みます。
この時、キャスター部角パイプの長い方が後ろ側になります。
 - (5) ロータリーに当たらない所まで挿入して固定して下さい。
 - (6) スタンドのキャスターが地面につくまでハンドルを回します。
 - (7) ターンバックルを外します。
 - (8) 支柱受けの丸頭ピンを外します。
 - (9) ハンドルを回しながら本体を上げて下さい。
- ※ ターンバックルはスタンドを差込んで必ずキャスターが接地してから外して下さい。

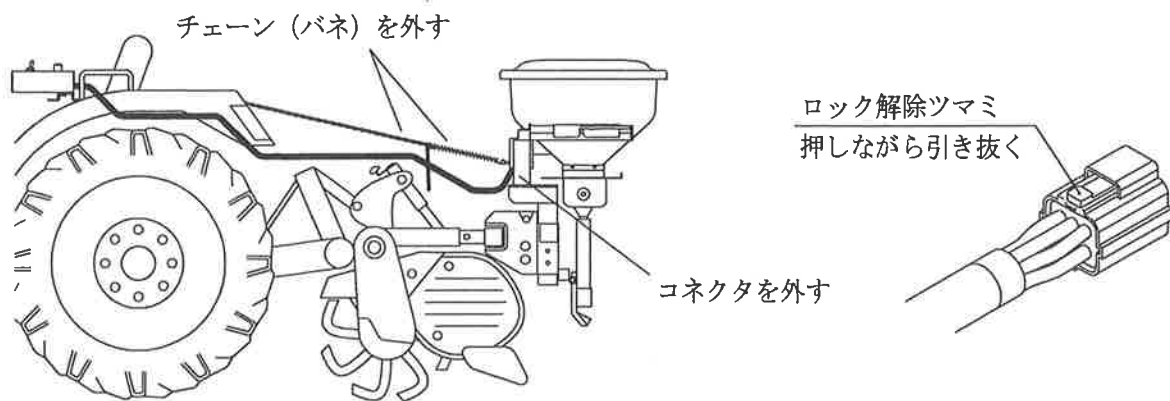
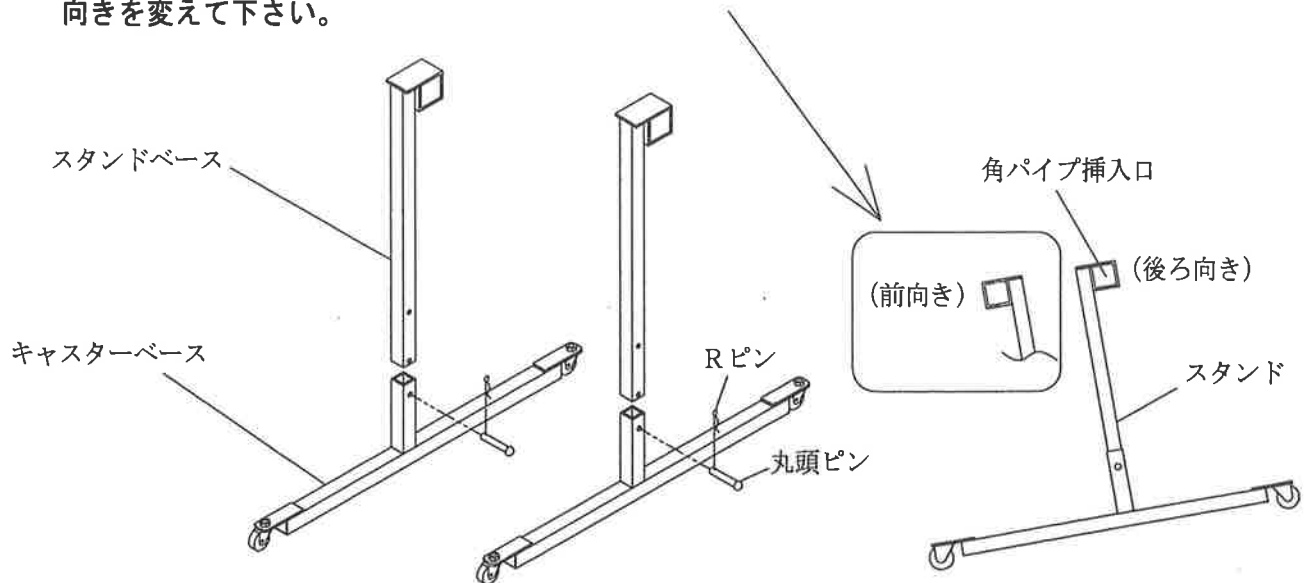


- (10) 支柱下端がロータリー等に当たらない位置まで上げたら後ろ側にずらして下さい。
- (11) 取付ける時には逆の手順で行って下さい。

●Rタイプ

(1) キャスターベースをスタンドベースに入れ、丸頭ピンで固定します。

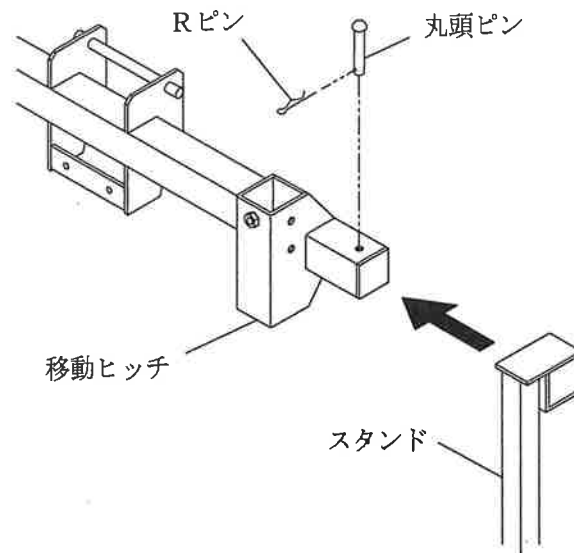
※ スタンドがロータリーのカバーや散布機、拡散バー等に当たる時は、角パイプ挿入口の向きを変えて下さい。



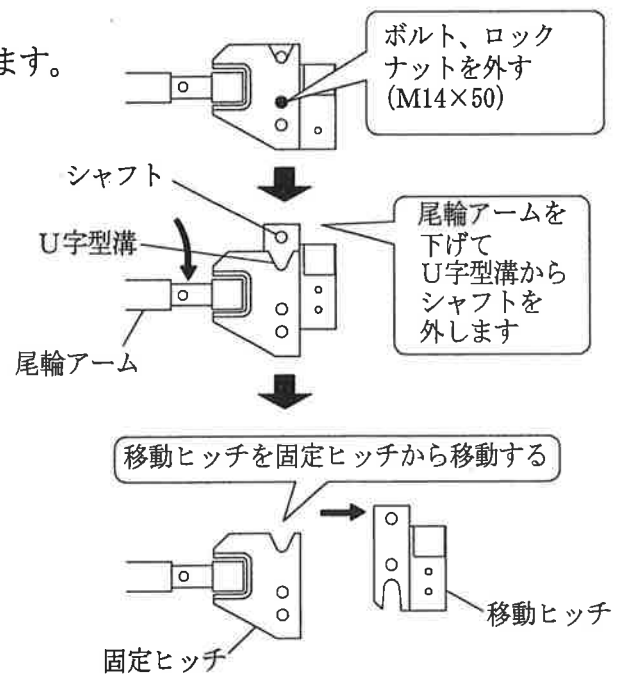
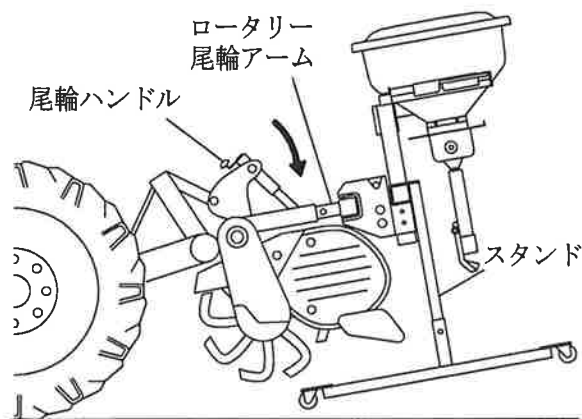
(2) 肥料散布機につながっている配線のコネクタ、チェーン (バネ) を外します。

※ コネクタを外す時は、無理に引っ張らずロック解除のツマミを押しながら引き抜いて下さい。

※ トラクタ本体側の外した配線は、車輪などに巻き込まれないように固定しておいてください。



- (3) 移動ヒッチにスタンドを差込み、丸頭ピンとRピンで抜けをします。
- (4) ボルト、ロックナットを外します。
- (5) 尾輪アームを下げてU字型溝からシャフトを外します。
- (6) 移動ヒッチを固定ヒッチから移動します。

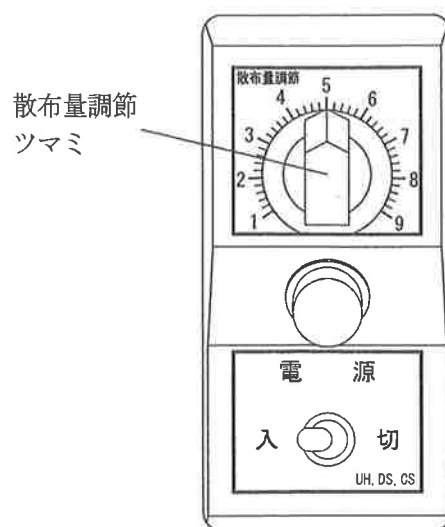


■ 散布要領 (試運転含む)

組み付け、配線が完了しましたら、トラクターのエンジンを始動させて下さい。

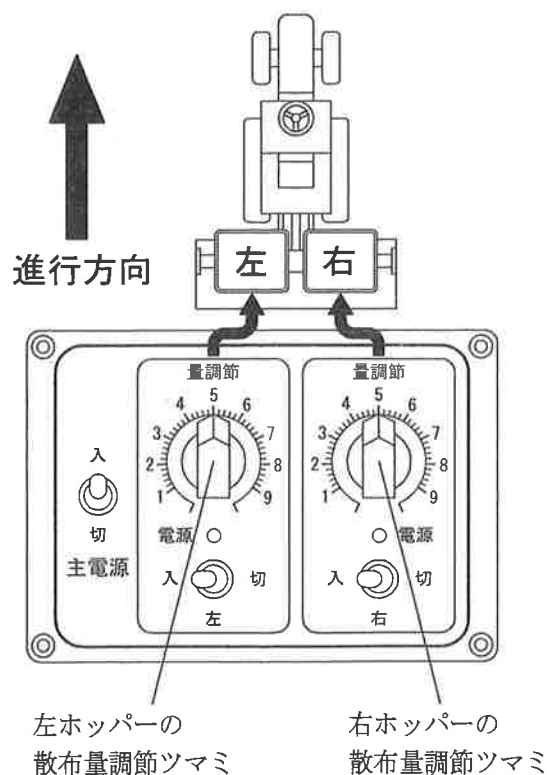
【110MT/Rの場合】

- (1) 肥料の散布量の調節をツマミで調節します。
目盛りはP. 33の『散布量目盛りの決め方』
を参考に決めて下さい。
- (2) 電源スイッチを入にします。(電源ランプ点灯)
- (3) ロータリーを下降させるとモーターが回り、肥料の
散布が行なえます。
ロータリーを上昇させるとモーターが停止し、肥料
散布が停止します。



【140MT/Rの場合】

- (1) 肥料の散布量の調節をツマミで調節します。
目盛りはP. 35の『散布量目盛りの決め方』
を参考に決めて下さい。
※ 表に記載されている10a当りの散布量は
ホッパー片側分の散布量になります。左右のツマミを
同目盛りにした場合、表の数値の2倍になります。
- (2) 各ホッパーごとのスイッチを入にします。
各ホッパーごとのスイッチで、作業状況に
よってのホッパーごとの播き分けが可能です。
- (3) 主電源のスイッチを入にします。(電源ランプ点灯)
ロータリーを下降させるとモーターが回り、肥料の
散布が行なえます。
ロータリーを上昇させるとモーターが停止し、肥料
散布が停止します。



※ 肥料は必ず圃場で投入して下さい。肥料を入れたまま
走行すると、振動等により肥料がしまりヒューズ切れ
などの故障の原因になります。

※ 2モーター駆動の機械の場合、左右のツマミを同じ目盛りにしても、ホッパーごとの散布量に
違いが出ることがあります。その際は、左のツマミを増減させて微調整するようにして下さい。

※ 作業終了後の手元スイッチの切り忘れにご注意ください。

■ 使用後の管理

A. その日の作業が終わった時

- (1) ロールを回転させて、ホッパー内に残った肥料は完全に排出して下さい。（散布目盛10）
- (2) 拡散器に付着した肥料や泥土は、よく取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部及びブラシ、ロール等の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨・夜露等水がかからないように十分注意して下さい。
- (4) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。

B. 全作業が終わった時（配線途中のコネクターを外して下さい。）

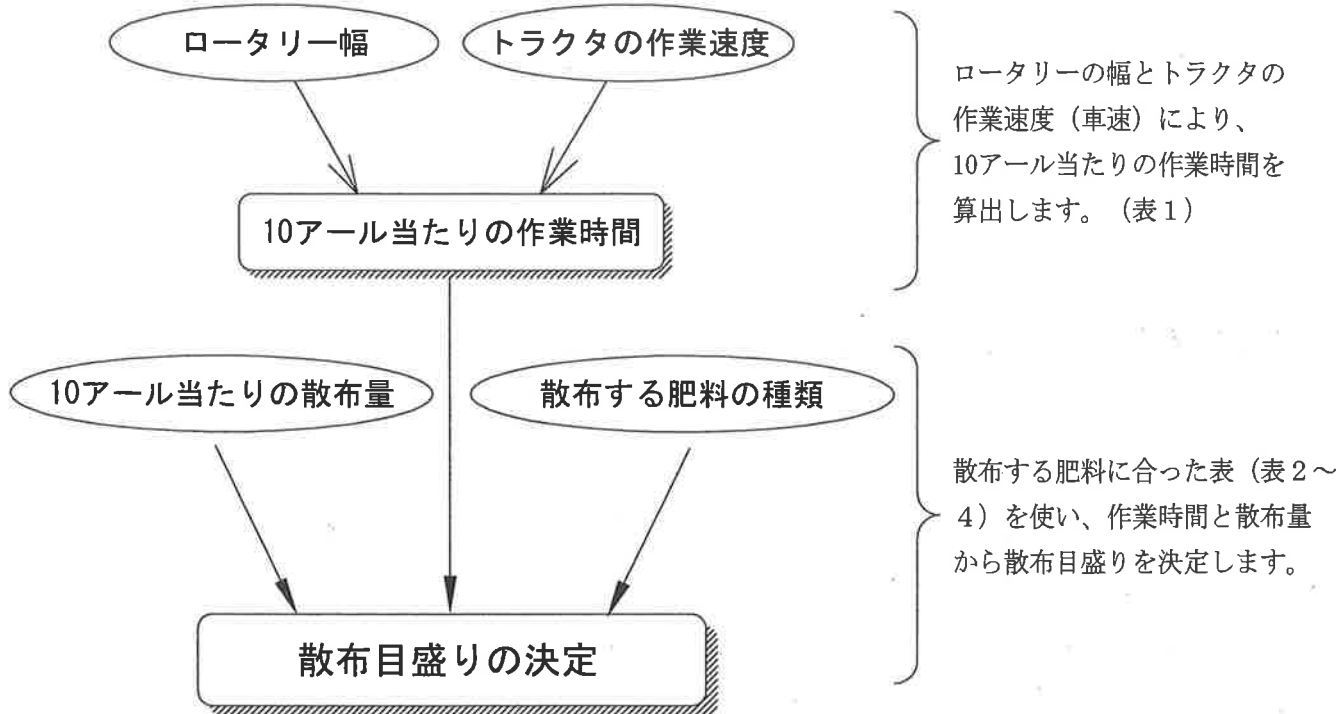
- (1) ホッパーの内外をよく清掃して下さい。（水洗いはしないで下さい。）
水がかかった場合は完全乾燥して下さい。
- (2) ロートを外すとブラシが見えますので、ブラシの間に残った肥料をよく取り除いて下さい。
- (3) フレーム等に付着した肥料をよく落として下さい。
- (4) ロート及びホースを外し、付着した肥料をよく取り除いて下さい。
- (5) ロールを外し、付着した肥料をよく取り除いて下さい。
- (6) コントロールボックスなど電気部品に水がかからないように注意して下さい。
- (7) ホースを丸めるとクセが付きますので、まっすぐにした状態で保管して下さい。
- (8) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。

※ 肥料等の散布剤は、強い酸性を有していますので、掃除は念入りに行い完全に乾燥させて下さい。

■ 散布量目盛の決め方（110MT/R）

※肥料の形状、比重等によって散布量は変わります。

表で求めた目盛りは目安ですので、必ず実際の散布（10アール位）後に目盛りを決めて下さい。



■ 表1 10アール当たりの作業時間

（例）ロータリー幅が1600 [mm]で車速が2.3 [Km]の場合、10アール当たりの作業時間は17 [分]となります。

車速 [Km] ロータリー幅 [mm]	1.0	1.2	1.5	1.7	2.1	2.3	2.5	2.8	3.0	3.6	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
800	86	71	57	50	41	37	34	31	29	24	21	19	17	16	14
1000	67	56	44	39	32	29	27	24	22	19	17	15	13	12	11
1200	55	45	36	32	26	24	22	19	18	15	14	12	11	10	9
1300	50	42	33	29	24	22	20	18	17	14	12	11	10	9	8
1400	46	38	31	27	22	20	18	16	15	13	12	10	9	8	8
1500	43	36	29	25	20	19	17	15	14	12	11	10	9	8	7
1600	40	33	27	24	19	17	16	14	13	11	10	9	8	7	7
1700	37	31	25	22	18	16	15	13	13	10	9	8	8	7	6
1800	35	29	24	21	17	15	14	12	12	10	9	8	7	6	6
2000	32	26	21	19	15	14	13	11	11	9	8	7	6	6	5
2200	29	24	19	17	14	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5
2400	26	22	17	15	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5	4

※ ターン等の時間は含んでおりません。

作業時間はロータリーの重ねしろ（両端で10センチ）を考慮して算出しています。

■ 表2 粒状化成（中粒）の散布目盛り

参考肥料：陸稲、水稻専用
肥料12-16-14

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、散布する肥料の量が 60 [Kg] の場合、目盛りは 7.3 となります。

10a当りの散布量		20kg	30kg	40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	4分	9.2									
	6分	6.2	8.8								
	8分	4.9	7.8								
	10分	3.7	6.0	8.4							
	12分	2.9	4.9	6.8							
	14分	2.4	4.0	5.7	9.0						
	17分	1.8	3.2	4.5	7.3	10.0					
	21分	1.3	2.4	3.5	5.7	7.9					
	25分		1.9	2.8	4.7	6.5	8.4				
	30分		1.4	2.2	3.7	5.3	6.8	8.4			
	36分		1.0	1.7	2.9	4.2	5.5	6.8	8.8		
	43分			1.2	2.3	3.4	4.5	5.6	7.2	9.9	
	52分				1.8	2.6	3.5	4.4	5.8	8.0	
	62分				1.3	2.1	2.8	3.6	4.7	6.6	8.4
	75分					1.6	2.2	2.8	3.7	5.3	6.8
	90分					1.1	1.7	2.2	2.9	4.2	5.5

■ 表3 ケイカル（砂状）の散布目盛り

参考肥料：鹿島ケイカル1号

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、散布する肥料の量が 100 [Kg] の場合、目盛りは 7.1 となります。

10a当りの散布量		40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg	300kg	400kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.9									
	8分	6.0	9.1								
	10分	4.8	7.3	9.8							
	12分	3.9	6.0	8.1							
	14分	3.3	5.1	6.9	8.7						
	17分	2.7	4.2	5.6	7.1	8.6					
	21分	2.1	3.3	4.5	5.7	6.9	8.7				
	25分	1.8	2.8	3.8	4.8	5.8	7.3	9.8			
	30分	1.4	2.3	3.1	3.9	4.8	6.0	8.1			
	36分	1.1	1.8	2.5	3.2	3.9	5.0	6.7	8.4		
	43分		1.5	2.1	2.7	3.2	4.1	5.6	7.0	8.5	
	52分		1.2	1.7	2.2	2.6	3.4	4.6	5.8	7.0	9.4
	62分			1.4	1.8	2.2	2.8	3.8	4.8	5.8	7.8
	75分			1.1	1.4	1.8	2.3	3.1	3.9	4.8	6.4
	90分				1.1	1.4	1.8	2.5	3.2	3.9	5.3

■ 表4 ヨウリン（砂状）の散布目盛り

参考肥料：中国ヨウリン

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、散布する肥料の量が 100 [Kg] の場合、目盛りは 6.9 となります。

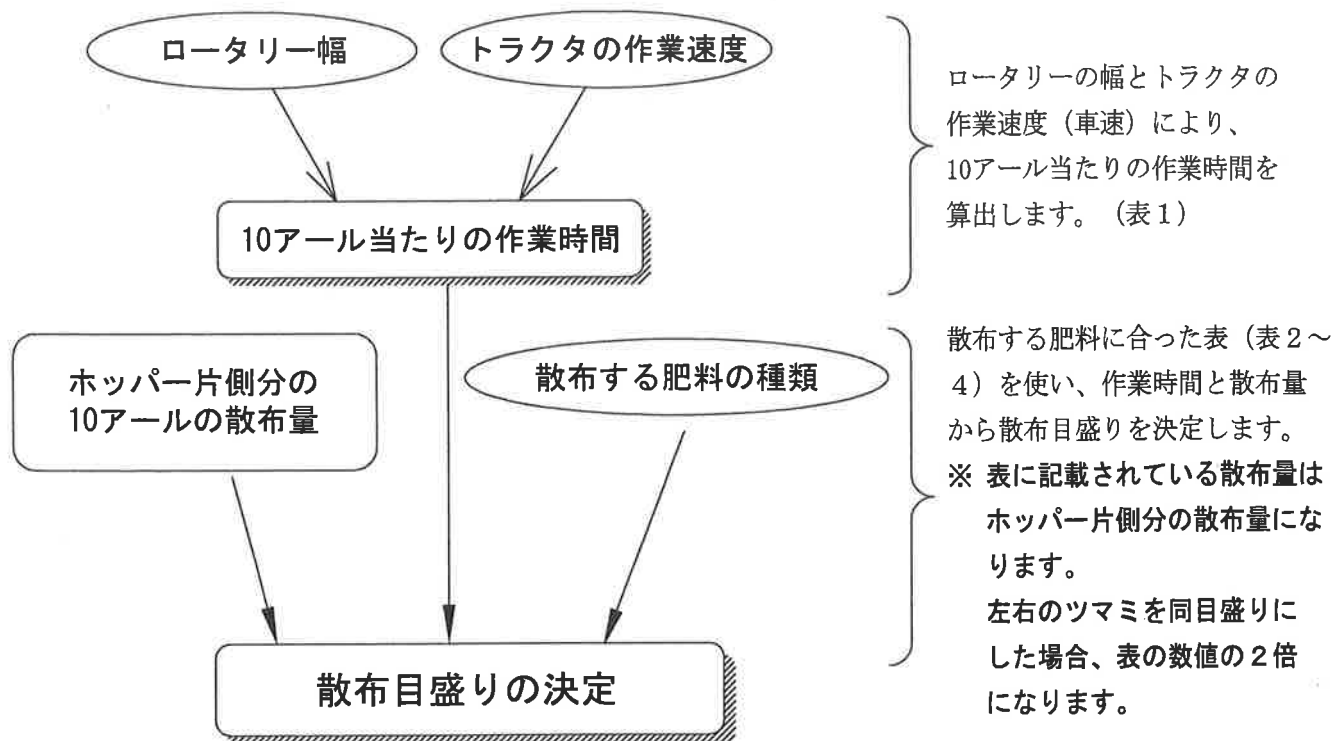
10a当りの散布量		40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	150kg	200kg	250kg	300kg	400kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.6									
	8分	5.8	8.9								
	10分	4.5	7.0	9.5							
	12分	3.7	5.8	7.8	9.9						
	14分	3.1	4.9	6.6	8.4						
	17分	2.4	3.9	5.4	6.9	8.3					
	21分	1.9	3.1	4.3	5.5	6.6	8.4				
	25分	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	7.0	9.5			
	30分	1.2	2.0	2.8	3.7	4.5	5.8	7.8	9.9		
	36分		1.6	2.3	3.0	3.7	4.7	6.4	8.2	9.9	
	43分		1.2	1.8	2.4	3.0	3.9	5.3	6.8	8.2	
	52分			1.4	1.9	2.4	3.1	4.3	5.5	6.7	9.1
	62分			1.1	1.5	1.9	2.5	3.5	4.5	5.5	7.6
	75分				1.2	1.5	2.0	2.8	3.7	4.5	6.2
	90分					1.2	1.6	2.3	3.0	3.7	5.1

■ 散布量目盛の決め方（140MT/R）

※ 肥料の形状、比重等によって散布量は変わります。

散布目盛りの表に記載されている10アール当りの散布量は、ホッパー片側分の散布量になります。
左右のツマミを同目盛りにした場合、表の数値の2倍になります。

又、表で求めた目盛りは目安ですので、必ず実際の散布（10アール位）後に目盛りを決めて下さい。



■ 表1 10アール当たりの作業時間

（例）ロータリー幅が1600[mm]で車速が2.3[Km]の場合、10アール当たりの作業時間は17[分]となります。

車速 [Km] ロータリー幅 [mm]	1.0	1.2	1.5	1.7	2.1	2.3	2.5	2.8	3.0	3.6	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
800	86	71	57	50	41	37	34	31	29	24	21	19	17	16	14
1000	67	56	44	39	32	29	27	24	22	19	17	15	13	12	11
1200	55	45	36	32	26	24	22	19	18	15	14	12	11	10	9
1300	50	42	33	29	24	22	20	18	17	14	12	11	10	9	8
1400	46	38	31	27	22	20	18	16	15	13	12	10	9	8	8
1500	43	36	29	25	20	19	17	15	14	12	11	10	9	8	7
1600	40	33	27	24	19	17	16	14	13	11	10	9	8	7	7
1700	37	31	25	22	18	16	15	13	13	10	9	8	8	7	6
1800	35	29	24	21	17	15	14	12	12	10	9	8	7	6	6
2000	32	26	21	19	15	14	13	11	11	9	8	7	6	6	5
2200	29	24	19	17	14	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5
2400	26	22	17	15	12	11	10	9	8	7	6	6	5	5	4

※ ターン等の時間は含んでおりません。

作業時間はロータリーの重ねしろ（両端で10センチ）を考慮して算出しています。

■ 表2 粒状化成（中粒）の散布目盛り

参考肥料：陸稲、水稻専用
肥料12-16-14

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、片側のホッパーから散布する肥料の量が 30 [Kg] の場合、
目盛りは 7.3 となります。左右の目盛りを両方 7.3 にした場合、10アール当たりの散布量は 60 [kg] となります。

ホッパー片側分の 10aの散布量	10kg	15kg	20kg	30kg	40kg	50kg	60kg	75kg	100kg	125kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	4分	9.2								
	6分	6.2	8.8							
	8分	4.9	7.8							
	10分	3.7	6.0	8.4						
	12分	2.9	4.9	6.8						
	14分	2.4	4.0	5.7	9.0					
	17分	1.8	3.2	4.5	7.3	10.0				
	21分	1.3	2.4	3.5	5.7	7.9				
	25分		1.9	2.8	4.7	6.5	8.4			
	30分		1.4	2.2	3.7	5.3	6.8	8.4		
	36分		1.0	1.7	2.9	4.2	5.5	6.8	8.8	
	43分			1.2	2.3	3.4	4.5	5.6	7.2	9.9
	52分				1.8	2.6	3.5	4.4	5.8	8.0
	62分				1.3	2.1	2.8	3.6	4.7	6.6
	75分					1.6	2.2	2.8	3.7	5.3
	90分					1.1	1.7	2.2	2.9	4.2

■ 表3 ケイカル（砂状）の散布目盛り

参考肥料：鹿島ケイカル1号

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、片側のホッパーから散布する肥料の量が 50 [Kg] の場合、
目盛りは 7.1 となります。左右の目盛りを両方 7.1 にした場合、10アール当たりの散布量は 100 [kg] となります。

ホッパー片側分の 10aの散布量	20kg	30kg	40kg	50kg	60kg	75kg	100kg	125kg	150kg	200kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.9								
	8分	6.0	9.1							
	10分	4.8	7.3	9.8						
	12分	3.9	6.0	8.1						
	14分	3.3	5.1	6.9	8.7					
	17分	2.7	4.2	5.6	7.1	8.6				
	21分	2.1	3.3	4.5	5.7	6.9	8.7			
	25分	1.8	2.8	3.8	4.8	5.8	7.3	9.8		
	30分	1.4	2.3	3.1	3.9	4.8	6.0	8.1		
	36分	1.1	1.8	2.5	3.2	3.9	5.0	6.7	8.4	
	43分		1.5	2.1	2.7	3.2	4.1	5.6	7.0	8.5
	52分		1.2	1.7	2.2	2.6	3.4	4.6	5.8	7.0
	62分			1.4	1.8	2.2	2.8	3.8	4.8	5.8
	75分			1.1	1.4	1.8	2.3	3.1	3.9	4.8
	90分				1.1	1.4	1.8	2.5	3.2	3.9

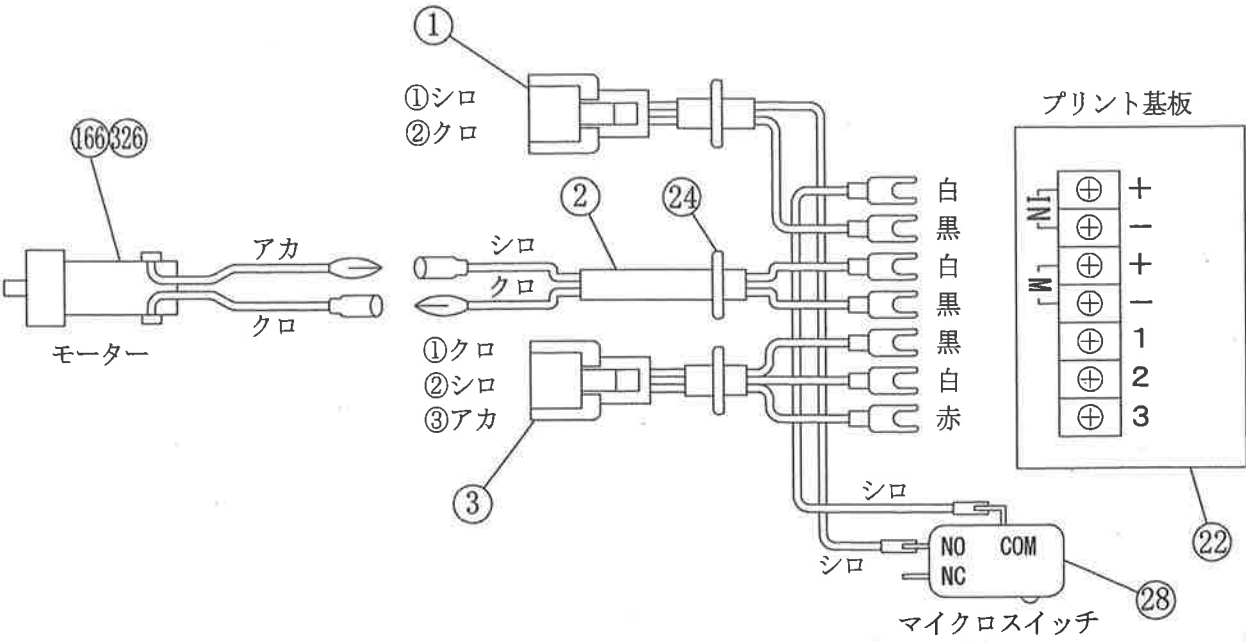
■ 表4 ヨウリン（砂状）の散布目盛り

参考肥料：中国ヨウリン

(例) 10アール当たりの作業時間が 17 [分] で、片側のホッパーから散布する肥料の量が 50 [Kg] の場合、
目盛りは 6.9 となります。左右の目盛りを両方 6.9 にした場合、10アール当たりの散布量は 100 [kg] となります。

ホッパー片側分の 10aの散布量	20kg	30kg	40kg	50kg	60kg	75kg	100kg	125kg	150kg	200kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	6分	7.6								
	8分	5.8	8.9							
	10分	4.5	7.0	9.5						
	12分	3.7	5.8	7.8	9.9					
	14分	3.1	4.9	6.6	8.4					
	17分	2.4	3.9	5.4	6.9	8.3				
	21分	1.9	3.1	4.3	5.5	6.6	8.4			
	25分	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	7.0	9.5		
	30分	1.2	2.0	2.8	3.7	4.5	5.8	7.8	9.9	
	36分		1.6	2.3	3.0	3.7	4.7	6.4	8.2	9.9
	43分		1.2	1.8	2.4	3.0	3.9	5.3	6.8	8.2
	52分			1.4	1.9	2.4	3.1	4.3	5.5	6.7
	62分			1.1	1.5	1.9	2.5	3.5	4.5	5.5
	75分				1.2	1.5	2.0	2.8	3.7	4.5
	90分					1.2	1.6	2.3	3.0	3.7

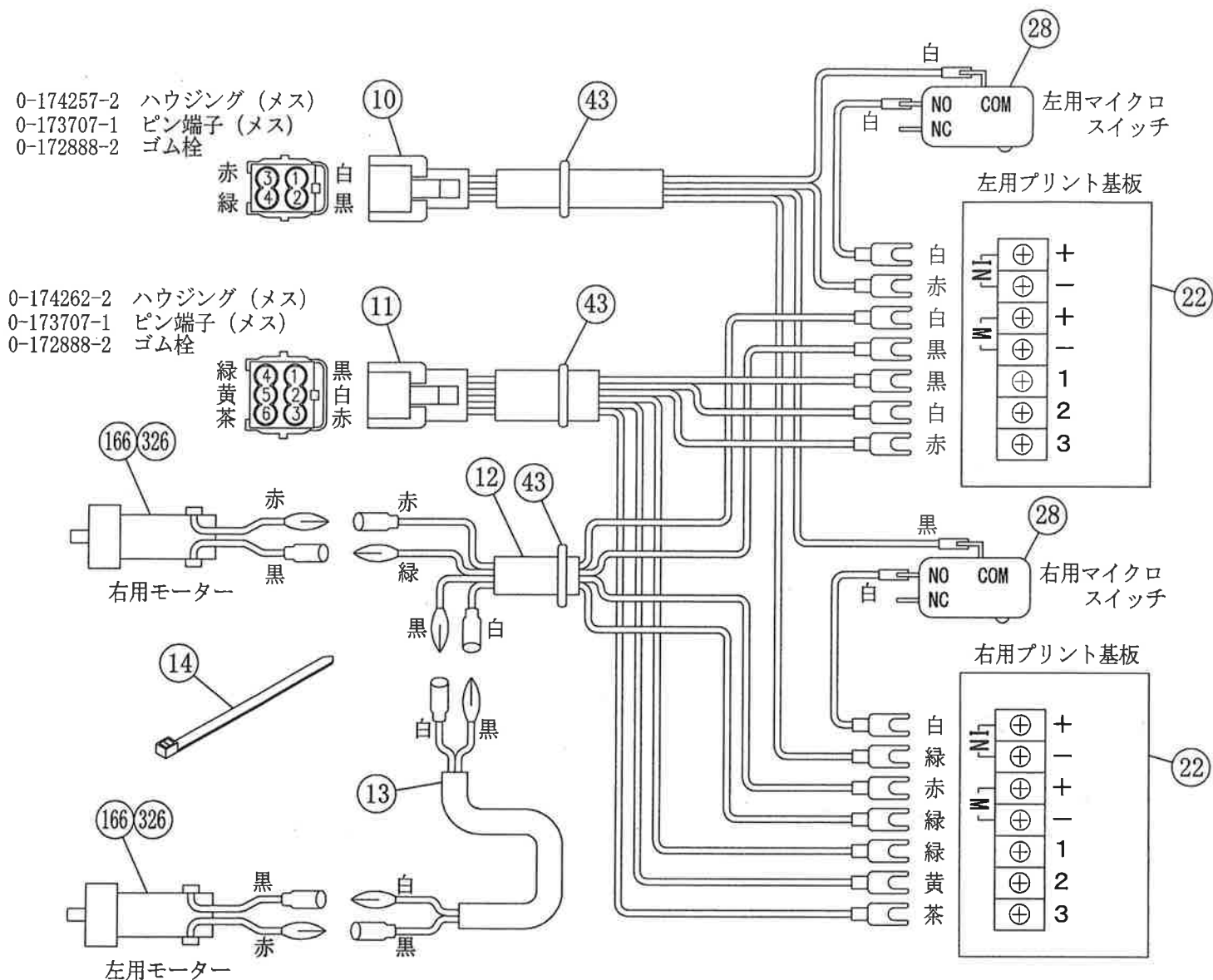
■ コントロールボックス内部配線（110MT/R）



■ 部品表 コントロールボックス内部配線

NO.	部 品 名	110MT	110R	140MT	140R
1	電源線R（コネクタ付き）	1	1		
2	モーター線（L=650）	1	1		
3	ボリューム線（コネクタ付き）	1	1		

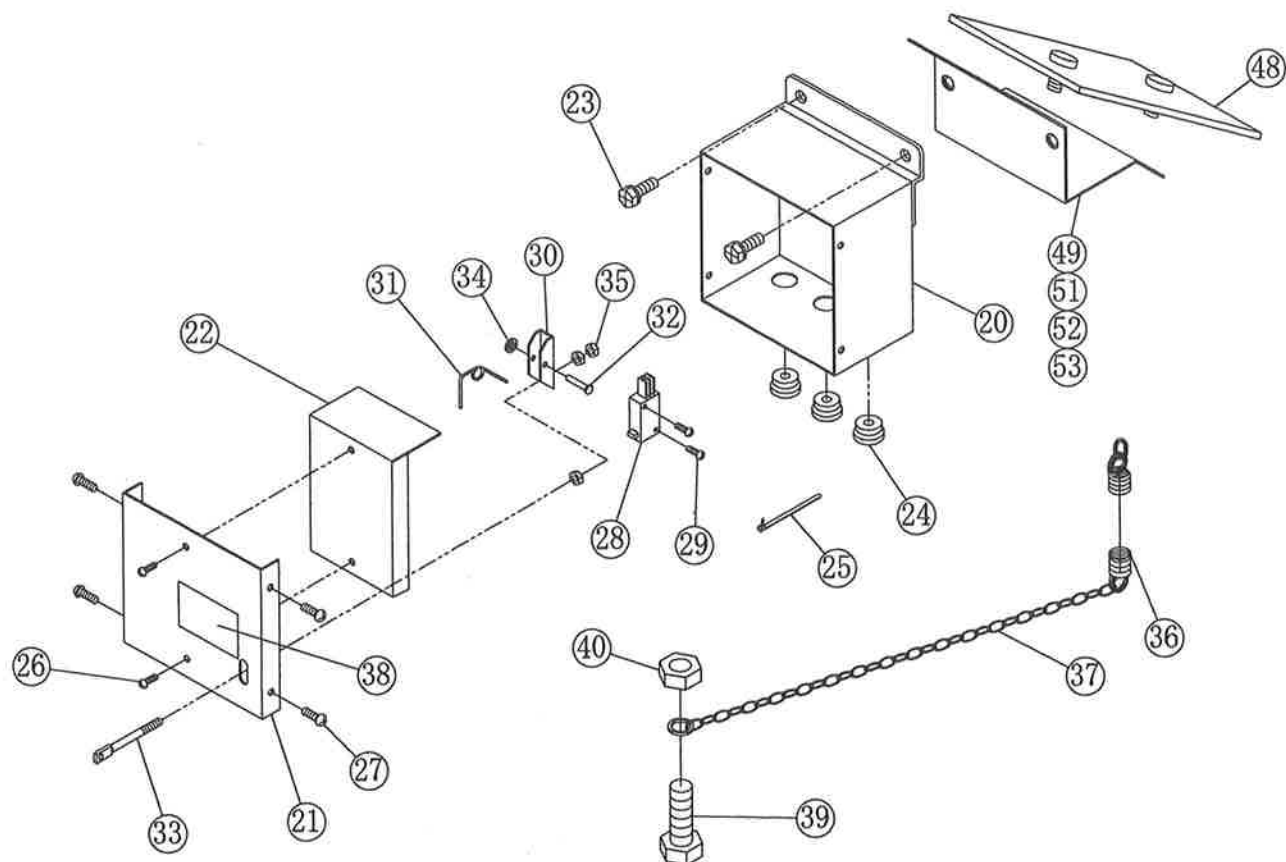
■ コントロールボックス内部配線 (140MT/R)



■ 部品表 コントロールボックス内部配線

NO	部 品 名	110MT	110R	140MT	140R
10	電源線140R, MT (コネクタ付き)			1	1
11	ボリューム線140F, R, MT (コネクタ付き)			1	1
12	モーター線 (L900)			1	1
13	モーター線 (L2100) UH140用			1	1
14	結束バンド (AB-250)	1	1	5	5

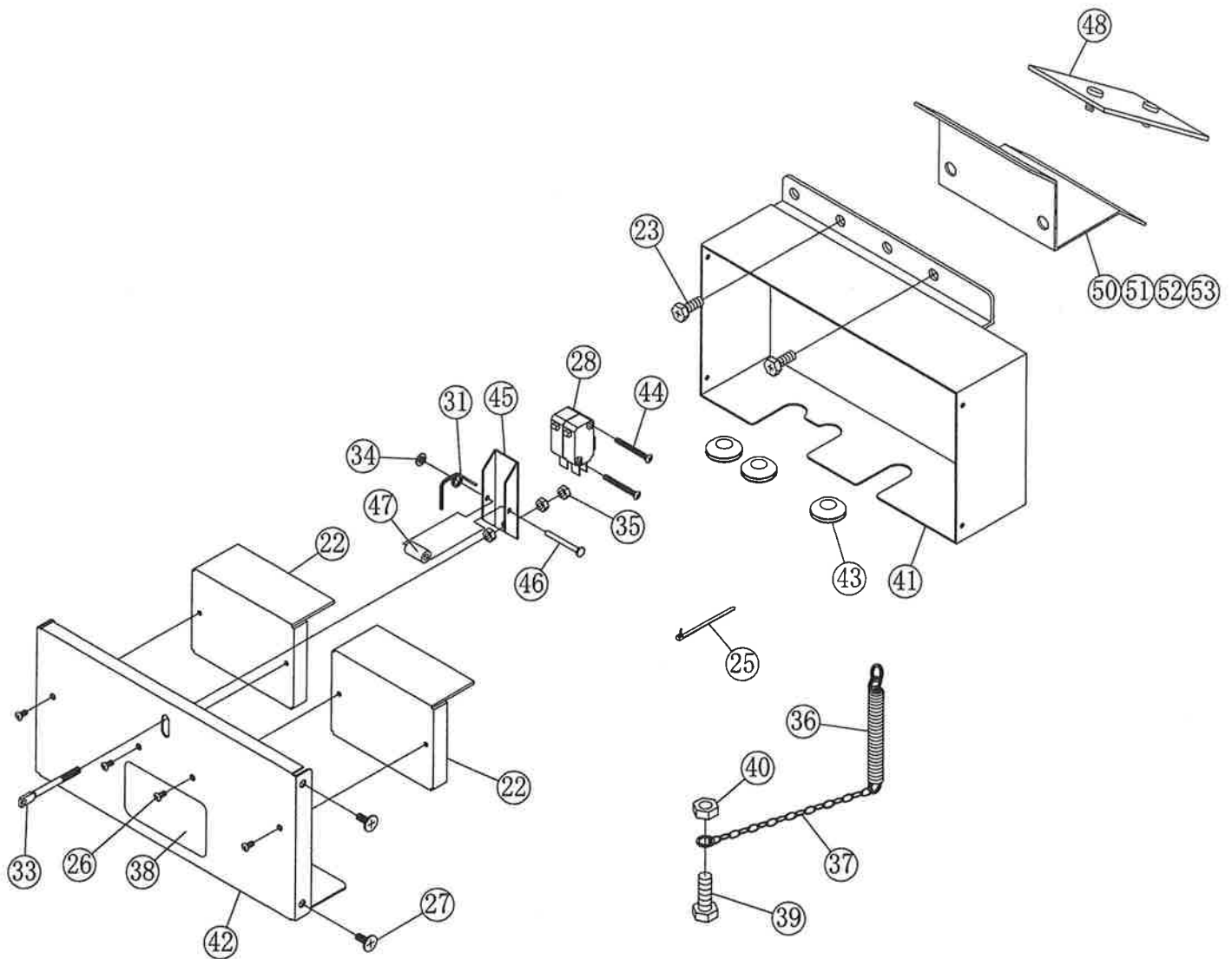
■ コントロールボックス部 (110MT/R)



■ 部品表 コントロールボックス部

NO.	部 品 名	110MT	110R	140MT	140R
20	コントロールボックス	1	1		
21	コントロールパネル R	1	1		
22	基板ユニット	1	1	2	2
23	バネ座付十字ボルト M6×15	2	2	2	2
24	グロメット B8-1	3	3		
25	S Kバインダー AB-100	3	3	3	3
26	バネ座付十字ナベネジ M3×6 SUS	2	2	4	4
27	十字タッピングネジ M4×10 トラス 1種	4	4	4	4
28	マイクロスイッチ AM5164DC7	1	1	2	2
29	バネ座付十字ナベネジ M3×15	2	2		
30	スイッチバー	1	1		
31	スプリング	1	1	1	1
32	薄平リベット φ3×20	1	1		
33	スイッチ棒	1	1	1	1
34	CS型止輪 φ3用 SUS	1	1	1	1
35	ナット M4 SUS	3	3	3	3
36	コイルスプリング SUS (リング付)	1	1	1	1
37	クサリ (リング付き) L1300	1	1	1	1
38	製造シール (TE-37-278)	1	1	1	1
39	六角ボルト M10×25 P1.25	1	1	1	1
40	六角ナット M10 P1.25	1	1	1	1

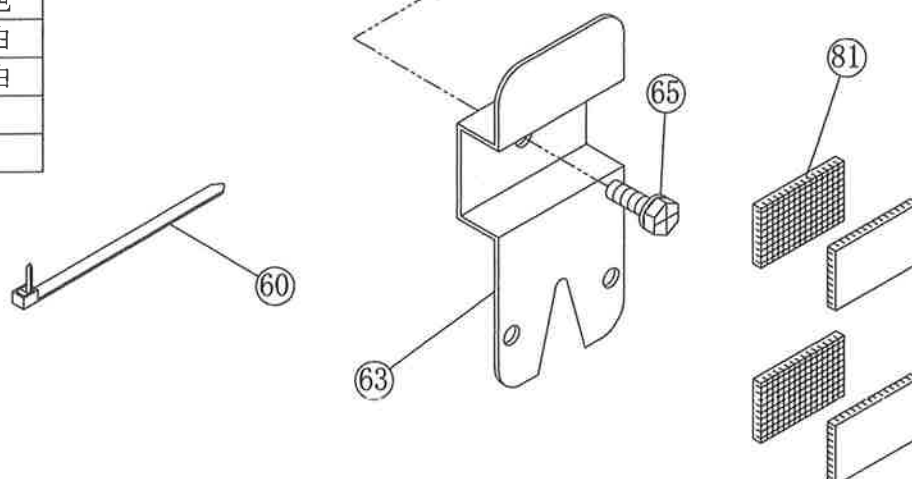
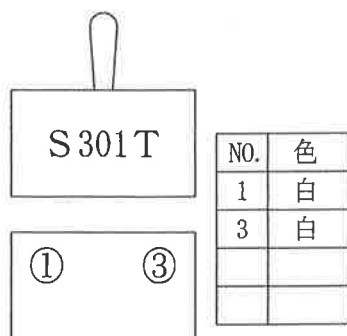
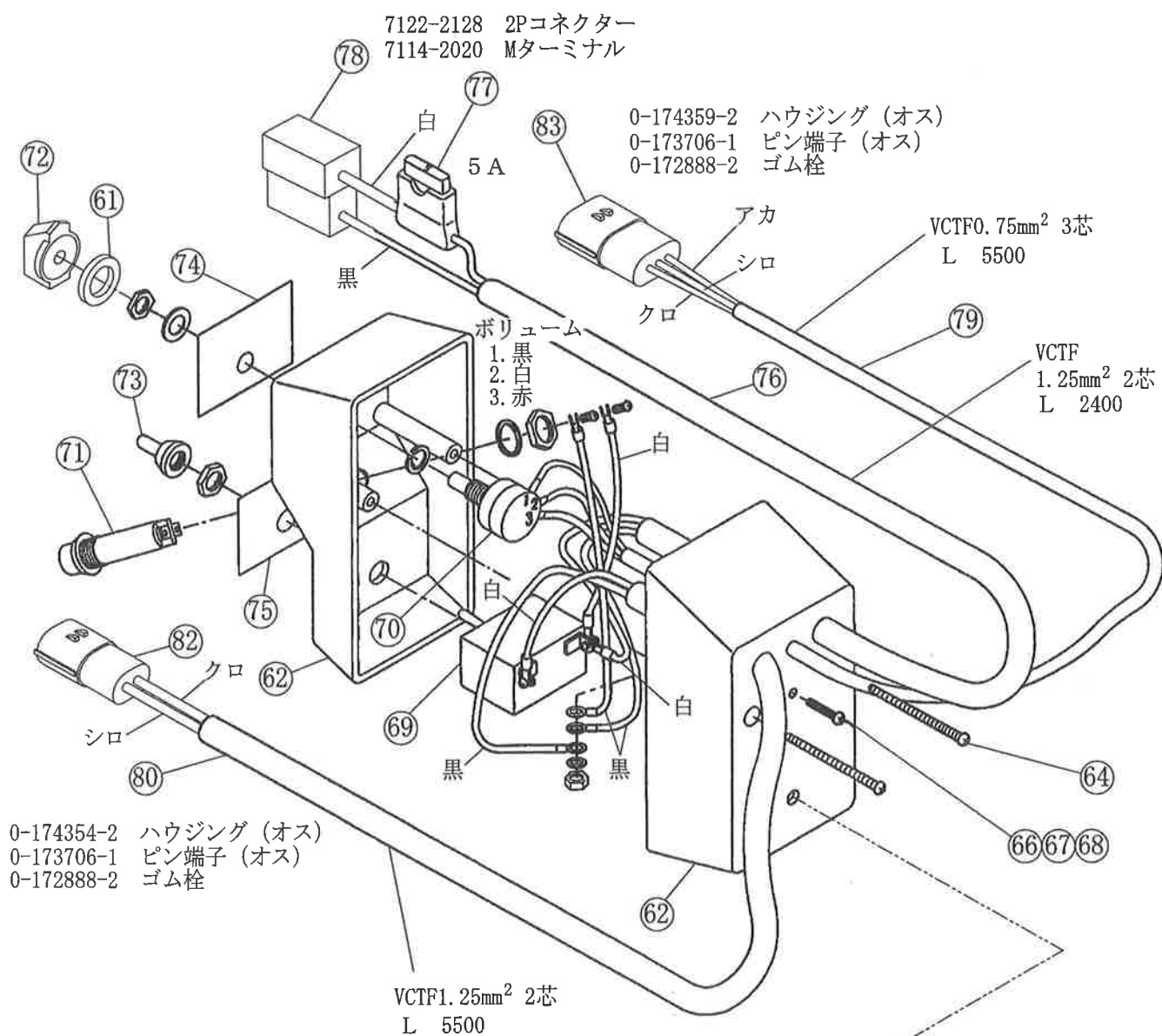
■ コントロールボックス部 (140MT/R)



■ 部品表 コントロールボックス部

NO.	部 品 名	110MT	110R	140MT	140R
41	コントロールボックス (140)			1	1
42	コントロールパネルR、MT (140)			1	1
43	グロメット B10-2			3	3
44	バネ座付十字ナベネジ M3×25			2	2
45	マイクロスイッチレバー			1	1
46	薄平リベット φ3×28			1	1
47	レバーカバー			1	1
48	当て板		1		1
49	コントロールボックス受け 50		1		
50	コントロールボックス受け 140				1
51	ナット M8 SUS		2		2
52	平座 M8 SUS		2		2
53	バネ座 M8 SUS		2		2

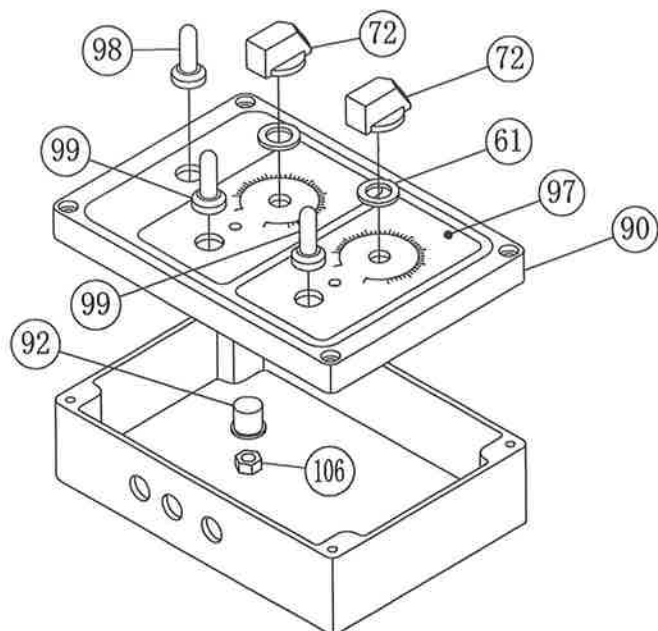
■ スイッチボックス部 (110MT/R)



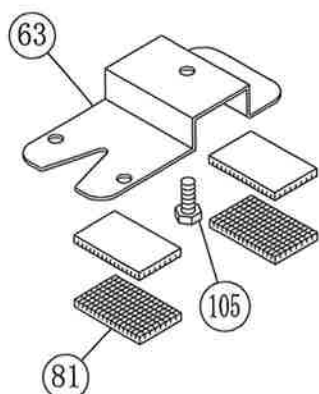
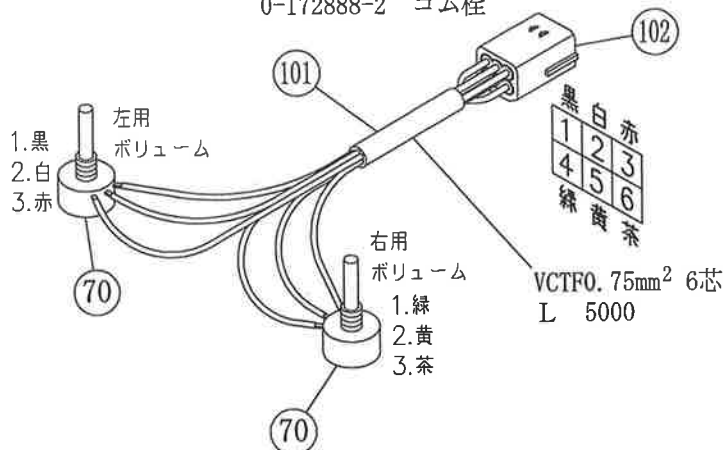
■ 部品表 スイッチボックス部 (110MT/R)

NO.	部 品 名	110MT	110R	140MT	140R
60	リリースタイ RELK-2R	10	10	10	10
61	ツマミ座	1	1	2	2
62	スイッチボックス	一組	一組		
63	取り付け座	1	1	1	1
64	タッピングビス M4×30	2	2		
65	バネ座付ボルト M6×10	1	1		
66	ナベネジ M4×15	1	1		
67	平座 M4	1	1		
68	ナット M4	1	1		
69	トグルスイッチスイッチ WD1021F	1	1	2	2
70	ボリューム	1	1	2	2
71	ランプ	1	1		
72	ツマミ TK-30Y	1	1	2	2
73	防水キャップ AT402A	1	1		
74	ダイヤル目盛シール	1	1		
75	電源入切シール	1	1		
76	電源ケーブルヒューズ付き F・R	1	1		
77	ヒューズ 5A	2 (予備1個)	2 (予備1個)	4 (予備2個)	4 (予備2個)
78	2Pコネクター	1	1	1	1
79	ボリュームケーブル F・R	1	1		
80	出力ケーブル F・R	1	1		
81	マジックテープ	4	4	4	4
82	2Pコネクター (オス) ピン・ゴム栓付	1	1		
83	3Pコネクター (オス) ピン・ゴム栓付	1	1		

■ スイッチボックス部 (140MT/R)

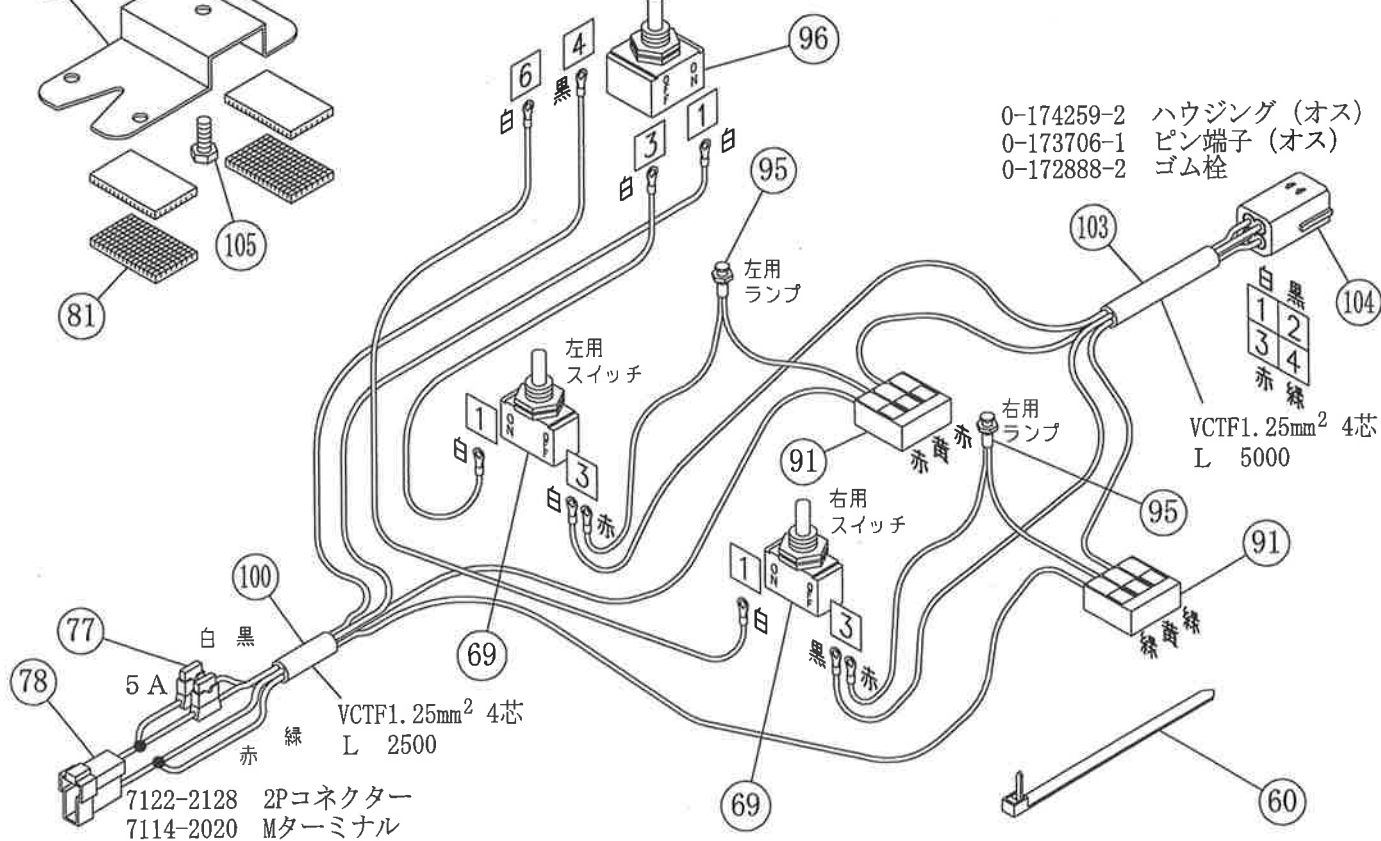


- 0-174264-2 ハウジング (オス)
- 0-173706-1 ピン端子 (オス)
- 0-172888-2 ゴム栓



主電源
スイッチ

- 0-174259-2 ハウジング (オス)
- 0-173706-1 ピン端子 (オス)
- 0-172888-2 ゴム栓



■ 部品表 スイッチボックス部 (140MT/R)

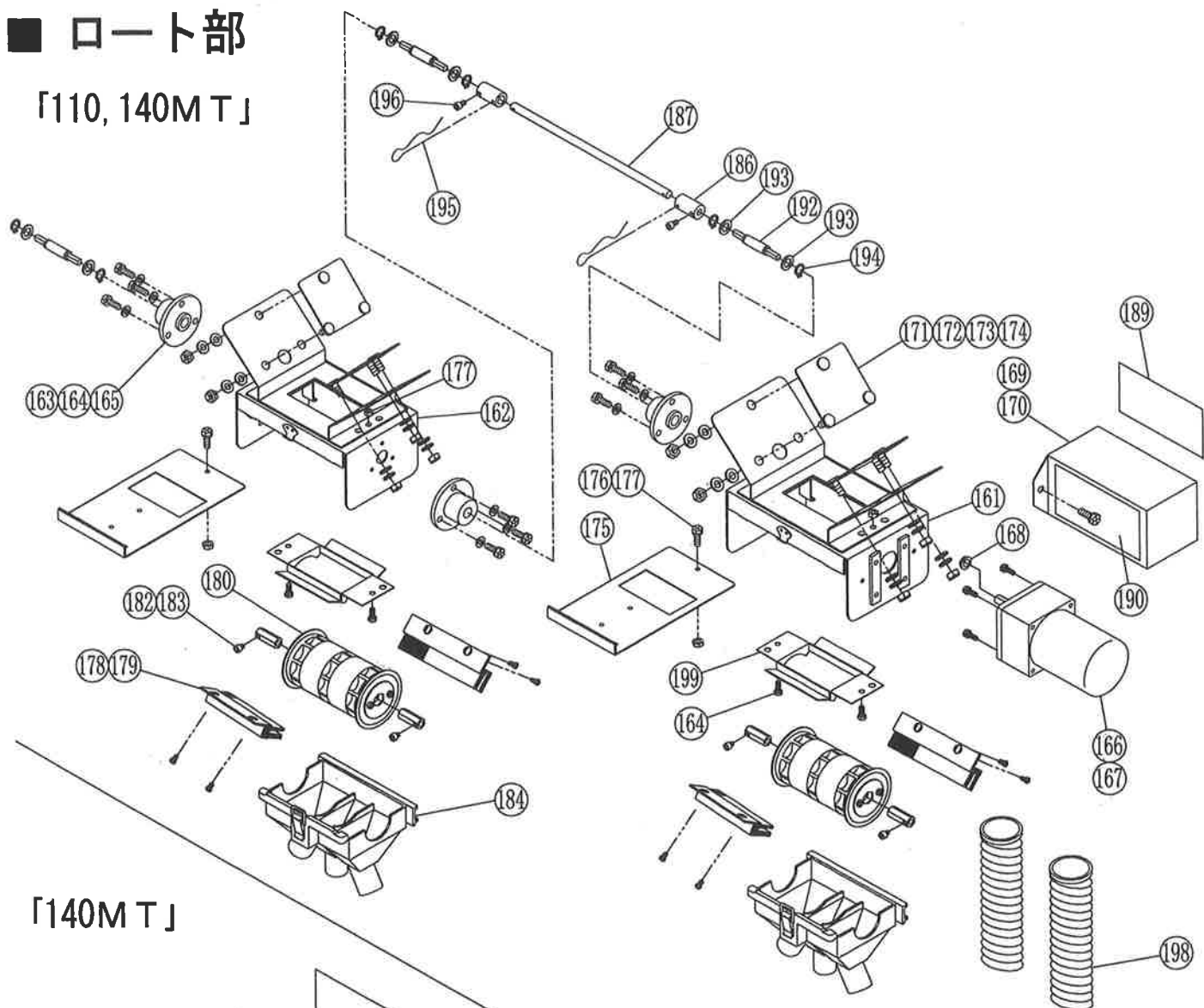
NO.	部 品 名	110MT	110R	140MT	140R
90	スイッチボックス (140)			一組	一組
91	ワンタッチコネクター WFR-3			2	2
92	ナットキャップ M6用			1	1
93	-			-	-
94	-			-	-
95	ランプ (DOH-5FH-R)			2	2
96	トグルスイッチ WD1221F			1	1
97	スイッチボックスシール			1	1
98	防水キャップ (WD1811R)			1	1
99	防水キャップ (WD1811Z)			2	2
100	電源ケーブル			1	1
101	ボリュームケーブル			1	1
102	6 P コネクター (オス) ピン・ゴム栓付			1	1
103	電源出力ケーブル			1	1
104	4 P コネクター (オス) ピン・ゴム栓付			1	1
105	バネ座付十字ボルト M6×12			1	1
106	六角ナット M6			1	1

</

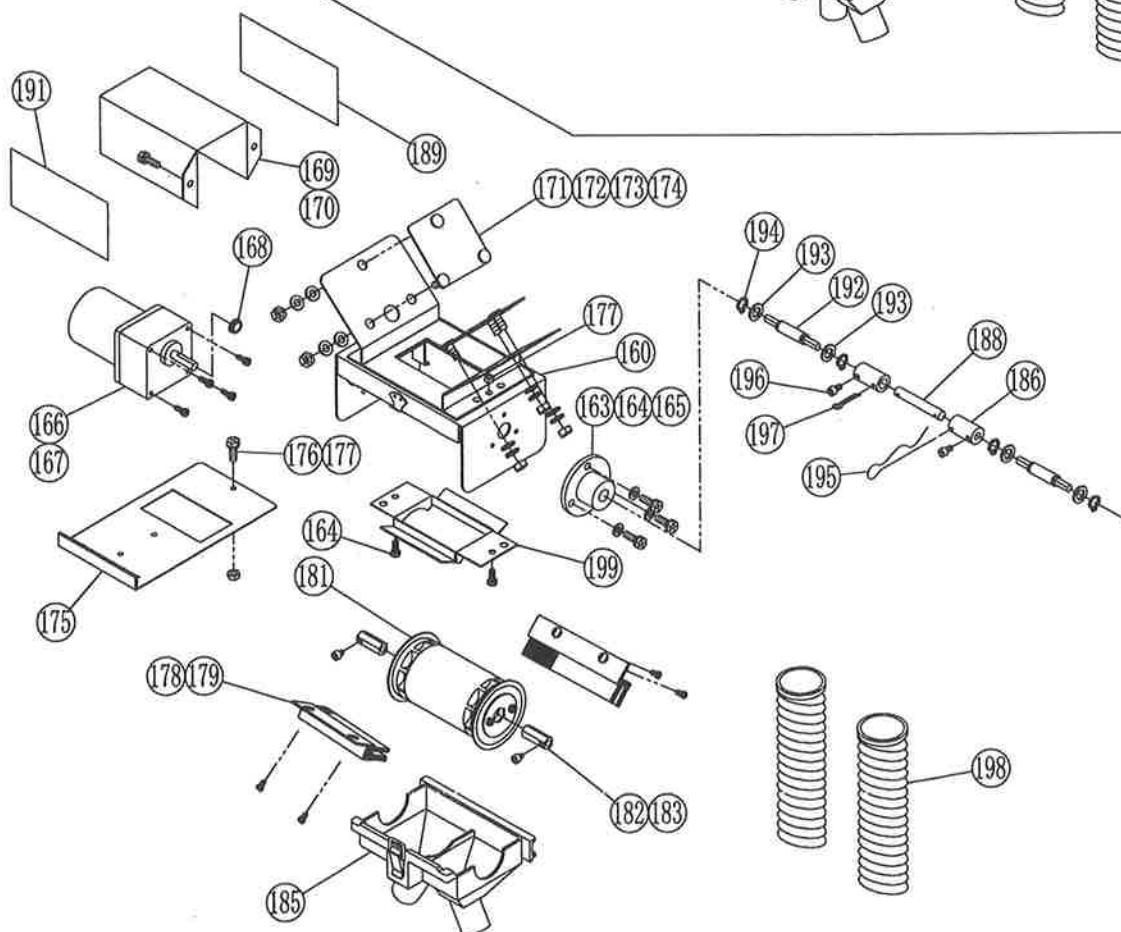
</

■ ロート部

「110, 140MT」



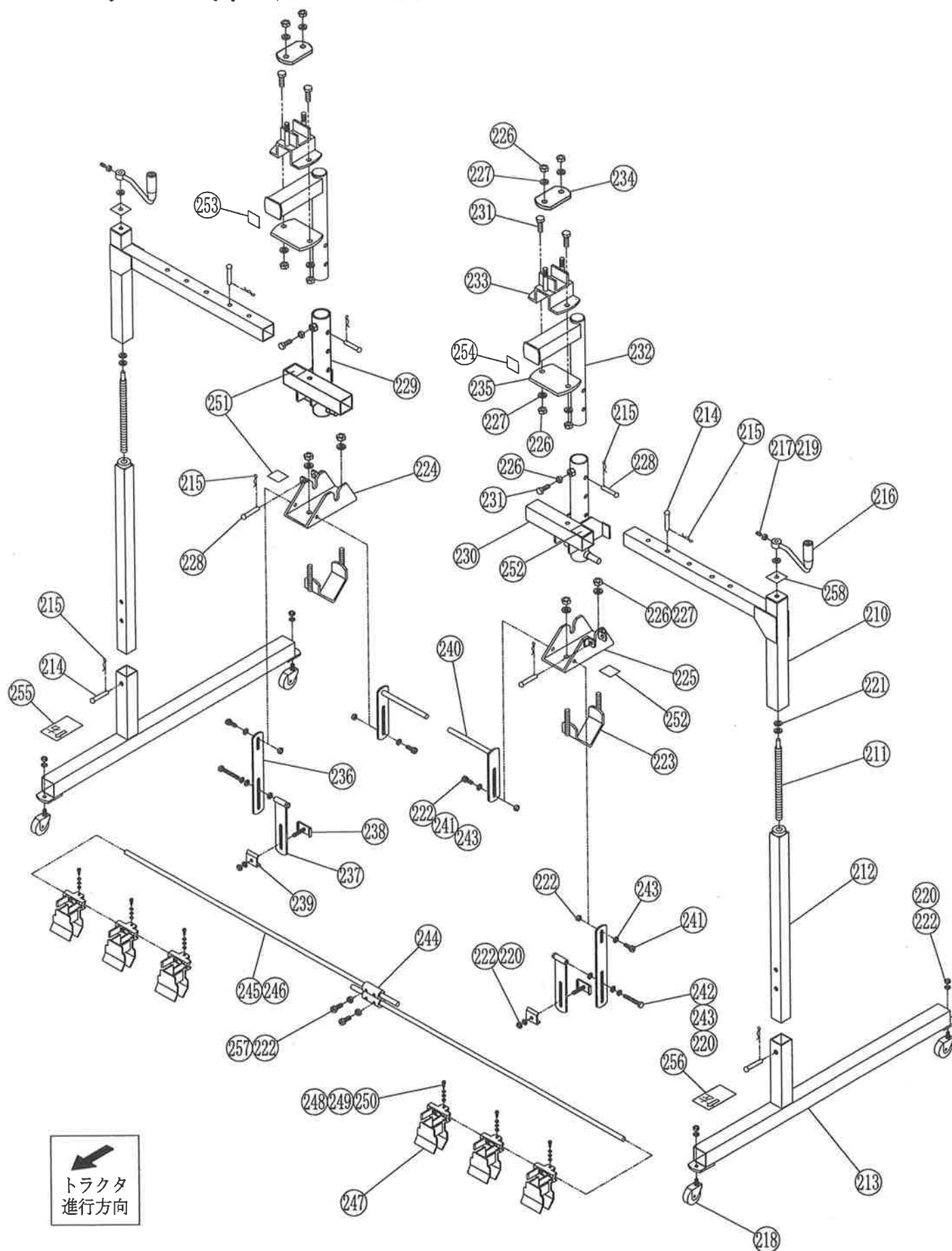
「140MT」



■ 部品表 ロート部（110MT, 140MT）

NO.	部 品 名	110MT	140MT
160	ロール受けA（パチン錠ツメ付）		1
161	ロール受けB（パチン錠ツメ付）	1	1
162	ロール受けC（パチン錠ツメ付）	1	2
163	ロール軸受け	3	6
164	バネ座付十字ボルト M6×15 SUS	13	26
165	平座 M6用 SUS	9	18
166	ギヤードモーター 20W	1	2
167	バネ座付平座付十字ボルト M4×15 SUS	4	8
168	Vリング	1	2
169	モーターカバー	1	2
170	バネ座付十字ボルト M6×10	2	4
171	ロール受け固定座	4	8
172	平座 M8用 SUS	12	24
173	バネ座 M8用 SUS	12	24
174	ナット M8用 SUS	12	24
175	シャッター	2	4
176	バネ座付十字ボルト M6×10 SUS	2	4
177	ナット M6用 SUS	6	12
178	ブラシユニット120（ナイロン）	4	8
179	バネ座付平座付十字なベネジ M4×6 SUS	8	16
180	ロールユニット 3×13.5	2	
181	ロールユニット 2×11（巾110mm）		4
182	六角カップリングロング	4	8
183	六角穴付ボルト M6×6 SUS	4	8
184	ロート3口（パチン錠付）	2	
185	ロート2口（パチン錠付）		4
186	ジョイント	2	4
187	ジョイント軸 $\phi 10 \times 429$	1	
188	ジョイント軸 $\phi 10 \times 69$		2
189	注意シールR（G37-091-0000）	1	1
190	型式シール 110MT（TD-37-477-9）	1	
191	型式シール 140MT（TD-37-477-10）		1
192	ロール軸 $\phi 12$	3	6
193	平座 M12用 SUS	6	12
194	止輪 S12 SUS	6	12
195	Rピン $\phi 20$ 用	2	2
196	六角穴付ボルト M6×10	2	4
197	割ピン 4×L30		2
198	ホース（内径 $\phi 31.8$ ） L1000	6	8
199	ブラシ金具	2	4

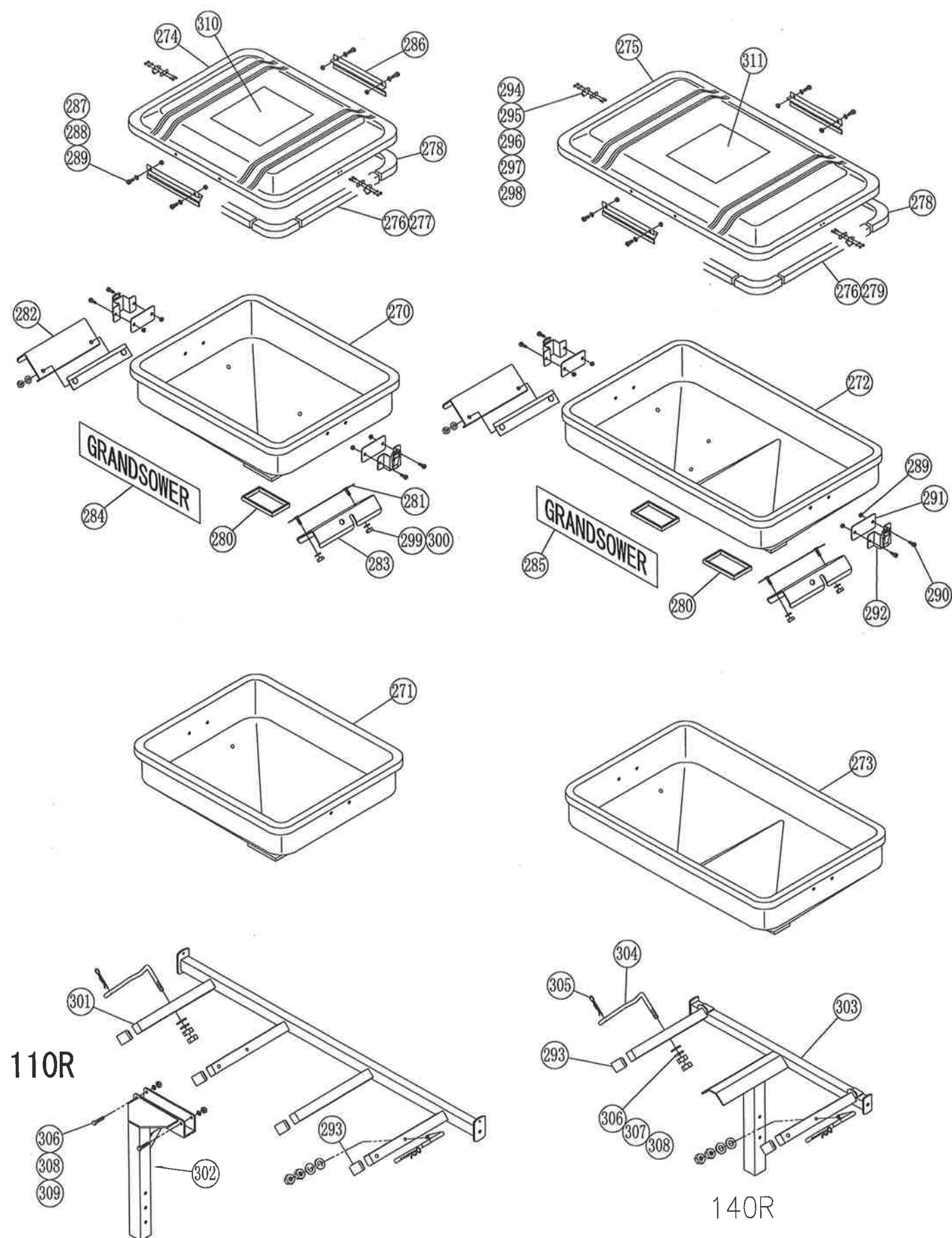
■ 支柱部及び拡散器部 スタンド部 (110MT, 140MT)



■ 部品表 支柱部及び拡散器部 スタンド部（110MT, 140MT）

NO.	部 品 名	110MT	140MT	NO.	部 品 名	110MT	140MT
210	外柱	2	2	236	拡散板アーム 1	2	2
211	ネジシャフト M16 左	2	2	237	拡散板アーム 2	2	2
212	中柱 (100Mスタンド)	2	2	238	バー固定 (後)	2	2
213	スタンドベース	2	2	239	バー固定 (前)	2	2
214	丸頭ピン $\phi 10 \times 60$	4	4	240	拡散板特アーム ($\phi 14$)	2	2
215	Rピン $\phi 10$ 用 B型	8	8	241	バネ座付十字ボルト M8 $\times$ 25	4	4
216	ニギリハンドルアッシ	2	2	242	六角ボルト M8 $\times$ 60	2	2
217	六角穴付ネジM8 $\times$ 20とがり先	2	2	243	平座 M8用	8	8
218	キャスターLT-50BN M8P1.25	4	4	244	バー中間固定	1	1
219	ナット M8	2	2	245	拡散器用バー $\phi 14 \times 1050$	2	
220	バネ座 M8用	8	8	246	拡散器用バー $\phi 14 \times 1200$		2
221	平座 M10用	6	6	247	拡散器 (UH)	6	8
222	ナット M8	12	12	248	バネ座付十字ボルト M6 $\times$ 30 SUS	6	8
223	Vボルト M12	2	2	249	ナット M6 SUS	6	8
224	支柱受け (A)	1	1	250	平座 M6用 SUS	12	16
225	支柱受け (B)	1	1	251	左右シール (TE-37-156-①)	2	2
226	ナット M12	14	14	252	左右シール (TE-37-156-②)	2	2
227	バネ座 M12用	12	12	253	進行方向シール (TE-37-283-①)	1	1
228	丸頭ピン $\phi 10 \times 60$	4	4	254	進行方向シール (TE-37-283-②)	1	1
229	支柱 (A)	1	1	255	左右シール (Rスタンド) TE-37-172-②	1	1
230	支柱 (B)	1	1	256	左右シール (Rスタンド) TE-37-172-①	1	1
231	六角ボルト M12 $\times$ 35	6	6	257	六角ボルト M8 $\times$ 20	2	2
232	中柱	2	2	258	回転方向シール (TE-37-285)	2	2
233	横ハリ固定	2	2				
234	横ハリ固定 (上板)	2	2				
235	横ハリ固定 (下板)	2	2				

■ ホッパー部及びビーム部（110R, 140R）

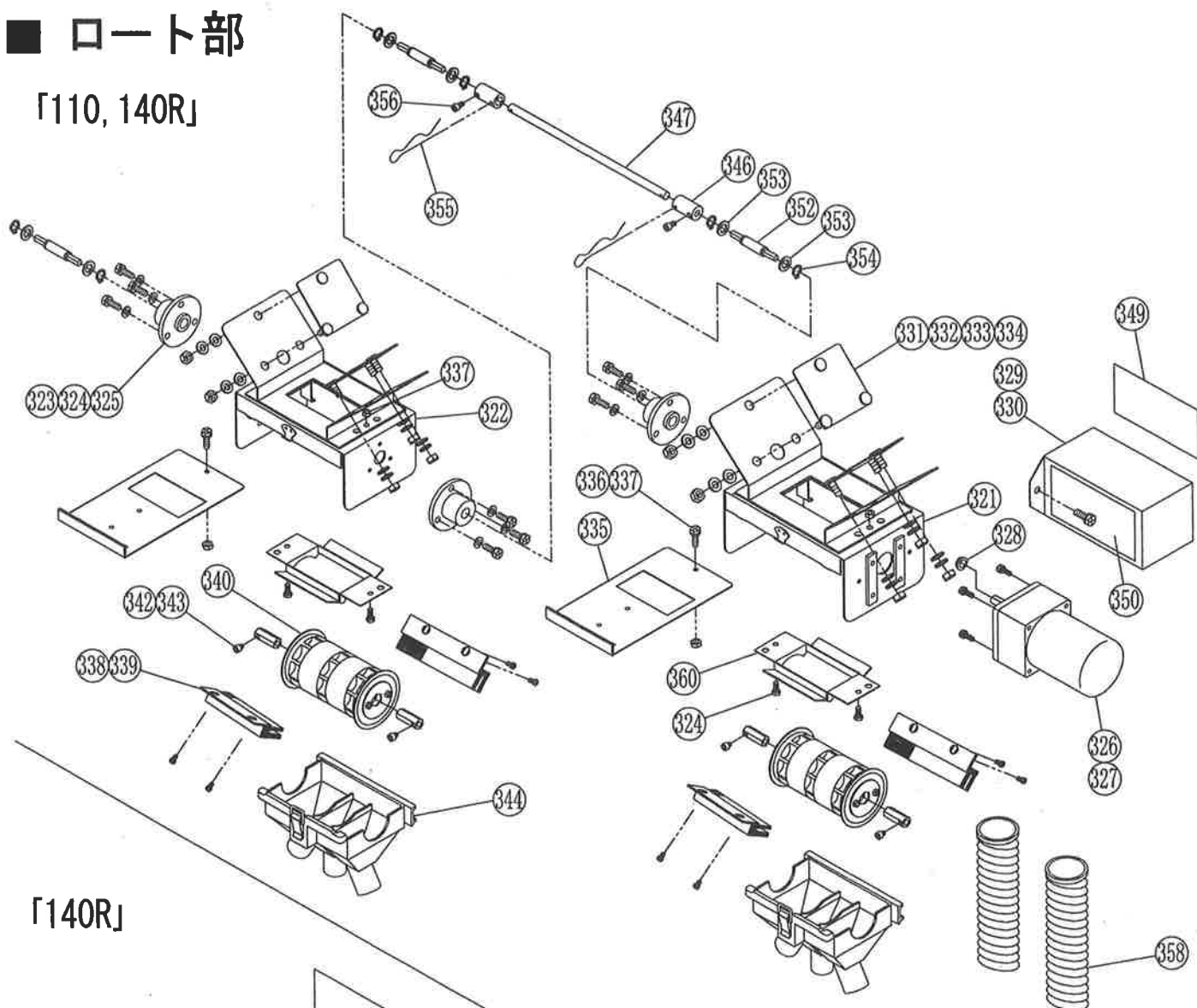


■ 部品表 ホッパー部及びアーム部 (110R, 140R)

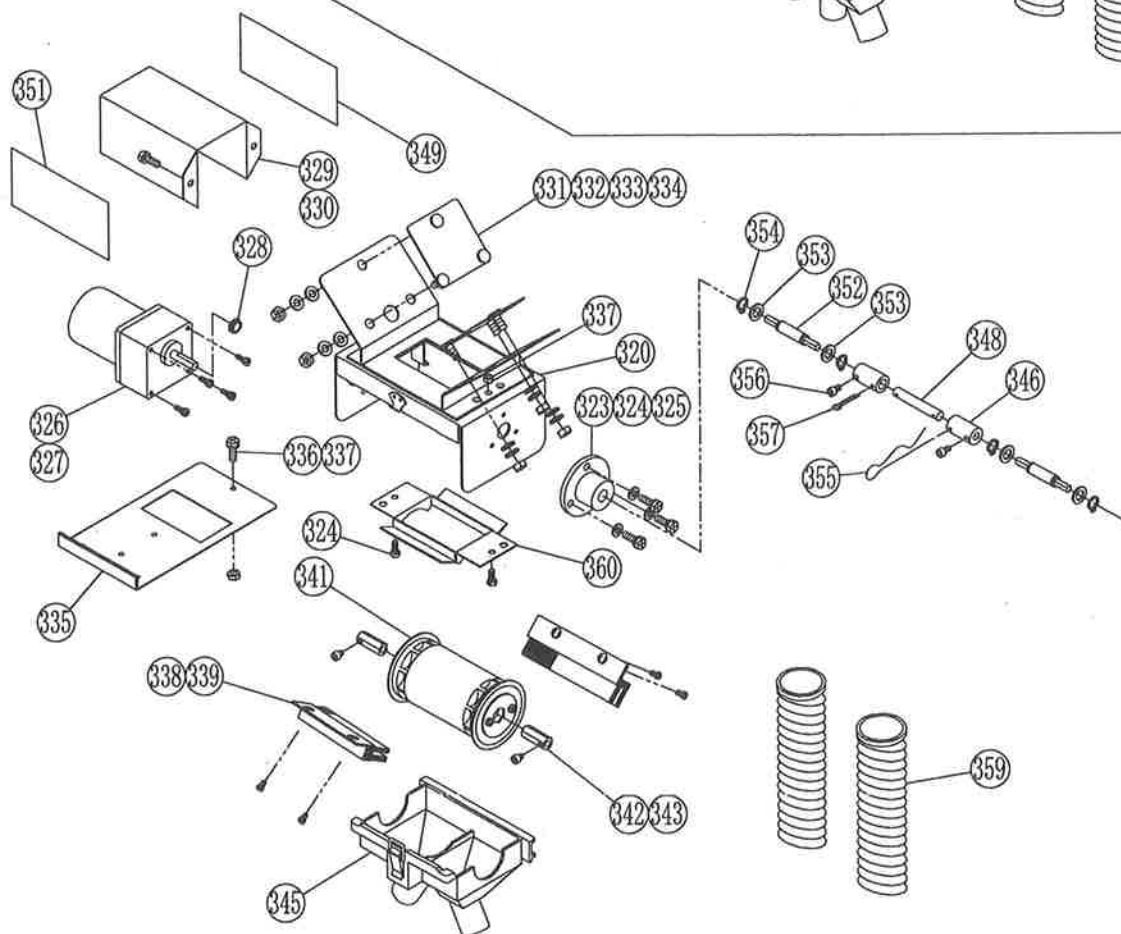
NO.	部 品 名	110R	140R
270	ホッパー55 (パチン錠穴有り、コントローラー穴有り)	1	-
271	ホッパー55 (パチン錠穴有り、コントローラー穴無し)	1	-
272	ホッパー70 (パチン錠穴有り、コントローラー穴左に有り)	-	1
273	ホッパー70 (パチン錠穴有り、コントローラー穴無し)	-	1
274	フタ 55 (パチン錠穴有り)	2	-
275	フタ 70 (パチン錠穴有り)	-	2
276	エプトシール (t5×20×305)	4	4
277	エプトシール (t5×20×455)	4	-
278	エプトシール (コーナー用)	8	8
279	エプトシール (t5×20×635)	-	4
280	パッキン 50	2	4
281	ホッパー固定座	4	4
282	ホッパー金具A	2	2
283	ホッパー金具B	2	2
284	グラントソワーシール 小	2	-
285	グラントソワーシール 大	-	2
286	フタストッパー	4	4
287	バネ座付十字ボルト M6×10 SUS	8	8
288	平座 M6用 SUS	8	8
289	ナット M6用 SUS	16	16
290	バネ座付十字ボルト M6×15 SUS	8	8
291	パチン錠台座裏当て	4	4
292	パチン錠 C-1012-2-2 (台座付)	4	4
293	角中栓 □40	4	4
294	パチン錠ツメ	4	4
295	パチン錠ツメ裏当て	4	4
296	トラス小ネジ M3×8 SUS	8	8
297	ナット M3 SUS	8	8
298	バネ座 M3用 SUS	8	8
299	バネ座 M8用 SUS	8	8
300	ナット M8用 SUS	8	8
301	アーム 110F,R	1	-
302	アーム柱110R	1	-
303	アーム140R	-	2
304	ホッパー固定ネジ	4	4
305	Rピン φ10	4	4
306	ナット M10	10	8
307	平座 M10	4	4
308	バネ座 M10	6	4
309	六角ボルト M10×80	2	-
310	散布量表 (TD-37-225X)	1	
311	散布量表 (TD-37-400)		1

■ ロート部

「110, 140R」



「140R」

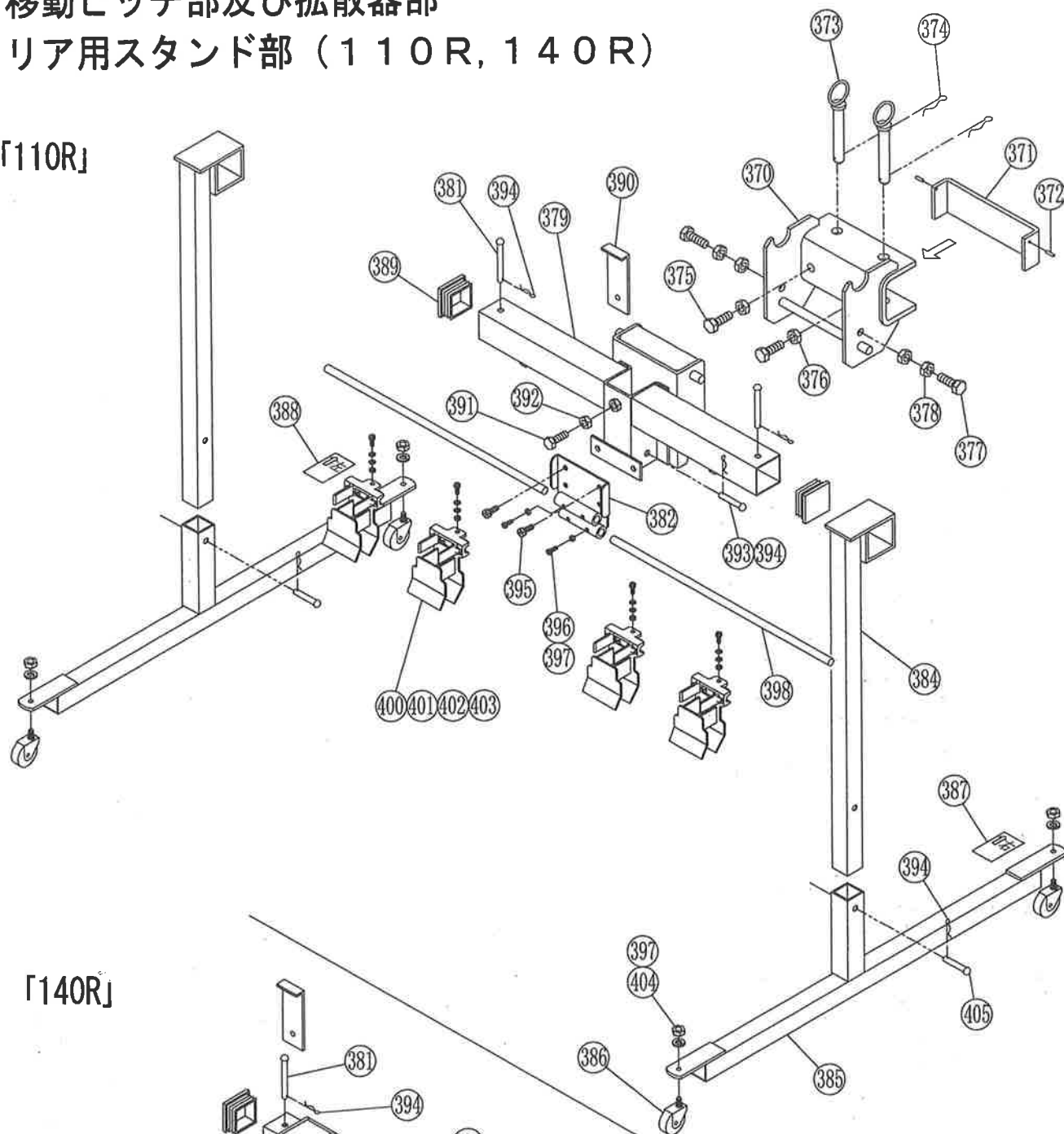


■ 部品表 ロート部（110R, 140R）

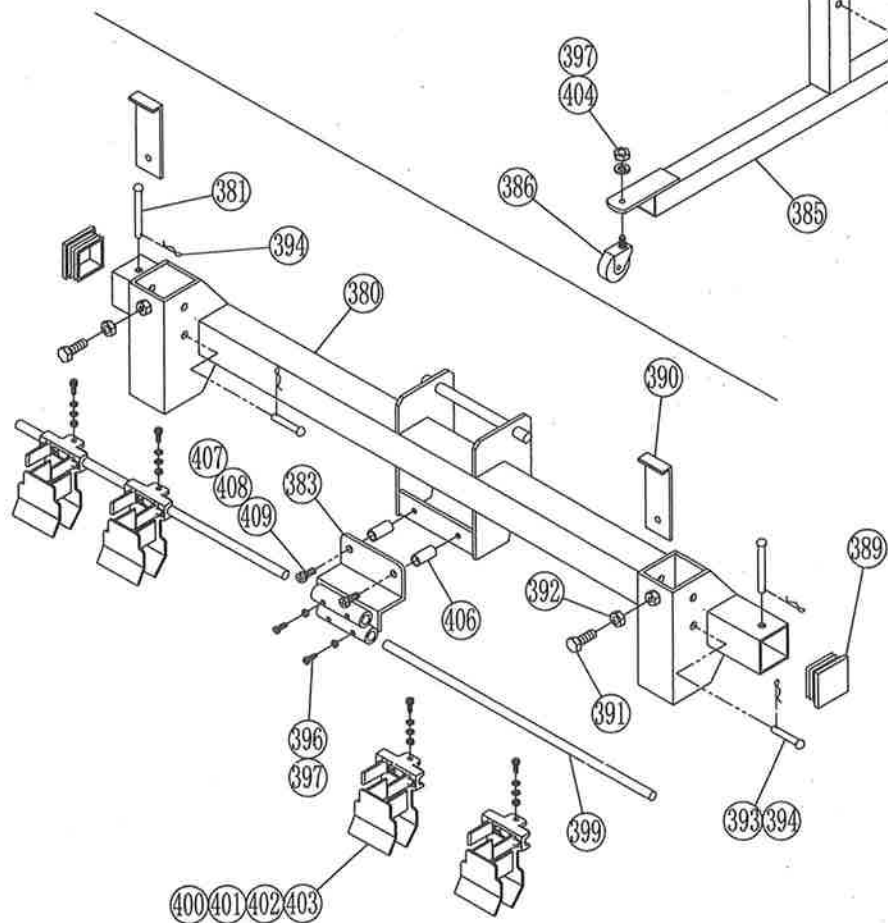
NO.	部 品 名	110R	140R
320	ロール受けA（パチン錠ツメ付）	—	1
321	ロール受けB（パチン錠ツメ付）	1	1
322	ロール受けC（パチン錠ツメ付）	1	2
323	ロール軸受け	3	6
324	バネ座付十字ボルト M6×15 SUS	13	26
325	平座 M6用 SUS	9	18
326	ギヤードモーター 20W	1	2
327	バネ座付平座付十字ボルト M4×15 SUS	4	8
328	Vリング	1	2
329	モーターカバー	1	2
330	バネ座付十字ボルト M6×10	2	4
331	ロール受け固定座	4	8
332	平座 M8用 SUS	12	24
333	バネ座 M8用 SUS	12	24
334	ナット M8用 SUS	12	24
335	シャッター	2	4
336	バネ座付十字ボルト M6×10 SUS	2	4
337	ナット M6用 SUS	6	12
338	ブラシユニット120（ナイロン）	4	8
339	バネ座付平座付十字なベネジ M4×6 SUS	8	16
340	ロールユニット 3×13.5	2	—
341	ロールユニット 2×11（巾110mm）	—	4
342	六角カップリングロング	4	8
343	六角穴付ボルト M6×6 SUS	4	8
344	ロート3口（パチン錠付）	2	—
345	ロート2口（パチン錠付）	—	4
346	ジョイント	2	4
347	ジョイント軸 $\phi 10 \times 541$	1	—
348	ジョイント軸 $\phi 10 \times 69$	—	2
349	注意シールR（G37-091-0000）	1	1
350	型式シール 110R（TD-37-477-7）	1	—
351	型式シール 140R（TD-37-477-8）	—	1
352	ロール軸 $\phi 12$	3	6
353	平座 M12用 SUS	6	12
354	止輪 S12 SUS	6	12
355	Rピン $\phi 20$ 用	2	2
356	六角穴付ボルト M6×10	2	4
357	割ピン 4×L30	—	2
358	ホース（内径 $\phi 31.8$ ） L700	6	—
359	ホース（内径 $\phi 31.8$ ） L600	—	8
360	ブラシ金具	2	4

■ 移動ヒッチ部及び拡散器部
リア用スタンド部 (110R, 140R)

「110R」



「140R」



■ 部品表 支柱部及び拡散器部 スタンド部（110R, 140R）

NO.	部 品 名	110R	140R	NO.	部 品 名	110R	140R
370	固定ヒッチ	1	1	396	十字ボルト M8×20	2	2
371	当て板	1	1	397	ナット M8	6	6
372	スプリングピン φ4×15 SUS	2	2	398	拡散器用バー φ14×950	2	—
373	キングピン φ16	2	2	399	拡散器用バー φ14×1050	—	2
374	Rピン φ16用	2	2	400	拡散器 (UH)	6	8
375	ボルト M14×35 (8T)	2	2	401	バネ座付十字ボルト M6×30 SUS	6	8
376	ナット M14 (3種)	2	2	402	平座 M6用 SUS	12	16
377	ボルト M14×50	2	2	403	ナット M6 SUS	6	8
378	ナット M14	4	4	404	バネ座 M8用	4	4
379	移動ヒッチ	1	—	405	丸頭ピン φ10×50	2	2
380	移動ヒッチ 140R	—	1	406	カラー	—	2
381	丸頭ピン φ10×70	2	2	407	六角ボルト M10×25	—	2
382	ササエR (UH)	1	—	408	六角ボルト M10×45	—	2
383	ササエ140R (UH)	—	1	409	バネ座 M10用	—	2
384	スタンド	2	2				
385	スタンドベース	2	2				
386	キャスター LT-50-BN M8×P1.25	4	4				
387	左右シール(Rスタンド) TE-37-172-2	1	1				
388	左右シール(Rスタンド) TE-37-172-1	1	1				
389	角中栓 □60	2	2				
390	当て板B	1	2				
391	六角ボルト M12×35	1	2				
392	ナット M12	1	2				
393	丸頭ピン φ10×85	1	2				
394	Rピン φ10用 B型	5	6				
395	ばね座付十字ボルト M8×20	2	—				

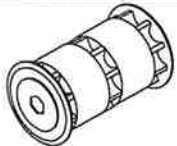
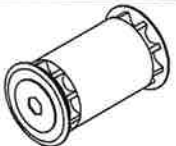
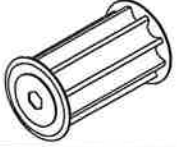
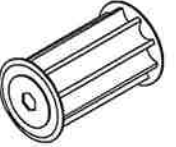
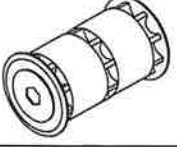
■ 故障の原因と対応について

肥料散布機の動作がおかしい時、以下の項目に沿って故障の原因を探して下さい。

※ コネクターの差込み不良や接触不良も動作不良の原因になるので確認して下さい。

トラブル 内容	考えられる 原因	お客様にご確認して いただきたい事項
ヒューズが 切れる	ケーブルの ショート	車輪での巻き込みやペダルでの圧迫によりショートしていませんか？ショート部分を修復して、巻き込まれない位置にケーブルを通して下さい。
	ホッパー内肥料の しまり	肥料を事前に投入して、シャッターを開けたまま路上走行していませんか？ 肥料の投入は圃場で行って下さい。
	ロール軸の固着 残存肥料の固着	ロールやロール軸に肥料が固着していませんか？ ロートを外してロール周りの肥料を掃除して下さい。 ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
	モーター不良	過負荷要因を取り除いた後、モーターに12Vを直結してもモーターが作動しない場合は、モーターを交換します。
モーターが 回らない (電源ランプは 消えている)	ヒューズ切れ	ヒューズが切れていませんか？指定された容量のヒューズに交換して下さい。（原因を取り除く） (5 A)
	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？ 端子の腐食を磨いてネジをしっかりと締めて下さい。
	バッテリー端子の 逆接続	バッテリー端子の＋を逆につないでいませんか？ 正しくつなぎ直して下さい。
	ケーブルの 断線	車輪などに巻き込まれてケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで巻き込まれないようにケーブルを通して下さい。
電源スイッチを 入れるとランプが 暗くなる	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？ 端子の腐食を磨いてネジをしっかりと締めて下さい。
モーターが 回らない (電源ランプは ついている)	ケーブルの 断線	スイッチボックスからコントロールボックスの間でケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで、巻き込まれないようにケーブルを通して下さい。
	ロール軸の固着 残存肥料の固着	ロールやロール軸に肥料が固着していませんか？ ロートを外してロール周りの肥料を掃除して下さい。 ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
散布量の調節が 出来ない	散布ロールの 溝詰まり	ロールの溝の中に肥料が詰まっていますか？ ロートを外してロールの溝を掃除して下さい。
肥料がうまく まけない	大径肥料や湿った 肥料の使用	大径肥料や湿った肥料を使用していませんか？ ロールの溝幅を超えるものや湿ったものは散布できません。（粒径 6 mm以上）

■ 散布ロール（オプション）

型式 ロール	UH-110MT UH-110R (ロール数 2)	UH-140MT UH-140R (ロール数 4)
標準	3列×13.5mm (20～150kg) 	2列×11mm (20～150kg) 
大量	110mm (60～410kg) 	110mm (120～820kg) 
少量	3列×11mm (15～116kg) 	

※ □部（標準）は出荷時のロールになります。

※ 大量・少量ロールはオプションになります。

※ 散布量の表示は、10a 当りで作業時間30分を基準にしています。

■ 仕様諸元

型 式		1 1 0 M T	1 1 0 R	1 4 0 M T	1 4 0 R
全幅 (mm)		1555	1655	2105	2015
奥行 (mm)		610	580	610	595
重 量		68kg	62kg	86kg	81kg
適応トラクタ		20PS以上	23PS以上	30PS ～ 75PS	
ホッパー容量		110リットル		140リットル	
動 力		DC12Vギヤードモーター 1基		DC12Vギヤードモーター 2基	
最大 散布幅 (mm)	粒状	2100	2000	2400	2400
	砂状	1700	1700	2000	2200
散布 対象肥料	標準ロール	粒状化成・ヨウリン・ケイカル			
	大量ロール	有機ペレット等			
電 源		トラクターバッテリー			

※ ホッパー容量はリットル表示です。肥料の比重により表示どおり入らない場合もあります。

※ 仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

※ 電源取出し(バッテリー)用延長コードをオプションで用意しています。(22、24ページ参照)